様式（文部科学省ガイドライン準拠版）

平成３０年度

自 己 評 価 報 告 書

令和１年６月３日

学校法人国際学園　九州医療スポーツ専門学校

【評定の基準】

４：適切に対応している。課題の発見に積極的で今後さらに向上させるための意欲がある。

３：ほぼ適切に対応しているが課題があり、改善方策への一層の取組みが期待される。

２：対応が十分でなく、やや不適切で課題が多い。課題の抽出と改善方策へ取り組む必要がある。

１：全く対応しておらず不適切。学校の方針から見直す必要がある。

１．学校の理念・教育目標

教育理念	教育目標
「士魂医才」（しこんいさい） 　菅原道真の「和魂漢才」から渋沢栄一の「士魂商才」へ、そしてこれからの時代に求められるのは「士魂医才」である。つまり、豊かな教養とプロフェッショナルな医療人としての技術を持ち、愛情と誇りを持って、日本国民の真の健康に寄与し、社会に貢献できる人材の育成を目指す。	「挨拶」「感謝」「感動」「責任」を重んじる教育の推進により、豊かな教養とプロフェッショナルな医療人としての技術を持ち、誇りを持って国民の真の健康に寄与できる人材の育成 １　人格の完成 （１）他者への思いやりと自分の可能性最大に伸長しようとする謙虚さと誠実さを涵養する。 （２）校内外のさまざまな場面において、自らの素養を高めようとする向上心を育む。 ２　施術者・トレーナーとしての資質能力の育成 （１）入学者全員の卒業と資格試験合格を達成する。 （２）主体的に臨床的な基礎研究に取り組む場の提供と、知識・技能の定着を図る。 （３）地域との連携を深め、社会に貢献できる人材を育成する。

記載責任者　職・氏名	校　長　　中　村　　潤

２．本年度の重点目標と取組方法およびその結果

平成３０年度重点目標	達成計画・取組方法とその結果
1　入学生確保のための広報活動の改善と充実 2　授業改善のための教員の指導力の向上 3　資格試験全員合格に向けた組織的対策の実施 4　卒業後の進路指導の一環としての企業説明会の改善実施 5　地域と連携した各種イベント等への積極的参加	1　広報部を中心とした県内外の広報活動の推進を図り、高校卒業生の減少が進む中で入学生の確保が進められた。校内におけるオープンキャンパスに対する教員・学生の協力体制が構築され、参加者への広報を推進できた。 2　多くの教員が主体的に各種学会・研究会へ積極的に参加した。その成果を学科内に還元し相互の指導力向上に努めた。 3　資格試験に向かって、各学科ともに組織的な対策を講じた。試験の傾向を分析し、対策を計画的に進め実績を上げた。 4　キャリアサポートセンターを中心とした求人情報の適正な提供が行われ学生の就職活動の円滑化に功を奏した。 5　北九州市をはじめとする各団体との連携により、各種イベントへの教員・学生の積極的参加と協力体制が構築され実施された。

記載責任者　職・氏名	校　長　　中　村　　潤

基準１　教育理念・目的・育成人材像【平均評価：４.０】

総括と課題	今後の改善策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育理念と目標、ビジョンに関して、常日頃から目にする、耳にするなど、教職員も学生も意識するような環境づくりを行っている。課題としてあげるならば、それをどう行動に結びつけ、達成していこうとするのかを導きだしていくことではないかと考える。	具体的な行動としての実践につながり、全員が一丸となって取り組む環境づくりをおこなうこと。	毎週月曜日のトップメッセージ会・毎月の教職員会議の冒頭において理念唱和を行い、その浸透を図っている。

記載責任者　職・氏名	校　長　　中　村　　潤

１－１　理念・目的・育成人材送

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか。	理念に沿った目的・育成人材像になっているか。	4	行事等で常に理念、目標の伝達を行っている。	なし	なし	
	理念等は文書化するなど明確に定めているか。		教室掲示により常に目に触れるようにしている。	なし	なし	
	理念等において専門分野の特性は明確になっているか。		本校の専門である医療の特性について明確に定めている。	なし	なし	

	理念等に応じた課程（学科）を設置しているか。		設置している。	なし	なし	
	理念等を実現するための具体的な目標･計画･方法を定めているか。		各学科目標を掲げ取り組んでいる。	なし	なし	
	理念等を学生･保護者、関連業界等に周知しているか。		式典等でも理念の公表、広報活動においても理念の伝達に努めている。	なし	なし	
	理念等の浸透度を確認しているか。		確認している	なし	なし	
	理念等を社会等の要請に的確に対応させるため、適宜、見直しを行っているか。		行っている	なし	なし	

1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか。	課程(学科)毎に関連業界等が求める知識・技術・技能・人間性等人材要件を明確にしているか。	4	明確にしている	なし	なし	
	教育課程､授業計画(シラバス）等の策定において関連業界等からの		協力を得ている	なし	なし	

	協力を得ているか。					
	専任・兼任（非常勤）にかかわらず教員採用において関連業界等からの協力を得ているか。		協力を得ている	なし	なし	
	学内外にかかわらず、実習の実施にあたって、関連業界等からの協力を得ているか。		協力を得ている	なし	なし	
	教材等の開発において、関連業界等からの協力を得ているか。		協力を得ている	なし	なし	

1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取組んでいるか。	理念等の達成に向け特色ある教育活動に取組んでいるか。	4	取り組んでいる	なし	なし	
	特色ある職業実践教育に取組んでいるか。		取り組んでいる	なし	なし	

1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか。	中期的（3～5年程度）視点で、学校の将来構想を定めているか。	4	定めている	なし	なし	
	学校の将来構想を教職員に周知しているか。		周知している	なし	なし	
	学校の将来構想を学		周知している	周知しきれているか	保護者会や学園祭な	

	生・保護者・関連業界等に周知しているか。			は不明	どを活用し、周知していく	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
理念やビジョンを策定し、教職員だけでなく学生に共有できるように、イベントや行事でも常に伝達することを心がけ、一体となって達成に向かっていくスタンスでおこなっている。短期目標だけでなく中長期的な視点で見据え、今後どのように発展していくかを多く検討しているところである。	特記事項なし

記載責任者　職・氏名	校　長　　中　村　　潤

基準２　学校運営【平均評価：３．４】

総括と課題	今後の改善策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
毎朝の職員朝礼による情報の共有、報連相の徹底など、毎日を滞りなく運営していくための施策、また、毎月の管理者会議及び教職員会議による情報の共有などを通し、危機管理体制を整えている。また、本校独自の SNS の活用により、日々の学生の様子や教職員の様子を各部署の長がとりまとめ、校長が吸い上げるような仕組みとしている。	運営において重要なのは、質はもちろん、スピードが大切である。スピードがあがる仕組みを作り、情報がもっと早く、正確に回るような仕組みづくりをおこなっていく。	

記載責任者　職・氏名	校　長　　中　村　　潤

２－２　運営方針

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
2-2-1 理念等に沿った運営方針を定めているか。	運営方針を文書化するなど明確に定めているか。	4	定めている	なし	なし	
	運営方針は理念等、目標、事業計画を踏まえ定めているか。		定めている	なし	なし	
	運営方針を教職員等に周知しているか。		周知している	なし	なし	
	運営方針の組織内の浸透度を確認しているか。		確認している	なし	なし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校の教育理念だけでなく、法人の理念も周知し、理念に沿った行動ができるように努めている。	

記載責任者　職・氏名	校　長　　中　村　　潤

２－３　事業計画

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか。	中期計画（3～5 年程度）を定めているか。	4	定めている	なし	なし	
	□単年度の事業計画を定めているか。		定めている	なし	なし	
	□事業計画に予算、事業目標等を明示しているか。		明示している	なし	なし	
	□事業計画の執行体制、業務分担等を明確にしているか。		明確にしている	なし	なし	
	□事業計画の執行・進捗管理状況及び見直しの時期・内容を明確にしているか。		明確にしている	なし	なし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
毎年、事業計画を見直し、策定している。また、予算に関しても常に３年先まで見据えた予算書を作成している。	

記載責任者　職・氏名	校　長　　中　村　　潤

２－４　運営組織

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか。	理事会、評議員会は、寄附行為に基づき適切に開催しているか。	4	定期的に開催している	なし	なし	
	理事会等は必要な審議を行い、適切に議事録を作成しているか。		適切に作成している	なし	なし	
	寄附行為は、必要に応じて適正な手続きを経て改正しているか。		改正している	なし	なし	

2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか。	学校運営に必要な事務及び教学組織を整備しているか。	4	整備している	なし	なし	
	現状の組織を体系化した組織規程、組織図等を整備しているか。		整備している	なし	なし	
	各部署の役割分担、組織目標等を規程等で明確にしているか。		明確にしている	なし	なし	
	会議、委員会等の決定権限、委員構成等を規		明確にしている	なし	なし	

	程等で明確にしているか。					
	会議、委員会等の議事録（記録）は、開催毎に作成しているか。		作成している	なし	なし	
	組織運営のための規則・規程等を整備しているか。		整備している	なし	なし	
	規則・規程等は、必要に応じて適正な手続きを経て改正しているか。		改正している	なし	なし	
	学校の組織運営に携わる事務職員の意欲及び資質の向上への取組みを行っているか。		行っている	なし	なし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
規程や規則等は作成しており、なおかつ更新していくようにしている。また、理事会・評議員会等も定期的に開催しており、滞りなく行っている。	

記載責任者　職・氏名	事務局長　　西　田　真　紀

２－５　人事・給与制度

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか。	採用基準・採用手続きについて規程等で明確化し、適切に運用しているか。	3	適切に運用している	なし	なし	
	適切な採用広報を行い、必要な人材を確保しているか。		確保している	なし	なし	
	給与支給等に関する基準・規程を整備し、適切に運用しているか。		運用している	なし	なし	
	昇任・昇給の基準を規程等で明確化し、適切に運用しているか。		適切に運用している	なし	なし	
	人事考課制度を規程等で明確化し、適切に運用しているか。		運用している	なし	人事考課制度に関して再構築中である。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
人事考課に関して、毎年より良いものを更新している。	

記載責任者　職・氏名	事務局長　　西　田　真　紀

２－６　意思決定システム

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
2-6-1 意思決定システムを整備しているか。	教務・財務等の業務処理において、意思決定システムを整備しているか。	3	整備している。	特になし	特になし	報連相シート 稟議書 新入教職員事務手続き説明会資料
	意思決定システムにおいて、意思決定の権限等を明確にしているか。		明確となっている。	特になし	特になし	
	意思決定システムは、規則・規程等で明確にしているか。		規則・規程に規定していない。	意思決定システムについて規則・規程を整備する必要がある。	意思決定システムにかかる規則・規程の整備。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教務および財務にかかる意思決定システムは構築されているものの、これを規則や規程において規定する必要がある。	

記載責任者　職・氏名	事務局長　　西　田　真　紀

２－７　情報システム

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
2-7-1 情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか。	学生に関する情報管理システム、業務処理に関するシステムを構築しているか。	2	情報管理システムを構築してリアルタイムに管理を行っている。	特になし	特になし	
	情報システムを活用し、タイムリーな情報提供、意思決定が行われているか。		情報管理システムによる管理を行っている。	特になし	特になし	
	学生指導において、適切に学生情報管理システムを活用しているか。		各学科において、適時学生管理システムを活用している。	特になし	特になし	
	データの更新等を適切に行い、最新の情報を蓄積しているか。		各校舎を VPN 接続し、サーバルーム内に大型ファイルサーバを設置した上で情報の一括管理を行っている。	ファイルサーバのバックアップ増加対策と保存期間の選定	クラウド等の VPS サーバをバックアップサーバとし、天変地異や大災害発生時でもデータの素早い復旧を行う	
	システムのメンテナンス及びセキュリティー管理を適切に行っているか。		教職員用クライアントのカード認証によるログイン。 資産管理システムに	各管理サーバのアップデート体制とログの保管期間の調整。	サーバの管理一部をベンダーへ依頼。	

			よる操作ログを管理。 ファイアウォールによりアクセス制限とIDS、IPSの実施。 学生向けFree-SpotとはVLANを使用。			

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
構内クライアント使用におけるセキュリティポリシーの見直し	・教職員のパスワード管理を廃止し、すべてカード認証へ移行を行う。 ・各管理系サーバはvmwareを使用しHA構成としており障害発生時でも運用を続けられる体制を整えている。 ・各フロアLAN配線は二重化を行い、安定性・高速化を実現している。 ・各フロア・すべての教室に無線LANアクセスポイント・LANコンセントを設置し、学内インフラへの柔軟なアクセス体制を整えている。

記載責任者　職・氏名	IT管理課　　高　嶋　健太郎

基準３　教育活動【平均評価：２．９】

３－８　目標の設定

３－８－１

柔道整復学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか。	教育課程の編成方針、実施方針を文書化するなど明確に定めているか。	2	文書化されていない。	文書化が必要	文書化が必要	教育課程編成委員会議事録 職業実践専門課程規定
	職業教育に関する方針を定めているか。		明確に定められていない。	明確化が必要	明確化が必要	
				記載責任者　職・氏名	学科長補佐　　社　　由　洋	

スポーツ柔整学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか。	教育課程の編成方針、実施方針を文書化するなど明確に定めているか。	4	非常に明確である。	なし	なし	教育課程編成委員会議事録 職業実践専門課程規定
	職業教育に関する方針を定めているか。		的確に定められている。	なし	なし	

	記載責任者　職・氏名	学科長補佐　　村　岡　太　介

鍼灸学科（昼間部）

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか。	教育課程の編成方針、実施方針を文書化するなど明確に定めているか。	2	学生便覧、シラバスにおいて明確に定めている	学生に対して公表しているが、保護者および関係業界等には公表できていない	保護者および関係業界等には公表する場の検討	教育課程編成委員会議事録 職業実践専門課程規定 学生便覧 シラバス
	職業教育に関する方針を定めているか。		文書化に向けて話し合いの場を設けている	文書化	文書化	

	記載責任者　職・氏名	学科長　　堀之内　貴　一

スポーツ鍼灸学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか。	教育課程の編成方針、実施方針を文書化するなど明確に定めているか。	2	学生便覧、シラバスにおいて明確に定めている	学生に対して公表しているが、保護者および関係業界等には公表できていない	保護者および関係業界等には公表する場の検討	教育課程編成委員会議事録 職業実践専門課程規定 学生便覧 シラバス
	職業教育に関する方針を定めているか。		文書化に向けて話し合いの場を設けている	文書化	文書化	

	記載責任者　職・氏名	学科長　　松　波　　賢

理学療法学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか。	教育課程の編成方針、実施方針を文書化するなど明確に定めているか。	3	授業シラバスを作成しシラバスの共有化を図っている	なし	なし	教育課程編成委員会議事録 職業実践専門課程規定
	職業教育に関する方針を定めているか。		職業教育にかかる内容を文章化して共有している	非常勤講師との連携	非常勤講師との情報共有を図る	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　永　野　　忍	

作業療法学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか。	教育課程の編成方針、実施方針を文書化するなど明確に定めているか。	4	カリキュラムポリシーを文書化している。	指定規則カリキュラム改正内容に対する整合性の検討。	学科内での定期的見直しと情報共有化を図る。	作業療法学科のアドミッション、カリキュラム、ディプロマポリシー 臨床実習マニュアル
	職業教育に関する方針を定めているか。		カリキュラムポリシーに対応する診療参加型実習による臨床教育マニュアルを作成している。	診療参加型臨床教育方法論に関する学科内専任教員間の習熟度および統一性。	学科専任教員内での臨床教育方法論に関する共有化を図る。併せて臨床実習登録施設との情報共有化を図る。	
				記載責任者　職・氏名	学科長補佐　　中　山　　仁	

看護学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか。	教育課程の編成方針、実施方針を文書化するなど明確に定めているか。	4	看護学科シラバスに明記 平成 30 年より職業実践専門課程の申請に向けて、教育課程編成委員会を設立し､11 月と 3 月に実施した。	2 回の委員会の中で、看護実習の内容の精査や学生の学習態度、カリキュラム上の倫理観の育成など課題が明確になった。	現在、教育課程編成委員会のメンバーが学科内では 4 名であり臥、できるだけ多くの教員で検討すべきだと考えられるため、増員する予定である。カリキュラムの内容については、教授方略等を検討していく予定である。	教育課程編成委員会議事録 職業実践専門課程規定
	職業教育に関する方針を定めているか。		看護学科シラバスに明記	各学年の到達目標の中で専門職業としての知識・技術・態度について明記しているが、評価の方法が不明瞭であるため、明確にする必要がある。	各学年に応じた具体的な評価表の作成を行う。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　村　山　由起子	

歯科衛生学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
3-8-1	教育課程の編成方針、	2	学生便覧に明確に記	保護者および関係業	保護者および関係業	

理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか。	実施方針を文書化するなど明確に定めているか。		載している。	界などには公表できていない。	界などに公表する場の検討。	
	職業教育に関する方針を定めているか。		明確に定められていない。	文書化する。	文書化する。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　藤　幸　枝	

生涯スポーツトレーナー介護福祉士学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　題	今後の改善方策	参考資料
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか。	教育課程の編成方針、実施方針を文書化するなど明確に定めているか。	4	学生便覧に明記し、教員・学生も必要時に確認している。	機会あるごとに理念を伝え、求められる介護福祉士像を意識づける。	より積極的に介護福祉について考える機会をつくる。	教育課程編成委員会議事録 職業実践専門課程規定
	職業教育に関する方針を定めているか。		実習要綱に明記し、実習指導等でも確認している。	介護福祉士のイメージを明確に描けるようになる。	現場で働く介護福祉士との交流を進める。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　井　上　由紀子	

アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　題	今後の改善方策	参考資料
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか。	教育課程の編成方針、実施方針を文書化するなど明確に定めているか。	2	教育課程表、シラバスの作成は実施している。	シラバスのフォームが統一されていない。	フォームの統一化を図る必要がある。	教育課程編成委員会議事録 職業実践専門課程規定

	職業教育に関する方針を定めているか。		目指すべき人材を明文化し、学生へ配布している。	方針が学生に理解されていない場面がある。	日頃からの学生指導に指導方針を念頭に入れておく。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　寺　本　敦　司	

整体セラピスト学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか。	教育課程の編成方針、実施方針を文書化するなど明確に定めているか。	3	資格取得に向けたカリキュラムを定めている	前期で取得した技術を卒業前に忘れている学生がいた	一度習得した技術でも、総合的に授業に取り入れる	
	職業教育に関する方針を定めているか。		就職に向け、ニーズに沿った資格取得を目標としている	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　蓑田　のり子	

日本語学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか。	教育課程の編成方針、実施方針を文書化するなど明確に定めているか。	3	科目ごとのカリキュラム到達目標と時間数を定めている	進度が遅れや学生のレベルにより、到達目標と一致しないことがある	進め方の見直し、学生のレベル、ニーズを確認してカリキュラムを決める	
	職業教育に関する方針		該当しない			

	を定めているか。					
				記載責任者　職・氏名	学科長　　髙　野　徳　一	

ホスピタリティ・コンシェルジュ学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか。	教育課程の編成方針、実施方針を文書化するなど明確に定めているか。	2	シラバスに基づいた教育課程の実施	企業が求める人材育成に沿った教育課程の編成が必要	明確に定めた文書化	
	職業教育に関する方針を定めているか。		企業が求める人材育成	課題の抽出と対策の検討	課題の抽出と対策	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　川　上　　聖	

３－８－２

柔道整復学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-8-2 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか。	学科毎に目標とする教育到達レベルを明示しているか。	4	学生便覧や学則に沿って明示している	なし	なし	学生便覧 学則別表授業科目一覧
	教育到達レベルは、理念等に適合しているか。		適合している。	なし	なし	

	資格・免許の取得を目指す学科において、取得の意義及び取得指導・支援体制を明確にしているか。		行っている。	なし	なし	
	資格･免許取得を教育到達レベルとしている学科では、取得指導･支援体制を整備しているか。		行っている。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長補佐　　社　　由　洋	

スポーツ柔整学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-8-2 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか。	学科毎に目標とする教育到達レベルを明示しているか。	4	明確にしている。	なし	なし	学生便覧 学則別表授業科目一覧
	教育到達レベルは、理念等に適合しているか。		適合している。	なし	なし	
	資格・免許の取得を目指す学科において、取得の意義及び取得指導・支援体制を明確にしているか。		明確にしている。	なし	なし	
	資格･免許取得を教育		整備されている。	なし	なし	

	到達レベルとしている学科では、取得指導・支援体制を整備しているか。					
				記載責任者　職・氏名	学科長補佐　　村　岡　太　介	

鍼灸学科（昼間部）						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-8-2 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか。	学科毎に目標とする教育到達レベルを明示しているか。	3	シラバスの科目ごとの到達レベルを明示。	各科目だけでなく、総合して到達レベルに達しているか不明。	シラバス作成前に到達レベルを周知する。	シラバス 入学パンフレット
	教育到達レベルは、理念等に適合しているか。		シラバスにより科目別の到達レベルを明示している	理念とシラバスの関連性がまだ低い。	浸透させるための仕組みづくりを検討する。	
	資格・免許の取得を目指す学科において、取得の意義及び取得指導・支援体制を明確にしているか。		資格取得のために授業時間外に国家試験対策などを実施。	学生間での学力差が生じ、到達レベルが個人によって異なる。	学力が及ばない学生に対しては個別に対応する。	
	資格・免許取得を教育到達レベルとしている学科では、取得指導・支援体制を整備しているか。		資格取得のために授業時間外に国家試験対策などを実施	学生間での学力差が生じ、到達レベルが個人によって異なる。	学力が及ばない学生に対しては個別に対応する。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　堀之内　貴　一	

スポーツ鍼灸学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-8-2 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか。	学科毎に目標とする教育到達レベルを明示しているか。	3	シラバスにより科目別の到達レベルを明示している	シラバスの作成だけにとどまっている	浸透させるための仕組み作りをしていく	シラバス 入学パンフレット
	教育到達レベルは、理念等に適合しているか。		理念に基づきシラバスの作成を行っている	シラバスの作成だけにとどまっている	浸透させるための仕組み作りをしていく	
	資格・免許の取得を目指す学科において、取得の意義及び取得指導・支援体制を明確にしているか。		支援体制は学校独自のサポートを設けている	サポートの管理部署の一括化	サポートを利用される人が混乱しないように整備する。	
	資格･免許取得を教育到達レベルとしている学科では、取得指導･支援体制を整備しているか。		支援体制は学校独自のサポートを設けている	サポートの管理部署の一括化	サポートを利用される人が混乱しないように整備する。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　松　波　　賢	

理学療法学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-8-2 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか。	学科毎に目標とする教育到達レベルを明示しているか。	3	学年の進級にあたり試験を実施している	試験における合格基準を明確にする	学年毎の到達レベルを設定する	学生便覧 学則別表授業科目一覧
	教育到達レベルは、理		授業や実習において	理念における適合基	学年毎の適合を確認	

	念等に適合しているか。		専門的知識・技術のみならず理念教育を行っている	準を明確にする	する。	
	資格・免許の取得を目指す学科において、取得の意義及び取得指導・支援体制を明確にしているか。		授業において教授しており、理学療法士関連団体についても享受している	なし	なし	
	資格･免許取得を教育到達レベルとしている学科では、取得指導･支援体制を整備しているか。		授業において教授している	学生の到達レベルを把握する	学生へ意識調査を行う。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　永　野　　忍	

作業療法学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
3-8-2 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか。	学科毎に目標とする教育到達レベルを明示しているか。	3	カリキュラム、ディプロマポリシーを文書化している。また、進級・卒業要件を学生便覧に明示している。	仮進級判定となった学生の未履修科目に対する対応方法。	学科内での協議を定期的に実施し見解をまとめる。	・アドミッション、カリキュラム、ディプロマポリシー（作業療法学科） ・学生便覧 ・平成 30 年度時間割（作業療法学科） ・カリキュラム（作業療法学科）
	教育到達レベルは、理念等に適合しているか。		理念に基づいたディプロマポリシーを策定している。	完成年度を迎えていないため、理念と教育到達レベルの整合性が現状では確認でき	ディプロマポリシーについて学科内で定期的に情報を共有化し、理念との適合性を	

				ない。	協議する。	・臨床実習登録施設リスト（作業療法学科）
	資格・免許の取得を目指す学科において、取得の意義及び取得指導・支援体制を明確にしているか。		学生の過度の負担とならない時間割の調整と掲示を行っている。各授業科目のシラバスは開示し、学年担任・副担任制を導入し学修支援を行っている。	個別性の高い学習支援体制、方法論の構築が急務である。	学科内での協議を定期的に実施し、個別支援を試行する。	
	資格･免許取得を教育到達レベルとしている学科では、取得指導･支援体制を整備しているか。		国家試験対策に対応する授業科目を各年次に編成している。また、臨床実習施設は学科の臨床教育方針に同意を示し、かつ、学生に物理的負担の少ない施設の確保に努めている。	完成年度を迎えていないため、免許取得と教育到達レベルの整合性が現状では確認できない。	既設の他養成施設の指導体制などについての情報収集を行い、資格・免許取得と教育到達レベルの整備について協議を実施する。	
				記載責任者　職・氏名	学科長補佐　　中　山　　仁	

看護学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
3-8-2 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを	学科毎に目標とする教育到達レベルを明示しているか。	3	看護学科シラバスに学年ごとの到達目標を明記している。	2022 年の看護教育課程改正に向けて、今後取り組む必要がある。	教育課程編成委員会の増員を図る。	学生便覧 学則別表授業科目一覧

明確にしているか。	教育到達レベルは、理念等に適合しているか。		教育理念を踏まえて、教育目的・目標を明確にしており、それから、各学年の到達目標を作成している。	各学年の学生に状況に適しているか、検討する必要がある。	評価表の作成	
	資格・免許の取得を目指す学科において、取得の意義及び取得指導・支援体制を明確にしているか。		明文化したものは無い。	各学科に適した取得指導・支援体制の明文化が必要。	監護学科独自の支援体制等の明文化を行う。	
	資格･免許取得を教育到達レベルとしている学科では、取得指導･支援体制を整備しているか。		国試担当、就職担当の役割により、支援体制を整備、また、全教員によるゼミ制度に基づき支援体制を強化している。	教員の能力の差、学生への指導体制など、課題である。	定期的な報告会、教員の能力向上に向けての勉強会等の実施。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　村　山　由起子	

歯科衛生学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
3-8-2 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか。	学科毎に目標とする教育到達レベルを明示しているか。	3	各学年の到達目標を明示している。	各学年の到達目標の改善をはかる必要がある	到達レベルを周知する。	学生便覧 学則別表授業科目一覧
	教育到達レベルは、理念等に適合している		理念に基づき作成している。	理念の周知。	周知できる仕組みを作っていく。	

	か。					
	資格・免許の取得を目指す学科において、取得の意義及び取得指導・支援体制を明確にしているか。		国家試験対策など、担当制を決め支援をしている。	担当制を明確化する。	支援体制、担当制について評価できるようにする。	
	資格･免許取得を教育到達レベルとしている学科では、取得指導･支援体制を整備しているか。		国家試験対策に対応する授業にて整備している。	授業内容、整備体制を明確化する。	個別指導を実施する。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　藤　　幸　枝	

生涯スポーツトレーナー介護福祉学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
3-8-2 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか。	学科毎に目標とする教育到達レベルを明示しているか。	4	シラバスや実習要綱に明記し、教員・学生が確認できるようにしている。	留学生が多いので、わかりやすく何度も伝えることが必要である。	留学生用に学習ガイドブックを作成する。	学生便覧 学則別表授業科目一覧
	教育到達レベルは、理念等に適合しているか。		本校の理念と社会福祉士及び介護福祉士法に基づいて、教育目標を設定している。	留学生であるので、検討しながら進めていくようにしている。	進度が問題になるので補習等の時間を設ける。	
	資格・免許の取得を目指す学科において、取得の意義及び取得指		国家試験の合格目指して、試験対策講座や補習授業を実施して	専門科目の対策と同時に日本語の読解力を高めることが重要	日本語力を高めるための学習を体系的に実施する。	

	導・支援体制を明確にしているか。		いる。			
	資格･免許取得を教育到達レベルとしている学科では、取得指導･支援体制を整備しているか。		資格取得までの過程を年間計画として進めている。	科目ごとの弱点を適切に把握する。	個別の支援計画を作成する。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　井　上　由紀子	

アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
3-8-2 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか。	学科毎に目標とする教育到達レベルを明示しているか。	3	シラバスに明示。	学生の理解が不十分。	授業ごとに担当講師より、説明していく必要がある。	学生便覧 学則別表授業科目一覧
	教育到達レベルは、理念等に適合しているか。		本校の教育理念に適合していると考える。	学生への周知徹底がなされていない。	各担任より、本校が目指すべき人材像の説明が必要である。	
	資格・免許の取得を目指す学科において、取得の意義及び取得指導・支援体制を明確にしているか。		開講前のオリエンテーションに資料を配付し、その説明を行っている。	学生への周知徹底が不十分。	学生が資格取得の意義を明確に理解できるような指導が必要。	
	資格･免許取得を教育到達レベルとしている学科では、取得指導･支援体制を整備しているか。		資格取得指導、支援体制は整っている。	学生・教員間の指導・支援時間の調整。	あらかじめ決められた時間内で実施していきたい。	

	記載責任者　職・氏名	学科長　　寺　本　敦　司

整体セラピスト学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-8-2 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか。	学科毎に目標とする教育到達レベルを明示しているか。	3	１年で習得できる資格取得を目標としている	なし	なし	学生便覧 学則別表授業科目一覧
	教育到達レベルは、理念等に適合しているか。		理念に適合している	個々の習得レベルの差がみられた	教員が情報を共有し対策を検討する	
	資格・免許の取得を目指す学科において、取得の意義及び取得指導・支援体制を明確にしているか。		基礎と専門分野の担当教員で連携を取っている	なし	なし	
	資格･免許取得を教育到達レベルとしている学科では、取得指導･支援体制を整備しているか。		取得指導・支援体制を整備できている。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　蓑　田　のり子	

日本語学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-8-2	学科毎に目標とする教	3	コースにより、進	学生の習熟度、科目に	学生の学習面、意識の	

学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか。	育到達レベルを明示しているか。		学、就職に向けたレベル設定をしている。	より達成が困難な時がある	向上面を考えた授業の見直し	
	教育到達レベルは、理念等に適合しているか。		適合している	なし	なし	
	資格・免許の取得を目指す学科において、取得の意義及び取得指導・支援体制を明確にしているか。		JLPT 等の日本語の試験の受験の推奨及び対策をおこなっている	試験に対する学生の意識、危機感の低さ、日本語力の不足	進学、就職を絡めた動機づけの強化、早期からの対策実施	
	資格･免許取得を教育到達レベルとしている学科では、取得指導･支援体制を整備しているか。		該当なし			
				記載責任者　職・氏名	学科長　　髙　野　徳　一	

ホスピタリティ・コンシェルジュ学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
3-8-2 学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか。	学科毎に目標とする教育到達レベルを明示しているか。	2	シラバスに沿った授業を行っている	日本語能力の不足によるシラバス記載の到達レベル未到達。	日本語能力向上を目的とした授業展開。	学生便覧 学則別表授業科目一覧
	教育到達レベルは、理念等に適合しているか。		適合している	日本語能力不足によるシラバス記載の到達レベル未到達。	日本語能力向上を目的とした授業展開。	

	資格・免許の取得を目指す学科において、取得の意義及び取得指導・支援体制を明確にしているか。		資格取得のため、時間外の授業を実施中	個人によってレベルの差がある	なし	
	資格･免許取得を教育到達レベルとしている学科では、取得指導･支援体制を整備しているか。		資格試験のための授業を行い、さらに希望者に補講	授業時間外まで、勉強をしたい学生が少ない	勉強の必要性を話し、学生に補講のアナウンスをもう一度行う	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　川　上　　聖	

３－９　教育方法・評価等

３－９－１

柔道整復学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか。	教育課程を編成する体制は、規程等で明確にしているか。	4	明確である	なし	なし	教育課程編成委員会議事録 学生便覧 学則別表授業科目一覧 職業実践専門課程規
	議事録を作成するなど教育課程の編成過程を明確にしているか。		作成している	なし	なし	

	授業科目の開設において、専門科目、一般科目を適切に配分しているか。		配分している	なし	なし	定
	授業科目の開設において、必修科目・選択科目を適切に配分しているか。		配分している	なし	なし	
	修了に係る授業時数、単位数を明示しているか。		明示している	なし	なし	
	授業科目の目標に照らし、適切な教育内容を提供しているか。		提供している	なし	なし	
	授業科目の目標に照らし、講義・演習・実習等、適切な授業形態を選択しているか。		選択している	なし	なし	
	授業科目の目標に照らし、授業内容、授業方法を工夫するなど学習指導は充実しているか。		充実している	なし	なし	
	職業実践教育の視点で、科目内容に応じ、		適切に配分している	なし	なし	

	講義・演習・実習等を適切に配分しているか。					
	職業実践教育の視点で教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか。		工夫している	なし	なし	
	単位制の学科において、履修科目の登録について適切な指導を行っているか。		適切な指導を行っている	なし	なし	
	授業科目について授業計画（シラバス・コマシラバス）を作成しているか。		作成している	なし	なし	
	教育課程は、定期的に見直し、改定を行っているか。		毎年改定している	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長補佐　　社　　由　洋	

スポーツ柔整学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成して	教育課程を編成する体制は、規程等で明確にしているか。	4	明確である。	なし	なし	教育課程編成委員会議事録 学生便覧

いるか。	議事録を作成するなど教育課程の編成過程を明確にしているか。		明確である。	なし	なし	学則別表授業科目一覧 職業実践専門課程規定
	授業科目の開設において、専門科目、一般科目を適切に配分しているか。		配分されている。	なし	なし	
	授業科目の開設において、必修科目・選択科目を適切に配分しているか。		配分されている。	なし	なし	
	修了に係る授業時数、単位数を明示しているか。		明示している。	なし	なし	
	授業科目の目標に照らし、適切な教育内容を提供しているか。		提供している。	なし	なし	
	授業科目の目標に照らし、講義・演習・実習等、適切な授業形態を選択しているか。		選択している。	なし	なし	
	授業科目の目標に照らし、授業内容、授業方法を工夫するなど学習指導は充実している		充実している。	なし	なし	

	か。					
	職業実践教育の視点で、科目内容に応じ、講義・演習・実習等を適切に配分しているか。		配分している。	なし	なし	
	職業実践教育の視点で教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか。		工夫している。	なし	なし	
	単位制の学科において、履修科目の登録について適切な指導を行っているか。		適切な指導であった。	なし	なし	
	授業科目について授業計画（シラバス・コマシラバス）を作成しているか。		作成している。	なし	なし	
	教育課程は、定期的に見直し、改定を行っているか。		改定している。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長補佐　　村　岡　太　介	

鍼灸学科（昼間部）						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**

3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか。	教育課程を編成する体制は、規程等で明確にしているか。	2	理念に基づいて規程を明確している	なし	なし	学生便覧 シラバス
	議事録を作成するなど教育課程の編成過程を明確にしているか。		会議ごとに議事録を作成している。	なし	なし	
	授業科目の開設において、専門科目、一般科目を適切に配分しているか。		はり師・きゅう師学校養成施設指定規則に準じて行っている。	なし	なし	
	授業科目の開設において、必修科目・選択科目を適切に配分しているか。		全て必修科目であり、選択科目はない。	なし	なし	
	修了に係る授業時数、単位数を明示しているか。		学生便覧に記載されてある。	なし	なし	
	授業科目の目標に照らし、適切な教育内容を提供しているか。		到達レベルを設定し、教育内容を設定している。	一部の業界の方の意見を賜ったらが、また反映できていない。	業界の方の意見を反映するカリキュラムを検討する。	
	授業科目の目標に照らし、講義・演習・実習等、適切な授業形態を選択しているか。		到達レベルを設定し、教育内容を設定している。	一部の業界の方の意見を賜ったが、また反映できていない。	業界の方の意見を反映するカリキュラムを検討する。	
	授業科目の目標に照ら		到達レベルを設定し、	一部の業界の方の意	業界の方の意見を反	

	し、授業内容、授業方法を工夫するなど学習指導は充実しているか。		教育内容を設定している。	見を賜ったが、また反映できていない。	映するカリキュラムを検討する。	
	職業実践教育の視点で、科目内容に応じ、講義・演習・実習等を適切に配分しているか。		定期的な会議にて意見を頂き、反映させようとしている。			
	職業実践教育の視点で教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか。		定期的な会議にて意見を頂き、反映させようとしており、今年度は注目を浴びている美容鍼灸の先生をお招きした。	業界のニーズに合っているかどうか。	業界の方に意見を賜る。	
	単位制の学科において、履修科目の登録について適切な指導を行っているか。		行えている。			
	授業科目について授業計画（シラバス・コマシラバス）を作成しているか。		科目ごとにシラバスを作成している。	科目間の連携。	定期的に会議等を実施し、把握する。	
	教育課程は、定期的に見直し、改定を行って		定期的に会議を行っている。	カリキュラムの変更による状況の把握。	カリキュラム変更に伴い、問題点をあげ	

	いるか。				る。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　堀之内　貴　一	

４）スポーツ鍼灸学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか。	教育課程を編成する体制は、規程等で明確にしているか。	2	理念に基づいて規程を明確している	時勢にあったものか常に見定める必要がある	定期的な会議を通じて現状報告を行い、記録に残す	学生便覧 シラバス
	議事録を作成するなど教育課程の編成過程を明確にしているか。		定期的な会議を実施し カリキュラムに反映させようとしている	カリキュラム改正による変化を把握する必要がある	定期的な会議を通じて現状報告を行い、記録に残す	
	授業科目の開設において、専門科目、一般科目を適切に配分しているか。		定期的な会議を実施し カリキュラムに反映させようとしている	カリキュラム改正による変化を把握する必要がある	定期的な会議を通じて現状報告を行い、記録に残す	
	授業科目の開設において、必修科目・選択科目を適切に配分しているか。		定期的な会議を実施し カリキュラムに反映させようとしている	カリキュラム改正による変化を把握する必要がある	定期的な会議を通じて現状報告を行い、記録に残す	
	修了に係る授業時数、単位数を明示しているか。		学生便覧に定めてある	入学前段階の個別対応で知る機会があるが効率が良くない	入学前段階で広く伝えられるような仕組みづくりを検討	
	授業科目の目標に照らし、適切な教育内容を		卒業時の到達レベルに目標をおいて教育	教員が安定せずに浸透度合いの差がみら	定期的な会議、授業見学などを通じて浸透	

	提供しているか。		内容の設定を行っている	れる。	を図っていく	
	授業科目の目標に照らし、講義・演習・実習等、適切な授業形態を選択しているか。		卒業時の到達レベルに目標をおいて教育内容の設定を行っている	教員が安定せずに浸透度合いの差がみられる。	定期的な会議、授業見学などを通じて浸透を図っていく	
	授業科目の目標に照らし、授業内容、授業方法を工夫するなど学習指導は充実しているか。		卒業時の到達レベルに目標をおいて教育内容の設定を行っている	教員が安定せずに浸透度合いの差がみられる。	定期的な会議、授業見学などを通じて浸透を図っていく	
	職業実践教育の視点で、科目内容に応じ、講義・演習・実習等を適切に配分しているか。		定期的な会議を実施し カリキュラムに反映させようとしている	カリキュラム改正による変化を把握する必要がある	定期的な会議を通じて現状報告を行い、記録に残す	
	職業実践教育の視点で教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか。		定期的な会議を実施し カリキュラムに反映させようとしている	カリキュラム改正による変化を把握する必要がある	定期的な会議を通じて現状報告を行い、記録に残す	
	単位制の学科において、履修科目の登録について適切な指導を行っているか。		指導は行えている	未収得単位の勉強意欲だけになってしまい、全体の習熟度が低下している	全体の習熟度を上げるために個別面談を行う	
	授業科目について授業		全体のシラバス作成	コマシラバスの作成	コマシラバスに関し	

	計画（シラバス・コマシラバス）を作成しているか。		は年度初めに完成している	を個々の教員に一任しており一貫していない	ては学科内会議によってどうするか検討する	
	教育課程は、定期的に見直し、改定を行っているか。		定期的な会議を実施し カリキュラムに反映させようとしている	来年度からカリキュラム改正を行い、今後に反映させていく必要がある	定期的な会議を通じて現状報告を行い、記録に残す	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　松　波　　賢	

理学療法学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか。	教育課程を編成する体制は、規程等で明確にしているか。	3	会議等を行い、情報共有を図っている	議事録等の作成の充実を図る	議事録等の作成、管理を行う	教育課程編成委員会議事録 学生便覧 学則別表授業科目一覧 職業実践専門課程規定
	議事録を作成するなど教育課程の編成過程を明確にしているか。		会議等を行い、情報共有を図っている	議事録等の作成の充実を図る	議事録等の作成、管理を行う	
	授業科目の開設において、専門科目、一般科目を適切に配分しているか。		基礎科目・専門基礎科目・専門科目に分配している	なし	なし	
	授業科目の開設において、必修科目・選択科目を適切に配分しているか。		全科目必須科目である	なし	なし	

	修了に係る授業時数、単位数を明示しているか。		授業シラバス明示している	なし	なし	
	授業科目の目標に照らし、適切な教育内容を提供しているか。		授業シラバスに則って授業を実施している	教育内容の精度の確認を図る	授業評価を授業に反映する。	
	授業科目の目標に照らし、講義・演習・実習等、適切な授業形態を選択しているか。		授業シラバスに則って授業を実施している	教育内容の精度の確認を図る	授業評価を授業に反映する。	
	授業科目の目標に照らし、授業内容、授業方法を工夫するなど学習指導は充実しているか。		授業シラバスに則って授業を実施している	教育内容の精度の確認を図る	授業評価を授業に反映する。	
	職業実践教育の視点で、科目内容に応じ、講義・演習・実習等を適切に配分しているか。		授業シラバスに則って授業を実施している	教育内容の精度の確認を図る	授業における演習・実習等の時間数を見直す	
	職業実践教育の視点で教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか。		授業シラバスに則って授業を実施している	教育内容の精度の確認を図る	授業評価を授業に反映する。	
	単位制の学科におい		授業シラバスを配布	学生の理解度の把握	学生へ意識調査を行	

	て、履修科目の登録について適切な指導を行っているか。		して学生と供覧し説明している	を図る	うため随時面談を行う	
	授業科目について授業計画（シラバス・コマシラバス）を作成しているか。		授業シラバスを作成している	なし	なし	
	教育課程は、定期的に見直し、改定を行っているか。		理学療法士作業療法士指定規則に則って校正をしている	教育課程の定期的な見直しを行う	指定規則に則り授業科目及び実数の見直しを行う	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　永　野　　忍	

作業療法学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか。	教育課程を編成する体制は、規程等で明確にしているか。	3	学生便覧に教育課程を明示している。	指定規則カリキュラム改正に伴う、教育課程の再編成が課題である。	指定規則カリキュラム改正内容を学科内で共有し、教育目的・目標に沿った教育課程再編成の検討および協議を実施する。	・シラバス(平成 30 年度作業療法学科科目) ・教職員による授業参観アンケート用紙
	議事録を作成するなど教育課程の編成過程を明確にしているか。		教育課程編成に関する協議は学科会議にて行い、議事録を作成している。	教育課程編成委員会の開催に向けた計画立案が課題である。	教育課程編成委員会の開催に向けた詳細について定期的に検討する。	
	授業科目の開設におい		指定規則に基づいて、	指定規則カリキュラ	指定規則カリキュラ	

	て、専門科目、一般科目を適切に配分しているか。		基礎科目、専門基礎科目、専門科目の３分野に大別し、科目を配分している。	ム改正に伴う、教育課程の再編成が課題である。	ム改正内容を学科内で共有し、教育目的・目標に沿った教育課程再編成の検討および協議を実施する。	
	授業科目の開設において、必修科目・選択科目を適切に配分しているか。		指定規則に基づいて、必修科目を配分している。	現行の教育課程に選択科目を配分していないのが課題である。	指定規則カリキュラム改正内容を学科内で共有し、理念、教育目的・目標、職業実践教育の視点、到達レベルといった多様な観点から教育課程再編成の検討および協議を実施する。	
	修了に係る授業時数、単位数を明示しているか。		授業時数、単位数を科目ごとに教育課程に明示している。	指定規則カリキュラム改正に伴う、教育課程の再編成が課題である。	教育課程再編成の検討および協議において授業時数や単位数も考慮して実施する。	
	授業科目の目標に照らし、適切な教育内容を提供しているか。		授業科目ごとにシラバスを作成、開示している。また、教職員による授業参観および評価を実施している。	学生による授業評価、教職員による授業参観および評価が教育内容に反映されているかの定期的なモニタリングが未実施である。	学生および教職員による授業評価結果の共有化と教職員による授業参観および評価をモニタリングも含めて継続して実施する。	

	授業科目の目標に照らし、講義・演習・実習等、適切な授業形態を選択しているか。		カリキュラムポリシーおよび指定規則に基づいて、授業科目の授業形態を編成している。	学生による授業評価、教職員による授業参観および評価が適切な授業形態の選択に反映されているかの定期的なモニタリングが未実施である。	学生および教職員による授業評価結果の共有化と教職員による授業参観および評価をモニタリングも含めて継続して実施する。	
	授業科目の目標に照らし、授業内容、授業方法を工夫するなど学習指導は充実しているか。		教職員による授業参観および評価を実施し、授業科目担当教員が授業内容、方法の見直しと工夫を行っている。	学生による授業評価、教職員による授業参観および評価が適切な授業内容や方法の工夫に反映されているかの定期的なモニタリングが未実施である。	学生および教職員による授業評価結果の共有化と教職員による授業参観および評価をモニタリングも含めて継続して実施する。また、専任教員が教育研究・研修に携わる機会を充実させる。	
	職業実践教育の視点で、科目内容に応じ、講義・演習・実習等を適切に配分しているか。		カリキュラムポリシーおよび指定規則に基づいて、授業科目の授業形態を選択し編成している。	指定規則カリキュラム改正に伴う、教育課程の再編成が課題である。	指定規則カリキュラム改正内容を学科内で共有し、職業実践教育の視点で教育課程再編成の検討および協議を実施する。	
	職業実践教育の視点で教育内容・教育方法・		国家試験と臨床技能の両者の観点から、教	臨床現場等の作業療法士からの教育内容	臨床教育者会議等を通じて、臨床現場等の	

	教材等について工夫しているか。		育内容や方法を学科会議等で検討している。	や教育方法に関する意見交換や情報の共有化を図る機会が乏しい。	作業療法士からの教育内容や教育方法に関する意見や情報を収集する。	
	単位制の学科において、履修科目の登録について適切な指導を行っているか。		年度、学期ごとにオリエンテーションを実施し、開講科目の履修および試験に関する指導を行っている。	選択科目を配分した場合、履修登録システムの構築が必要である。	教育課程再編成に対する検討では、履修登録システムの構築も含めて協議する。	
	授業科目について授業計画（シラバス・コマシラバス）を作成しているか。		すべての授業科目において、担当教員がシラバスを作成している。	コマシラバスの作成は学科方針として統一されていない。	シラバス・コマシラバスの作成に関する情報収集と共有化を学科教員間で図る。	
	教育課程は、定期的に見直し、改定を行っているか。		学科会議等で教育課程に関する検討を定期的に行っている。	指定規則カリキュラム改正に対応した教育課程の再編成が課題である。	指定規則カリキュラム改正内容を学科内で共有し、教育課程再編成の検討および協議を実施する。	
				記載責任者　職・氏名	学科長補佐　　中　山　　仁	

看護学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**

3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか。	教育課程を編成する体制は、規程等で明確にしているか。	3	学科内に「教育課程編成委員会」を設置し、基礎分野、専門基礎分野、専門分野Ⅰ・Ⅱの講義・演習・実習等の内容について体系的な教育課程づくりに取り組んでいる。	2022 年にカリキュラム改正に向けて教育課程の評価を実施する必要がある。	教育課程の評価表の作成	教育課程編成委員会議事録 学生便覧 学則別表授業科目一覧 職業実践専門課程規定
	議事録を作成するなど教育課程の編成過程を明確にしているか。		議事録を作成している。	議事録の内容を学科内に浸透させる必要がある。	学科会議等を活用する。	
	授業科目の開設において、専門科目、一般科目を適切に配分しているか。		看護師養成所指定規則に基づき、適切に配分している。	教科外活動については、時間数の検討をしていきたい。	なし	
	授業科目の開設において、必修科目・選択科目を適切に配分しているか。		看護学科の科目は、すべて必修科目であり、選択科目は無い。	選択科目を配分できるような時間が必要である。	教科外活動の検討	
	修了に係る授業時数、単位数を明示しているか。		している。	なし	なし	
	授業科目の目標に照らし、適切な教育内容を提供しているか。		教育内容は提供している。	教育内容の精選をする必要がある。	シラバスの構成改善	

	授業科目の目標に照らし、講義・演習・実習等、適切な授業形態を選択しているか。		授業形態は選択している。	講義に関連した演習の内容・時間数を検討する必要がる。	講義・演習・実習の関連性を明文化する必要がある。	
	授業科目の目標に照らし、授業内容、授業方法を工夫するなど学習指導は充実しているか。		学習指導については、各教員の研鑽が今後も必要である。	新人教員の授業案の作成を充実させる。	講習会参加、学科における授業参観の実施	
	職業実践教育の視点で、科目内容に応じ、講義・演習・実習等を適切に配分しているか。		配分している。	当学科の学生に適しているか検討する必要がある。	各領域担当者で検討する。	
	職業実践教育の視点で教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか。		職業実践教育の視点で、教育内容・教育方法・教材等について工夫はしている。	各領域の教員間で、授業案の検討をする必要がる。	各領域の教員間で、授業案の検討をする必要がる。	
	単位制の学科において、履修科目の登録について適切な指導を行っているか。		履修科目の説明を行っている。	未履修科目について、早期に知らせる必要がある。	履修科目の評価の早期の返却	
	授業科目について授業計画（シラバス・コマシラバス）を作成して		シラバスを作成している。	シラバスの構成を内容がわかりやすいようにする必要がある。	シラバスの構成変更	

	いるか。					
	教育課程は、定期的に見直し、改定を行っているか。		開校して 3 年目が立ち、指導調査も終了したことから､2022 年カリキュラム改正に向けて、準備段階に入っている。	定期的に教育課程を見直す必要がある。	教育課程編成委員会の増員を図り、内容検討を充実させる。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　村山　由起子	

歯科衛生学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか。	教育課程を編成する体制は、規程等で明確にしているか。	3	会議などで情報共有をしている。	情報共有を充実化させる。	議事録の作成、管理を行う。	教育課程編成委員会議事録 学生便覧 学則別表授業科目一覧 職業実践専門課程規定
	議事録を作成するなど教育課程の編成過程を明確にしているか。		会議などで情報共有をしている。	情報共有を充実化させる。	議事録の作成、管理を行う。	
	授業科目の開設において、専門科目、一般科目を適切に配分しているか。		基礎科目、専門基礎科目、専門科目に配分している。	一般科目の配分。	一般科目の充実化を行う。	
	授業科目の開設において、必修科目・選択科目を適切に配分しているか。		全科目必修科目である。	授業内容を充実化させる。	科目によっては時間数を見直す。	

	修了に係る授業時数、単位数を明示しているか。		明示している。	なし	なし	
	授業科目の目標に照らし、適切な教育内容を提供しているか。		提供している。	授業内容の精度を確認する。	評価を考える。	
	授業科目の目標に照らし、講義・演習・実習等、適切な授業形態を選択しているか。		選択している。	講義・演習・実習内容の精度を確認する。	評価を考える。	
	授業科目の目標に照らし、授業内容、授業方法を工夫するなど学習指導は充実しているか。		教科書以外の副読本を使用している。	評価の統一性。	教職員による評価を考える。	
	職業実践教育の視点で、科目内容に応じ、講義・演習・実習等を適切に配分しているか。		配分している。	実習担当の教員数が少ないことが課題。	実習は少なくとも2人以上で実施する。	
	職業実践教育の視点で教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか。		講義と臨床の立場で授業や実習を行う。	1年次での臨床実習見学の場が必要	カリキュラムの見直し。	
	単位制の学科におい		オリエンテーション	科目数、時間数の把	周知徹底を行う。	

	て、履修科目の登録について適切な指導を行っているか。		にて科目履修試験に関する指導を行っている	握。		
	授業科目について授業計画（シラバス・コマシラバス）を作成しているか。		担当教員がシラバスを作成している。	なし	なし	
	教育課程は、定期的に見直し、改定を行っているか。		見直しは行っているが、改定はできていない。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　藤　　幸　枝	

生涯スポーツトレーナー介護福祉士学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか。	教育課程を編成する体制は、規程等で明確にしているか。	4	教育理念、教育目的、目標を基に教育課程の概要を編成。指定規則に則っている。	生活支援の基礎となる生活や文化についての理解が必要である。	領域「人間と社会」の選択科目に生活文化について学ぶ科目の検討が必要。	教育課程編成委員会議事録 学生便覧 学則別表授業科目一覧 職業実践専門課程規定
	議事録を作成するなど教育課程の編成過程を明確にしているか。		学科会議、教育課程編成委員会等の議事録を作成して教育課程の編成に反映させるようにしている。	領域として広がりを持つ科目を体系的に構造的に構築する必要がある。	科目の履修過程を再検討して履修時期を設定する。	
	授業科目の開設において、専門科目、一般科		指定規則に則って配分している。	介護福祉士の専門を支える基礎科目を充	新カリキュラム移行に伴い検討する。	

	目を適切に配分しているか。			実させる。		
	授業科目の開設において、必修科目・選択科目を適切に配分しているか。		指定規則に則り、指定科目と指定科目外の科目を設定している。	指定外の科目の設定数が少なく、すべて卒業必修になっている。	指定外科目の設定を検討して選択できるようにする。	
	修了に係る授業時数、単位数を明示しているか。		指定規則に則って学生便覧、学則に明示している。	特になし	特になし	
	授業科目の目標に照らし、適切な教育内容を提供しているか。		「介護福祉士養成課程における教育内容の見直し」(厚労省)をふまえて教育内容を提供している。	留学生にとっては専門教育の授業の進度が早いと感じている。	授業を理解するための日本語力を高める取り組みを実施する。	
	授業科目の目標に照らし、講義・演習・実習等、適切な授業形態を選択しているか。		授業科目はすべて講義・演習・実習等の授業形態に区分し、学則や学生便覧に明記している。	特になし	特になし	
	授業科目の目標に照らし、授業内容、授業方法を工夫するなど学習指導は充実しているか。		シラバスにおいて講義内容を表示し、授業の進め方については他教員の意見を聞くようにしている。	留学生であるためにテキストに工夫が必要。	出版社と定期的に連絡を取り、テキストやサブテキストについての意見を伝え、検討課題としてもらっている。	

	職業実践教育の視点で、科目内容に応じ、講義・演習・実習等を適切に配分しているか。		介護福祉職養成の視点から適切な授業形態で実施している。	特になし	特になし	
	職業実践教育の視点で教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか。		具体的な事例を使って学習したり、現場に出かけたりして体験的に学べるようにしている。	特になし	特になし	
	単位制の学科において、履修科目の登録について適切な指導を行っているか。		該当なし	該当なし	該当なし	
	授業科目について授業計画（シラバス・コマシラバス）を作成しているか。		全授業科目についてシラバスを作成している。	科目によってシラバスにばらつきがある。	シラバスの形式を検討して改善する。	
	教育課程は、定期的に見直し、改定を行っているか。		教育課程、教育内容については定期的に検討しているが改定については「教育内容の見直し」(厚労省) を踏まえて次年度の予定。	教員間の情報共有を徹底するために学科の会議においても必要に応じて取り上げている。	今後改定に向けた検討会を実施する。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　井　上　由紀子	

アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか。	教育課程を編成する体制は、規程等で明確にしているか。	3	学生便覧に記載されている。	学生への説明が必要である。	資格取得に関する説明を実施する。	教育課程編成委員会議事録 学生便覧 学則別表授業科目一覧 職業実践専門課程規定 授業評価アンケート
	議事録を作成するなど教育課程の編成過程を明確にしているか。		教育課程編成会議終了後、議事録を作成している。	時代の流れに即した教育課程の編成が必要である。	教育課程編成員会と合わせ、非常勤講師へのヒアリングが必要である。	
	授業科目の開設において、専門科目、一般科目を適切に配分しているか。		授業科目において、専門科目、一般科目の配分はなされている。	科目内容が時代の流れに適しているのかを確認する必要がある。	教育課程編成員会と合わせ、非常勤講師へのヒアリングが必要である。	
	授業科目の開設において、必修科目・選択科目を適切に配分しているか。		本学科では、すべて必修科目となっている。	特になし	特になし。	
	修了に係る授業時数、単位数を明示しているか。		学生便覧において、単位数のみ記載れている。	講義によって、時間数が異なる。	オリエンテーション時に詳細な資料配布を検討していく。	
	授業科目の目標に照らし、適切な教育内容を提供しているか。		資格取得を目標とした授業展開をしている。	資格取得を前提に授業が進められている。	授業評価アンケートの結果を反映させていく。	
	授業科目の目標に照ら		資格取得要件を満た	講義科目と演習・実習	科目担当講師との情	

	し、講義・演習・実習等、適切な授業形態を選択しているか。		す授業科目の展開をしている。	科目との連携が必要である。	報共有を密にしていく。	
	授業科目の目標に照らし、授業内容、授業方法を工夫するなど学習指導は充実しているか。		授業科目の理解を深めるために動画、骨模型などを使用している。	授業内容の理解度を把握していく必要がある。	授業アンケートの結果を反映させていく。	
	職業実践教育の視点で、科目内容に応じ、講義・演習・実習等を適切に配分しているか。		資格取得に必要なカリキュラム内容で授業運営を実施している。	特になし	特になし	
	職業実践教育の視点で教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか。		スポーツ指導の現場で指導できる内容を加えようにした。	受講する学生数により、授業時間が足りなくなる。	カリキュラムの見直しが必要となる。	
	単位制の学科において、履修科目の登録について適切な指導を行っているか。		本学科での科目はすべて必須になっているため、登録制度はとっていない。	特になし	特になし	
	授業科目について授業計画（シラバス・コマシラバス）を作成しているか。		科目コーディネーター制度を採用している。	非常勤講師との情報共有が必要となる。	授業終了後に、非常勤講師との情報交換を心がける。	

	教育課程は、定期的に見直し、改定を行っているか。		年度末に教育課程の見直しはしている。	業界のニーズを常に把握していく必要がある。	教育課程編成員会と合わせ、非常勤講師へのヒアリングが必要である。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　寺　本　敦　司	

整体セラピスト学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか。	教育課程を編成する体制は、規程等で明確にしているか。	3	明確である	なし	なし	教育課程編成委員会議事録 学生便覧 学則別表授業科目一覧 職業実践専門課程規定
	議事録を作成するなど教育課程の編成過程を明確にしているか。		なし	なし	なし	
	授業科目の開設において、専門科目、一般科目を適切に配分しているか。		基礎・専門基礎・専門分野に分けられている	なし	なし	
	授業科目の開設において、必修科目・選択科目を適切に配分しているか。		全て必修科目である	なし	なし	
	修了に係る授業時数、単位数を明示しているか。		学生便覧に単位数のみ明示している	なし	なし	

	授業科目の目標に照らし、適切な教育内容を提供しているか。		毎年変化があり、業界のニーズに合ったものの提供ができている	なし	なし	
	授業科目の目標に照らし、講義・演習・実習等、適切な授業形態を選択しているか。		資格取得に向けた授業形態の選択を行っている	なし	なし	
	授業科目の目標に照らし、授業内容、授業方法を工夫するなど学習指導は充実しているか。		資格取得に向けた充実した授業内容である。	技術習得レベルの差をなくしていく	習得レベルに合わせた、授業方法の変化が必要である	
	職業実践教育の視点で、科目内容に応じ、講義・演習・実習等を適切に配分しているか。		講義時間数が少ない	主体性が乏しい	接遇を含む社会人力の講義数を増やす	
	職業実践教育の視点で教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか。		工夫はしているが、改善は必要である	人財育成の観点で技術以外の部分の指導	接遇を含む社会人力の講義数を増やす	
	単位制の学科において、履修科目の登録について適切な指導を行		行っている	なし	なし	

	っているか。					
	授業科目について授業計画（シラバス・コマシラバス）を作成しているか。		作成している	なし	なし	
	教育課程は、定期的に見直し、改定を行っているか。		行っている	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　蓑　田　のり子	

日本語学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか。	教育課程を編成する体制は、規程等で明確にしているか。	2	ある	なし	なし	
	議事録を作成するなど教育課程の編成過程を明確にしているか。		作成していない	話し合いによって作成していたので記録がなくなる	これから議事録の作成をしていく	
	授業科目の開設において、専門科目、一般科目を適切に配分しているか。		該当しない			
	授業科目の開設において、必修科目・選択科目を適切に配分してい		該当しない			

	るか。					
	修了に係る授業時数、単位数を明示しているか。		該当しない			
	授業科目の目標に照らし、適切な教育内容を提供しているか。		カリキュラムに従い行っている	なし		
	授業科目の目標に照らし、講義・演習・実習等、適切な授業形態を選択しているか。		該当しない			
	授業科目の目標に照らし、授業内容、授業方法を工夫するなど学習指導は充実しているか。		工夫をして指導している	学習者のレベル、理解力、意識の差が大きいので、同じ指導でも均一に目標通りに行かないことが多々ある。	学習者に注意を払い、声掛け、面談等で様子を確認し、必要であれば個別に対応していく	
	職業実践教育の視点で、科目内容に応じ、講義・演習・実習等を適切に配分しているか。		該当しない			
	職業実践教育の視点で教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか。		該当しない			

	単位制の学科において、履修科目の登録について適切な指導を行っているか。		該当しない			
	授業科目について授業計画（シラバス・コマシラバス）を作成しているか。		作成している	作成した予定通りに行かないことがある。進学や就職、イベントによりずれたり、別のことをしなければならないことがある。	予定を考える上で、授業外の予定を加味し、レベルをさらに考えて作成する	
	教育課程は、定期的に見直し、改定を行っているか。		半期ごとに見直しを行っている			
				記載責任者　職・氏名	学科長　　髙　野　徳　一	

ホスピタリティ・コンシェルジュ学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか。	教育課程を編成する体制は、規程等で明確にしているか。	2	シラバスに記載。	なし	なし	教育課程編成委員会議事録 学生便覧 学則別表授業科目一覧 職業実践専門課程規定
	議事録を作成するなど教育課程の編成過程を明確にしているか。		トークノートの業務連絡を活用して報告	なし	なし	
	授業科目の開設において、専門科目、一般科		配分している	なし	なし	

	目を適切に配分しているか。					
	授業科目の開設において、必修科目・選択科目を適切に配分しているか。		配分している	なし	なし	
	修了に係る授業時数、単位数を明示しているか。		シラバスに明示	なし	なし	
	授業科目の目標に照らし、適切な教育内容を提供しているか。		科目に沿った授業を行っている	学生のレベルに対して幾分、目標設定が高いと思われるものがある	学生のレベル、就職先のニーズに合わせた授業を行う	
	授業科目の目標に照らし、講義・演習・実習等、適切な授業形態を選択しているか。		学生のレベルに合わせた授業をおこなっている	なし	なし	
	授業科目の目標に照らし、授業内容、授業方法を工夫するなど学習指導は充実しているか。		学生がやる気、モチベーションを保つようこころがけている	なし	なし	
	職業実践教育の視点で、科目内容に応じ、講義・演習・実習等を		学生に合わせた授業を行っている			

	適切に配分しているか。					
	職業実践教育の視点で教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか。		写真などを使い、わかりやすい授業を心掛けている	ホテルへ行ったことがないので、なかなか伝わりにくい	早めにホテル見学へいく（計画中）	
	単位制の学科において、履修科目の登録について適切な指導を行っているか。		行っている	日本語が完ぺきではないので、理解できていない学生もいる	何度も通達し、わかるまで説明する	
	授業科目について授業計画（シラバス・コマシラバス）を作成しているか。		作成している			
	教育課程は、定期的に見直し、改定を行っているか。		非常勤講師を交えて定期的に見直しを行っている		引き続き定期的な見直しと改定を実施する	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　川　上　　聖	

３－９－２

柔道整復学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-2	教育課程の編成及び改	4	行っている	なし	なし	教育課程編成委員会

教育課程について外部の意見を反映しているか。	定において、在校生・卒業生の意見聴取や評価を行っているか。					議事録
	教育課程の編成及び改定において、関連する業界・機関等の意見聴取や評価を行っているか。		行っている	なし	なし	
	職業実践教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか。		行っている	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長補佐　　社　　由　洋	

スポーツ柔整学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-2 教育課程について外部の意見を反映しているか。	教育課程の編成及び改定において、在校生・卒業生の意見聴取や評価を行っているか。	4	行われている。	なし	なし	教育課程編成委員会議事録
	教育課程の編成及び改定において、関連する業界・機関等の意見聴取や評価を行っているか。		行われている。	なし	なし	

	職業実践教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか。		行われている。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長補佐　　村　岡　太　介	

鍼灸学科（昼間部）						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
3-9-2 教育課程について外部の意見を反映しているか。	教育課程の編成及び改定において、在校生・卒業生の意見聴取や評価を行っているか。	2	年1回授業評価アンケートを実施している。	教員の総合評価であり、科目別にできていない。	アンケート用紙を授業ごとに変更する。	
	教育課程の編成及び改定において、関連する業界・機関等の意見聴取や評価を行っているか。		定期的な会議を実施し 業界・機関等との意見交換などを行っている	カリキュラム改正による変化を把握する必要がある	会議を通じ、意見交換を行う。	
	職業実践教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか。		卒業生の就職先を聴くだけにとどまっている	意見を聞く場所を設ける	企業説明会の際に就職した卒業生の話を聴く	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　堀之内　貴　一	

スポーツ鍼灸学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**

3-9-2 教育課程について外部の意見を反映しているか。	教育課程の編成及び改定において、在校生・卒業生の意見聴取や評価を行っているか。	2	授業アンケートを実施している	総合で判断しているため個々の授業評価がわからない	在校生だけになっており、同窓会なども通じて卒業生を意見も聴取する	授業アンケート
	教育課程の編成及び改定において、関連する業界・機関等の意見聴取や評価を行っているか。		定期的な会議を実施し 業界・機関等の意見聴取を行っている	カリキュラム改正による変化を把握する必要がある	定期的な会議を通じて現状報告を行い、記録に残す	
	職業実践教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか。		卒業生の就職先を聴くだけにとどまっている	意見を聞く場所を設ける	企業説明会の際に就職した卒業生の話を聴く	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　松　波　　賢	

理学療法学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
3-9-2 教育課程について外部の意見を反映しているか。	教育課程の編成及び改定において、在校生・卒業生の意見聴取や評価を行っているか。	2	在校生に意見聴取している	教育課程の編成及び改定において、卒業生の意見聴取や評価を行う	卒業生への意見聴取を行い、教育課程の編成を検討する	教育課程編成委員会議事録
	教育課程の編成及び改定において、関連する業界・機関等の意見聴取や評価を行っている		教育課程編成委員会にて意見聴取や評価を行っている	教育課程編成委員会にて意見聴取や評価を反映する	教育課程編成委員会にて意見聴取や評価をもとに教育課程を見直す	

	か。					
	職業実践教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか。		卒業生より意見聴取を行っている	臨床実習における教育の充実	臨床実習指導者会議において指導者との連携を図る	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　永　野　　忍	

作業療法学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
3-9-2 教育課程について外部の意見を反映しているか。	教育課程の編成及び改定において、在校生・卒業生の意見聴取や評価を行っているか。	2	学生による授業評価、教職員による授業参観・評価を行っている。	授業評価等の結果を踏まえた教育課程再編成に関する協議の場が不足している。	授業評価等の結果をもとに教育課程編成について協議する。	・学生授業評価 ・教職員による授業参観アンケート
	教育課程の編成及び改定において、関連する業界・機関等の意見聴取や評価を行っているか。		非公式ではあるが、学科設置申請時において外部（協会、臨床現場の作業療法士等）からの意見を聴取し、教育課程を編成した。	外部（協会、臨床現場の作業療法士等）からの意見聴取、情報収集を行う公式な場の未設定。	教育課程編成委員会開催に向けた計画立案を協議する。また、臨床教育者会議では臨床実習施設からの意見や情報収集を行えるよう会議内容の計画立案を行う。	
	職業実践教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか。		医療保健福祉機関からの求人に関する対応を通して、求められている作業療法士像	完成年度を迎えていないため、卒業生および就職先等の対象が存在しない。	卒業生輩出後の職業実践教育の効果についての意見聴取や評価のための情報収集	

			の情報を収集している。		等の具体的な方法論について検討し、計画立案する。	
				記載責任者　職・氏名	学科長補佐　　中　山　　仁	

看護学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
3-9-2 教育課程について外部の意見を反映しているか。	教育課程の編成及び改定において、在校生・卒業生の意見聴取や評価を行っているか。	3	在校生については、面談等で聴取している。卒業生は出たばかりなので、今後意見聴取していきたい。	特になし	特になし	教育課程編成委員会議事録
	教育課程の編成及び改定において、関連する業界・機関等の意見聴取や評価を行っているか。		教育課程編成委員会の外部講師等により、ご意見や評価を頂いている。	卒業生の就職先より、ご意見いただく予定にしている。	評価表の作成を行う。	
	職業実践教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか。		初めて卒業生を輩出した野江、近尾後近隣に就職した卒業生を中心に、意見を聴取する予定である。	職業実践教育に関する効果について、準備する必要がある。	職業実践教育に関する効果についてのアンケート等を作成する。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　村　山　由起子	

歯科衛生学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-2 教育課程について外部の意見を反映しているか。	教育課程の編成及び改定において、在校生・卒業生の意見聴取や評価を行っているか。	1	行っていない。	在校生の意見聴取や評価を行う	なし	教育課程編成委員会議事録
	教育課程の編成及び改定において、関連する業界・機関等の意見聴取や評価を行っているか。		行っていない。	意見聴取や評価ができるよう準備する。		
	職業実践教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか。		卒業生を輩出していない。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　藤　　幸　枝	

生涯スポーツトレーナー介護福祉士学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-2 教育課程について外部の意見を反映しているか。	教育課程の編成及び改定において、在校生・卒業生の意見聴取や評価を行っているか。	4	教育課程編成委員会において介護福祉士養成施設卒業生の意見を聴取している。	広く介護福祉士養成について意見聴取を行う必要がある。	介養協の全国教員研修会等への参加を図る。	教育課程編成委員会議事録
	教育課程の編成及び改定において、関連する業界・機関等の意見聴		教育課程編成委員会において、業界や機関等の意見聴取を行っ	これらの意見を分析して今後教育課程改定時に反映させる。	特になし	

	取や評価を行っているか。		ている。			
	職業実践教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか。		今年度初めての卒業生を輩出したので、定着を目指して問題や課題を把握するために卒業生と就職先に、聞き取りやアンケート等の実施を予定している。	実施時期の検討が必要	特になし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　井　上　由紀子	

アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-2 教育課程について外部の意見を反映しているか。	教育課程の編成及び改定において、在校生・卒業生の意見聴取や評価を行っているか。	2	学校関係者評価委員会が実施されている。	教育課程の編成などを速やかに改善していく必要がある。	業界が求める必要な人材の在り方を探っていく必要がある。	教育課程編成委員会議事録 授業アンケート
	教育課程の編成及び改定において、関連する業界・機関等の意見聴取や評価を行っているか。		教育課程編成委員から意見聴取、評価を行っている。	業界の求める具体的な人材像を確認する必要がある。	編成委員以外の業界関係者の意見も参考にする必要がある。	
	職業実践教育の効果について、卒業生・就職		時間を設けては、実施していない。	卒業生との交流機会が極めて少ない。	同窓会など卒業生との交流機会を設けて	

	先等の意見聴取や評価を行っているか。				いく。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　寺　本　敦　司	

整体セラピスト学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-2 教育課程について外部の意見を反映しているか。	教育課程の編成及び改定において、在校生・卒業生の意見聴取や評価を行っているか。	3	行っている	なし	なし	教育課程編成委員会議事録
	教育課程の編成及び改定において、関連する業界・機関等の意見聴取や評価を行っているか。		行っている	なし	なし	
	職業実践教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか。		行っている	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　蓑　田　のり子	

日本語学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-2 教育課程について外部	教育課程の編成及び改定において、在校生・	2	該当しない			

の意見を反映しているか。	卒業生の意見聴取や評価を行っているか。					
	教育課程の編成及び改定において、関連する業界・機関等の意見聴取や評価を行っているか。		該当しない			
	職業実践教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか。		該当しない			
				記載責任者　職・氏名	学科長　　髙　野　徳　一	

ホスピタリティ・コンシェルジュ学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-2 教育課程について外部の意見を反映しているか。	教育課程の編成及び改定において、在校生・卒業生の意見聴取や評価を行っているか。	2	実施している。		学生の意見などを定期的に聞くことを継続していく	教育課程編成委員会議事録
	教育課程の編成及び改定において、関連する業界・機関等の意見聴取や評価を行っているか。		非常勤講師の方々から、意見をいただいている	新設学科のため、関連する機関などとの交流が少ない	実習先などに顔をだし、情報を収集	
	職業実践教育の効果に		企業説明会などで、実	いかに情報を集める	新設の学科のため今	

	ついて、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか。		際のホテル関係者から求人情報、必要な知識などを聞いている	ことができるか	後実施していく	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　川　上　　聖	

３－９－３

柔道整復学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-3 キャリア教育を実施しているか。	キャリア教育の実施にあたって、意義・指導方法等に関する方針を定めているか。	4	定めている	なし	なし	
	キャリア教育を行うための教育内容･教育方法･教材等について工夫しているか。		工夫している	なし	なし	
	キャリア教育の効果について、卒業生･就職先等の意見聴取や評価を行っているか。		行っている	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長補佐　　社　　由　洋	

スポーツ柔整学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-3 キャリア教育を実施しているか。	キャリア教育の実施にあたって、意義・指導方法等に関する方針を定めているか。	4	定めている。	なし	なし	
	キャリア教育を行うための教育内容･教育方法･教材等について工夫しているか。		工夫している。	なし	なし	
	キャリア教育の効果について、卒業生･就職先等の意見聴取や評価を行っているか。		行われている。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長補佐　　村　岡　太　介	

鍼灸学科（昼間部）						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-3 キャリア教育を実施しているか。	キャリア教育の実施にあたって、意義・指導方法等に関する方針を定めているか。	1	していない	方針を定める。	会議等を実施。	
	キャリア教育を行うための教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか。		今年度は業界のニーズも高い、美容鍼灸の先生をお招きし、授業を実施。	業界のニーズに合っているか。	業界の方に意見を賜る。	

	キャリア教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか。		来校される企業には意見を聴取している。	いかに多くの意見を聴取できるか。	意見聴取できる場を設ける。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　堀之内　貴　一	

スポーツ鍼灸学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-3 キャリア教育を実施しているか。	キャリア教育の実施にあたって、意義・指導方法等に関する方針を定めているか。	1	働く人などが通いやすいように最低限の単位で行っているのでキャリア教育はカリキュラム以外のセミナーで実施している	カリキュラム改正により、今までよりも参加人数が減少している。	カリキュラム内で実施できないか今後検討する	シラバス
	キャリア教育を行うための教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか。		働く人などが通いやすいように最低限の単位で行っているのでキャリア教育はカリキュラム以外のセミナーで実施している	カリキュラム改正により、今までよりも参加人数が減少している。	カリキュラム内で実施できないか今後検討する	
	キャリア教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価		来校される企業には意見を聴取している。	いかに多くの意見を聴取できるか。	意見聴取できる場を設ける。	

	を行っているか。					
				記載責任者　職・氏名	学科長　　松　波　　賢	

理学療法学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
3-9-3 キャリア教育を実施しているか。	キャリア教育の実施にあたって、意義・指導方法等に関する方針を定めているか。	3	本学科におけるキャリア教育とは臨床実習がそれに該当する．この実習にあたっては実習開始前に臨床実習指導者らと臨床実習指導者会議を通して，実習の意義や指導方法等を協議している．	本学科が提唱する臨床参加型実習の徹底を図る	臨床実習指導者会議を利用して臨床参加型実習の実践報告会を積み重ね，全臨床実習先に導入してもらう．	臨床実習指導要綱 臨床経験報告書 臨床経験チェックシート
	キャリア教育を行うための教育内容･教育方法･教材等について工夫しているか。		授業シラバスに則って授業を実施しており，特に臨床経験チェックシートを使って，教育内容や指導方法などを把握している	教育内容の精度の確認を図り，次の実習先への伝達を徹底する．	教員側で臨床経験チェックシートの内容を確実に確認し，必要に応じて次の実習指導者へ伝達する．	
	キャリア教育の効果について、卒業生･就職先等の意見聴取や評価を行っているか。		学生及び臨床実習指導者より意見聴取を行っている．	教育効果に疑問を感じる事柄の一掃を協議しなければならない．	実習先への教員訪問や臨床実習指導者会議において課題解決を図る．	

	記載責任者　職・氏名	学科長　　永　野　　忍

作業療法学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-3 キャリア教育を実施しているか。	キャリア教育の実施にあたって、意義・指導方法等に関する方針を定めているか。	2	カリキュラム・ディプロマポリシーに基づいて、キャリア教育に該当する授業科目を編成している。	キャリア教育の意義、指導方法等に関する学科内における情報の共有化および知識水準。	カリキュラム・ディプロマポリシーに基づいた教育課程とキャリア教育の関連性および意義、指導方針等について学科会議等を通して情報共有化を図る。	
	キャリア教育を行うための教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか。		授業科目「医療コミュニケーション学」を1年次に開講し、コミュニケーションとマナーに関する教育を実践している。	学科専任教員のキャリア教育に関連する知識、技能の水準。	専任教員がキャリア教育に関する研修を受ける機会の設定や充実を図る。	
	キャリア教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか。		完成年度を迎えていないため、卒業生・就職先等の意見聴取や評価は行っていない。	キャリア教育の効果の指標、検討方法について現状では計画されていない。	キャリア教育の効果検証のための情報収集および分析についての計画立案を協議する。	

	記載責任者　職・氏名	学科長補佐　　中　山　　仁

看護学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-3 キャリア教育を実施しているか。	キャリア教育の実施にあたって、意義・指導方法等に関する方針を定めているか。	3	キャリア教育については、各学年に見合った内容で実施するようにしている。	キャリア教育に関する意義・指導方法について興味関心を高める。	学科会議等を活用して内容の充実を図る。	看護学科シラバス
	キャリア教育を行うための教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか。		年度ごとに検討している。	各教員によるキャリア教育が不十分である。	キャリア教育の検討を行い、充実を図る。	
	キャリア教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか。		今年度初めて卒業生が輩出されたので、今後意見聴取や評価を実施していきたい。	意見聴取や評価の方法を検討する。	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　村　山　由起子	

歯科衛生学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-3 キャリア教育を実施しているか。	キャリア教育の実施にあたって、意義・指導方法等に関する方針を定めているか。	1	定めていない	保身を定めていく。	計画を立案する。	
	キャリア教育を行うための教育内容・教育方法・		授業科目にて工夫している。	授業内容の把握。	教員による授業参観を行う。	

	教材等について工夫しているか。					
	キャリア教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか。		卒業生を輩出していない。	なし。	なし。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　藤　幸枝	

生涯スポーツトレーナー介護福祉士学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-3 キャリア教育を実施しているか。	キャリア教育の実施にあたって、意義・指導方法等に関する方針を定めているか。	4	各専門領域の授業において、キャリアデザイン、スキルアップについて触れている。	教育課程において明確なキャリア教育の位置づけはないが各科目において介護福祉士の将来像が描けるような取り組みを行っている。	教育課程の中で科目として位置づけるか、実習前後の学内教育や演習の中で意識づけをするか内容等を検討する必要がある。	介護福祉士養成施設協会全国教員研修
	キャリア教育を行うための教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか。		専門部会等の提言に関心を払い、教育内容に反映させている。	2 年間の中で系統的なキャリア教育の取り組みが必要。	学生のキャリアアップへの意欲を向上させるために教員の研修機会を増やす。	
	キャリア教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行		卒業生を輩出したばかりであるので、他養成施設卒業生等の意見や評価を参考にし	今年度中に卒業生と就職先の双方にアンケート等を実施する予定である。	特になし	

	っているか。		ている。			
				記載責任者　職・氏名	学科長　　井上　由紀子	

アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-3 キャリア教育を実施しているか。	キャリア教育の実施にあたって、意義・指導方法等に関する方針を定めているか。	3	事前オリエンテーションを実施し、身だしなみ、意義などを説明している。	参加前の指導が徹底されていない。	さらなる準備時間の確保が必要である。	
	キャリア教育を行うための教育内容･教育方法･教材等について工夫しているか。		実習のねらいなどを説明し、実習後に振り返りをさせている。	学生の振り返り内容が不十分である。	自分が習得しなければならない内容を明確に伝えていくことが必要である。	
	キャリア教育の効果について、卒業生･就職先等の意見聴取や評価を行っているか。		受入れ先の企業との振り返りを実施している。	実習内容について、見直しが必要である。	学生の指導力向上を図っていく内容を検討していく。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　寺　本　敦　司	

整体セラピスト学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-3 キャリア教育を実施しているか。	キャリア教育の実施にあたって、意義・指導方法等に関する方針を	3	セミナーで取り入れ課外授業で実践している	なし	なし	

	定めているか。					
	キャリア教育を行うための教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか。		課外授業のたびに事前教育を工夫している	なし	なし	
	キャリア教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか。		行った	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　蓑　田　のり子	

日本語学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-3 キャリア教育を実施しているか。	キャリア教育の実施にあたって、意義・指導方法等に関する方針を定めているか。	2	キャリア関係の担当者をはじめ、特に履歴書の作成、面接などの細かく必要なことに関しては、教員が中心となり行っている。主に個別で対応している。	教員の負担が大きい キャリアチームを作る予定だが、いまだできていない	指導方法を共通化できるものはする キャリアチームができたらいい	
	キャリア教育を行うための教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか。		工夫しているが、キャリア関係を専門にしている者が指導をしているわけではない。	日本での就職がはじめてなことと、日本語力に差があることで、対多数の指導の際に、	就職で必要な語彙、文法などはできる限り早めに対策していく。	

			授業で一般的に必要なことをしているが、一人一人異なることに関しては個別で対応している。	制約された時間の中では限界がある。授業外での対応が多くなる。 就職で必要な文法、語彙が難しく、その時日本語の勉強としているレベルの文法、語彙では不足している。		
	キャリア教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか。		行っていない			
				記載責任者　職・氏名	学科長　　髙　野　徳　一	

ホスピタリティ・コンシェルジュ学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-3 キャリア教育を実施しているか。	キャリア教育の実施にあたって、意義・指導方法等に関する方針を定めているか。	3	定めていない	方針を決める必要がある	キャリア教育実施の意義・指導方法等に関する方針の策定	
	キャリア教育を行うための教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか。		学生のレベルに合わせた、教材、授業方法を行っている	学生の日本語能力の差異に伴ったキャリア教育レベルの設定が困難。	N3 レベルの日本語力を身に着けさせるよう、語彙力を鍛える	

	キャリア教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか。		現段階で、卒業生、就職した者がいない		卒業生が出た際に、意見を聞く	
				記載責任者　職・氏名		学科長　　川　上　　聖

３－９－４

柔道整復学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
3-9-4 授業評価を実施しているか。	授業評価を実施する体制を整備しているか。	3	授業評価アンケートを行っている。	なし	なし	授業評価アンケート
	学生に対するアンケート等の実施など、授業評価を行っているか。		行っている	なし	なし	
	授業評価の実施において、関連業界等との協力体制はあるか。		現在はない	連携が必要	臨床実習施設などを活用する	
	教員にフィードバックする等、授業評価結果を授業改善に活用しているか。		活用している	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名		学科長補佐　　社　　由　洋

スポーツ柔整学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-4 授業評価を実施しているか。	授業評価を実施する体制を整備しているか。	4	整備している。	なし	なし	授業評価アンケート
	学生に対するアンケート等の実施など、授業評価を行っているか。		行われている。	なし	なし	
	授業評価の実施において、関連業界等との協力体制はあるか。		協力している。	なし	なし	
	教員にフィードバックする等、授業評価結果を授業改善に活用しているか。		活用されている。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長補佐　　村　岡　太　介	

鍼灸学科（昼間部）						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-4 授業評価を実施しているか。	授業評価を実施する体制を整備しているか。	2	年に1回授業評価を実施している。	基本的に前期までの科目に限られる。	内容・日程などを再検討する。	
	学生に対するアンケート等の実施など、授業評価を行っているか。		年に1回授業評価を実施している。	基本的に前期までの科目に限られる。	内容・日程などを再検討する。	
	授業評価の実施において、関連業界等との協		なし			

	力体制はあるか。					
	教員にフィードバックする等、授業評価結果を授業改善に活用しているか。		科目ごとに実施し、それをふまえて評価実施後、面談を行っている。	前期だけに限られており、反映した後期の科目が把握できていない。	後期も行えるように日程を再検討する。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　堀之内　貴　一	

スポーツ鍼灸学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-4 授業評価を実施しているか。	授業評価を実施する体制を整備しているか。	2	年に一度授業アンケートを実施している	基本的に前期までの科目に限られる。	内容・日程などを再検討する。	授業アンケート
	学生に対するアンケート等の実施など、授業評価を行っているか。		授業アンケートを実施している	基本的に前期までの科目に限られる。	内容・日程などを再検討する。	
	授業評価の実施において、関連業界等との協力体制はあるか。		他の学科間での意見交換をしている	第３者機関の協力体制は整っていない	第３者機関のことも踏まえて検討	
	教員にフィードバックする等、授業評価結果を授業改善に活用しているか。		科目ごとに実施し、それをふまえて評価実施後、面談を行っている。	前期だけに限られており、反映した後期の科目が把握できていない。	後期も行えるように日程を再検討する。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　松　波　　賢	

理学療法学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料

3-9-4 授業評価を実施しているか。	授業評価を実施する体制を整備しているか。	3	授業終了に伴い教務部が実施している	なし	なし	授業評価アンケート
	学生に対するアンケート等の実施など、授業評価を行っているか。		授業終了に伴い教務部が実施している	なし	なし	
	授業評価の実施において、関連業界等との協力体制はあるか。		関連業界と関連する授業科目は臨床実習であるが，実習終了後に実習指導者による自由記載での意見等を寄せてもらっている．	なし	なし	
	教員にフィードバックする等、授業評価結果を授業改善に活用しているか。		授業評価の結果を担当教員が確認している．	授業評価の結果に則った授業の改良	他の教員による授業参観の導入	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　永　野　　忍	

作業療法学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
3-9-4 授業評価を実施しているか。	授業評価を実施する体制を整備しているか。	2	教務部との連携による授業評価の体制を整備している。	授業評価の実施時期および評価内容の分析過程。	授業評価の効果的かつ効率的な体制づくりに関して教務部と連携を強化する。	学生授業評価 教職員による授業参観アンケート
	学生に対するアンケー		学生による授業評価、	教職員による授業参	教職員による授業参	

	ト等の実施など、授業評価を行っているか。		教職員による授業参観・評価を実施している。	観・評価におけるアンケート項目の修正。	観・評価におけるアンケート項目の修正を含めた計画立案について協議する。	
	授業評価の実施において、関連業界等との協力体制はあるか。		県協会や臨床実習施設との協力体制は構築されている。	臨床実習に対する授業評価の在り方。	臨床実習に対する授業評価に関して学科会議等で協議する。	
	教員にフィードバックする等、授業評価結果を授業改善に活用しているか。		授業評価結果は教員にフィードバックされ、授業改善に活用されている。	授業評価結果の授業改善への活用に関する計画と実践の把握。	授業計画に関する計画と実践の把握	
				記載責任者　職・氏名	学科長補佐　　中　山　　仁	

看護学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
3-9-4 授業評価を実施しているか。	授業評価を実施する体制を整備しているか。	3	教務部との連携による授業評価の体制を整備している。	授業評価の妥当性及び実施時期を検討する必要がある。	授業評価の妥当性を検討できる資料の収集と教務部との連携を強化する。	授業評価アンケート
	学生に対するアンケート等の実施など、授業評価を行っているか。		学生による授業評価を実施している。	教職員による授業参観・評価の実施。	教職員による授業参観の時期・評価項目等の計画・協議を実施する。	
	授業評価の実施において、関連業界等との協		臨床実習施設との協力体制は構築されて	各領域における評価項目の妥当性の検証	実習評価表と実習内容の関連性を明確に	

	力体制はあるか。		いる。		する。	
	教員にフィードバックする等、授業評価結果を授業改善に活用しているか。		活用している。	授業評価のアンケート結果を受けて、授業改善への活用に関する計画・実施の確認	授業改善に向けてフィードバックし改善点を実施	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　村　山　由起子	

歯科衛生学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-4 授業評価を実施しているか。	授業評価を実施する体制を整備しているか。	3	整備している。	なし。	なし。	授業評価アンケート
	学生に対するアンケート等の実施など、授業評価を行っているか。		実施している。	評価の項目と実施の時期。	前期、後期で２回実施する。	
	授業評価の実施において、関連業界等との協力体制はあるか。		ない。			
	教員にフィードバックする等、授業評価結果を授業改善に活用しているか。		授業評価の結果を各教員が確認している。	結果後の面談を行う。	他教員による授業参観の導入。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　藤　　幸　枝	

生涯スポーツトレーナー介護福祉士学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-4 授業評価を実施しているか。	授業評価を実施する体制を整備しているか。	4	学科開設以来授業評価を継続して行っている。	特になし	特になし	授業評価アンケート
	学生に対するアンケート等の実施など、授業評価を行っているか。		開設されている全科目について実施している。	留学生に対する評価方法の検討が必要。		
	授業評価の実施において、関連業界等との協力体制はあるか。		特になし			
	教員にフィードバックする等、授業評価結果を授業改善に活用しているか。		専任の全教員に授業評価結果をフィードバックして授業改善につなげている。	授業改善につなげるには授業評価の実施時期の検討が必要。	評価実施時期を前にずらすことによって評価した学生の授業改善を目指す。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　井　上　由紀子	

アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-4 授業評価を実施しているか。	授業評価を実施する体制を整備しているか。	3	整備している。	実施時期の再検討。	年1回から年2回の実施を検討していく。	授業評価アンケート
	学生に対するアンケート等の実施など、授業評価を行っているか。		学生に対し、授業アンケートをしている。	評価項目の再検討。	明確な評価基準の作成が必要である。	
	授業評価の実施において、関連業界等との協		協力体制はない。	どのような協力体制が必要なのかを検討	関連業界との連携が必要である。	

	力体制はあるか。			していく。		
	教員にフィードバックする等、授業評価結果を授業改善に活用しているか。		授業評価をもとに面談を実施している。	学科全体での情報共有が必要である。	各教員において、模擬授業の実施を検討していく。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　寺　本　敦　司	

整体セラピスト学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-4 授業評価を実施しているか。	授業評価を実施する体制を整備しているか。	4	整備している	なし	なし	授業評価アンケート
	学生に対するアンケート等の実施など、授業評価を行っているか。		行っている	なし	なし	
	授業評価の実施において、関連業界等との協力体制はあるか。		ない	関連業界が必要としていることを知る	関連業界との連携を検討する	
	教員にフィードバックする等、授業評価結果を授業改善に活用しているか。		活用している	実施は一部の教員のみである	非常勤講師も実施する	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　蓑　田　のり子	

日本語学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-4 授業評価を実施しているか。	授業評価を実施する体制を整備しているか。	4	学校が行っている	なし	なし	授業評価アンケート
	学生に対するアンケート等の実施など、授業評価を行っているか。		学校が行っている	なし	なし	
	授業評価の実施において、関連業界等との協力体制はあるか。		該当しない			
	教員にフィードバックする等、授業評価結果を授業改善に活用しているか。		各教員で活用している			
				記載責任者　職・氏名	学科長　　髙　野　徳　一	

ホスピタリティ・コンシェルジュ学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-9-4 授業評価を実施しているか。	授業評価を実施する体制を整備しているか。	2	整備している	なし	なし	授業評価アンケート
	学生に対するアンケート等の実施など、授業評価を行っているか。		教務部が行っているアンケートと、個別面談の際に口頭で質問	なし	なし	
	授業評価の実施において、関連業界等との協力体制はあるか。		ない	関連業界の意見が反映されていない	関連業界の意見の取り入れ	

	教員にフィードバックする等、授業評価結果を授業改善に活用しているか。		教務部からのフィードバックを活用している	文章ではなかなか伝わらない（日本語能力として）	第三者に面談をしてもらい、よりたくさんの意見を集める	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　川　上　　聖	

３－10－１

３－10　成績評価・単位認定等

柔道整復学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか。	成績評価の基準について、学則等に規定するなど明確にし、かつ、学生等に明示しているか。	4	明示している	なし	なし	学生便覧
	成績評価の基準を適切に運用するため、会議等を開くなど客観性・統一性の確保に取組んでいるか。		会議にて基準の明確化を行っている。	なし	なし	
	入学前の履修、他の教育機関の履修の認定に		運用している	なし	なし	

	ついて、学則等に規定し、適切に運用しているか。					
				記載責任者　職・氏名	学科長補佐　　社　　由　洋	

スポーツ柔整学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか。	成績評価の基準について、学則等に規定するなど明確にし、かつ、学生等に明示しているか。	4	明確に示している。	なし	なし	学生便覧
	成績評価の基準を適切に運用するため、会議等を開くなど客観性・統一性の確保に取組んでいるか。		取り組んでいる。	なし	なし	
	入学前の履修、他の教育機関の履修の認定について、学則等に規定し、適切に運用しているか。		運用されている。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長補佐　　村　岡　太　介	

鍼灸学科（昼間部）						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか。	成績評価の基準について、学則等に規定するなど明確にし、かつ、学生等に明示しているか。	2	学生便覧に明記している	実技系科目などは評価が異なる可能性がある。	統一した評価ができるよう会議や打ち合わせを実施する。	
	成績評価の基準を適切に運用するため、会議等を開くなど客観性・統一性の確保に取組んでいるか。		評価基準は学科内で統一し、試験後のフィードバック期間を設けている	評価方法は単位認定者に委ねており、客観性に欠ける部分がでてくる	各学期前に面談を行い、評価に客観性が保たれているかを確認する	
	入学前の履修、他の教育機関の履修の認定について、学則等に規定し、適切に運用しているか。		既修得単位認定制度を設け、説明会も実施している。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　堀之内　貴　一	

スポーツ鍼灸学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか。	成績評価の基準について、学則等に規定するなど明確にし、かつ、学生等に明示している	2	学生便覧に明記している	オリエンテーションの際に説明しているがどこまで理解しているかを把握できて	全体のオリエンテーションだけではなく、個々の学生面談において対応する	学生便覧 シラバス 既修得認定資料

	か。			いない		
	成績評価の基準を適切に運用するため、会議等を開くなど客観性・統一性の確保に取組んでいるか。		評価基準は学科内で統一し、試験後のフィードバック期間を設けている	評価方法は単位認定者に委ねており、客観性に欠ける部分がでてくる	各学期前に面談を行い、評価に客観性が保たれているかを確認する	
	入学前の履修、他の教育機関の履修の認定について、学則等に規定し、適切に運用しているか。		既修得単位に関しては新年度前に説明会を行っている	特になし	特になし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　松　波　　賢	

理学療法学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか。	成績評価の基準について、学則等に規定するなど明確にし、かつ、学生等に明示しているか。	3	学生に配布する学生便覧に学則や成績評価の基準等は明示している	明示をしているが，普段から意識させておくことが重要	学生便覧を使用した事由発生時における説明を行う	学生便覧
	成績評価の基準を適切に運用するため、会議等を開くなど客観性・統一性の確保に取組んでいるか。		学科内にて会議等を行っている	客観性・統一性の確保を図る	議事録等の供覧や管理を行う	

	入学前の履修、他の教育機関の履修の認定について、学則等に規定し、適切に運用しているか。		学則に明示し、申請に対して教育課程及び授業シラバスとの適合性の確認を行っている	学科内における申請内容の共有を図る	議事録等の供覧や管理を行う	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　永　野　　忍	

作業療法学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか。	成績評価の基準について、学則等に規定するなど明確にし、かつ、学生等に明示しているか。	3	成績評価、進級要件、卒業要件の基準は学生便覧に明示されている。	学生の成績評価基準等の理解度。	学生の成績評価基準に対する理解度促進のための方法論を協議する（特に臨床実習)。	・学生便覧 ・学則 ・成績評価基準 ・既修得単位認定に関する規程 ・入学前学習課題
	成績評価の基準を適切に運用するため、会議等を開くなど客観性・統一性の確保に取組んでいるか。		学科会議、進級判定会議を開催し、成績評価基準の客観性・統一性の確保に取組んでいる。	不合格となった科目の再履修要件についての検討。	学科会議等において不合格科目の再履修要件について協議し、学科内にて統一見解を共有する。	
	入学前の履修、他の教育機関の履修の認定について、学則等に規定し、適切に運用しているか。		新入生には入学前学習課題を課し、既修得単位認定の案内および認定の実施等を行っている。	入学前学習課題遂行状況と入学後成績の関連性。指定規則改正に伴う教育課程再編成と既修得単位認定科目の整合性。	入学前学習課題遂行状況と入学後成績の関連性に関する調査計画、教育課程再編成に伴う既修得単位認定科目の科目選定な	

					どについて協議する。	
				記載責任者　職・氏名	学科長補佐　　中　山　　仁	

看護学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか。	成績評価の基準について、学則等に規定するなど明確にし、かつ、学生等に明示しているか。	3	学則に規定されており、学生便覧により学生への説明を実施している。	生成期評価・修了認定の学生への通達の時期	学生への通達の時期を早期に決定する。	学生便覧、学則
	成績評価の基準を適切に運用するため、会議等を開くなど客観性・統一性の確保に取組んでいるか。		成績判定会議の実施により、客観性・統一性の確保に取組んでいる。	成績判定会議の実施時期の妥当性	年間計画の中で、早期に時期を決定する。	
	入学前の履修、他の教育機関の履修の認定について、学則等に規定し、適切に運用しているか。		学則に規定されており、適切に運用されている。	学生の提出時期を検討する。	早急に認定を実施する。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　村　山　由起子	

歯科衛生学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料

3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか。	成績評価の基準について、学則等に規定するなど明確にし、かつ、学生等に明示しているか。	3	学生便覧に明示している。	なし。	なし。	学生便覧
	成績評価の基準を適切に運用するため、会議等を開くなど客観性・統一性の確保に取組んでいるか。		学科内にて会議を行っている。	客観性・統一性を図る必要がある。	会議や打ち合わせを充実させる。	
	入学前の履修、他の教育機関の履修の認定について、学則等に規定し、適切に運用しているか。		実施している。	なし。	なし。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　藤　　幸　枝	

生涯スポーツトレーナー介護福祉士学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか。	成績評価の基準について、学則等に規定するなど明確にし、かつ、学生等に明示しているか。	4	学生便覧に学則・規定を明記し、確認できるようにしている。また前期・後期に成績通知を行い保護者・学生が確認できるようにし	特になし	特になし	学生便覧

			ている。			
	成績評価の基準を適切に運用するため、会議等を開くなど客観性・統一性の確保に取組んでいるか。		年度末に単位認定会議を開催し、個々の成績結果を協議し校長の承諾を経て通知している。成績不振者に対しては保護者との面談等を実施している。	特になし	特になし	
	入学前の履修、他の教育機関の履修の認定について、学則等に規定し、適切に運用しているか。		入学前の履修等については学則・規定に基づき会議において協議し、校長の承諾を経て履修認定を行っている。	入学前の履修認定について通知したが申請はなかった。	特になし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　井　上　由紀子	

アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか。	成績評価の基準について、学則等に規定するなど明確にし、かつ、学生等に明示しているか。	3	学生便覧に記載されている。	特になし。	特になし。	学生便覧

	成績評価の基準を適切に運用するため、会議等を開くなど客観性・統一性の確保に取組んでいるか。		各授業担当者に成績評価は委ねられている。	科目特性によって、明確な評価基準が確立されていない。	科目特性に配慮した評価基準の作成が必要である。	
	入学前の履修、他の教育機関の履修の認定について、学則等に規定し、適切に運用しているか。		学生便覧に認定基準が記載されている。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　寺　本　敦　司	

整体セラピスト学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか。	成績評価の基準について、学則等に規定するなど明確にし、かつ、学生等に明示しているか。	3	明確であり、学生に明示している	なし	なし	学生便覧
	成績評価の基準を適切に運用するため、会議等を開くなど客観性・統一性の確保に取組んでいるか。		会議は行っていないが、担当教員との連携は取れている	なし	なし	
	入学前の履修、他の教		適切に運用している	なし	なし	

	育機関の履修の認定について、学則等に規定し、適切に運用しているか。					
				記載責任者　職・氏名	学科長　　蓑　田　のり子	

日本語学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか。	成績評価の基準について、学則等に規定するなど明確にし、かつ、学生等に明示しているか。	3	オリエンテーションで明示している	なし	なし	
	成績評価の基準を適切に運用するため、会議等を開くなど客観性・統一性の確保に取組んでいるか。		学科内で会議を設けている	なし	なし	
	入学前の履修、他の教育機関の履修の認定について、学則等に規定し、適切に運用しているか。		学習証明祖を提出させている。			
				記載責任者　職・氏名	学科長　　髙　野　徳　一	

ホスピタリティ・コンシェルジュ学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか。	成績評価の基準について、学則等に規定するなど明確にし、かつ、学生等に明示しているか。	3	学生便覧に書かれていることを、詳しく説明している	実習などの教科は、実習先の方の判断もあるため、評価が異なることがある	実習先の方に、評価表などを作成し、配布	学生便覧
	成績評価の基準を適切に運用するため、会議等を開くなど客観性・統一性の確保に取組んでいるか。		非常勤講師の方とも打ち合わせをし、統一性をはかっている	なし	なし	
	入学前の履修、他の教育機関の履修の認定について、学則等に規定し、適切に運用しているか。		入学前に説明し、試験前など事あるごとに説明している		わかりやすく文章などで作成し、配布	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　川　上　　聖	

３－10－２

柔道整復学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料

3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか。	在校生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか。	1	研究業績等の成果把握 はなお不十分である。	学生評価として確立することが重要である。	なお検討が必要	
				記載責任者　職・氏名	教員　　新　地　秀　臣	

スポーツ柔整学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか。	在校生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか。	4	把握している。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長補佐　　村　岡　太　介	

鍼灸学科（昼間部）						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか。	在校生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか。	2	学外はできていない。学内に関しては、受賞などの評価基準を設けるようにした	報告してもらえる仕組みづくりが必要	学外・学内表彰など全てにおいて明文化を検討する。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　堀之内　貴　一	

スポーツ鍼灸学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料

3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか。	在校生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか。	2	学外はできていない。学内に関しては、受賞などの評価基準を設けるようにした	報告してもらえる仕組みづくりが必要	学外・学内表彰など全てにおいて明文化を検討する。	特になし
				記載責任者　職・氏名	学科長　　松　波　　賢	

理学療法学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか。	在校生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか。	3	各学年にて履修に付随する発表の機会を設けている	学外における業績の把握を図る	臨床実習における業績の確認を行う	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　永　野　　忍	

作業療法学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか。	在校生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか。	3	専門および関連領域の学会・研究会への学生参加を促している（福岡県作業療法学会、日本地域作業療法研究大会に学生参加）。	在校生の学会・研究会への参加意識および参加状況。	教育課程および授業計画の検討に、学会・研究会参加と授業のリンク等を含めて協議する。	・学会誌
				記載責任者　職・氏名	学科長補佐　　中　山　　仁	

看護学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか。	在校生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか。	2	該当なし			
				記載責任者　職・氏名	学科長　　村　山　由起子	

歯科衛生学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか。	在校生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか。	1	不十分である。	学外活動への取り組み意欲に乏しい。	積極的に学外活動の取り組みを促す。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　藤　　幸　枝	

生涯スポーツトレーナー介護福祉士学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか。	在校生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか。	3	福岡県介護福祉士養成施設学生の活動への参加、介護福祉士会の介護コンテストへの応募などを試みている。	留学生であるので、周囲の理解が必要。	継続して働きかける。	

	記載責任者　職・氏名	学科長　　井　上　由紀子

アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか。	在校生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか。	1	特になし。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　寺　本　敦　司	

整体セラピスト学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか。	在校生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか。	4	課外活動において「お客様アンケート」にて個別の評価は把握している	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　蓑　田　のり子	

日本語学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握し	在校生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握して	3	スピーチ発表会、漢字コンテストを行っている	なし	なし	

ているか。	いるか。					
				記載責任者　職・氏名	学科長　　髙　野　徳　一	

ホスピタリティ・コンシェルジュ学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか。	在校生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか。	3	なし			
				記載責任者　職・氏名	学科長　　川　上　　聖	

３－１１　資格・免許の取得の指導

３－11－１

柔道整復学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか。	取得目標としている資格・免許の内容・取得の意義について明確にしているか。	4	取得目標としている資 格、免許の内容その意 義について明確に表現 されている。	なし	なし	学生便覧 学生案内パンフレット
	資格・免許の取得に関連する授業科目、特別		取得に関連する授業科 目は明確にされて	特になし	なし	

	講座の開設等について明確にしているか。		いる。特別講座の開設は 適宜に実施している。			
				記載責任者　職・氏名	教員　　新　地　秀　臣	

スポーツ柔整学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか。	取得目標としている資格・免許の内容・取得の意義について明確にしているか。	4	明確に示している。	なし	なし	学生便覧 学生案内パンフレット
	資格・免許の取得に関連する授業科目、特別講座の開設等について明確にしているか。		明確に示している。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長補佐　　村　岡　太　介	

鍼灸学科（昼間部）						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか。	取得目標としている資格・免許の内容・取得の意義について明確にしているか。	2	あまりできていない	いつどのタイミングでそのような話をするか。	会議等を実施し、機会やタイミングなどを決定する。	
	資格・免許の取得に関連する授業科目、特別		国家試験対策委員を設定し、対策授業等を	学生間での学力差が生じ、到達レベルが個	学力が及ばない学生に対しては個別に対	

	講座の開設等について明確にしているか。		実施している。	人によって異なる。	応する。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　堀之内　貴　一	

スポーツ鍼灸学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか。	取得目標としている資格・免許の内容・取得の意義について明確にしているか。	2	国家試験取得後、鍼灸師として臨床のことを意識できるとように伝えている。	臨床の話はあくまで経験の話が多くなり、業界などの客観視に欠ける	どういった話を伝えていくのが適切なのかを会議等を実施し、決定する。	
	資格・免許の取得に関連する授業科目、特別講座の開設等について明確にしているか。		国家試験対策委員を設定し、対策授業等を実施している。	学生間での学力差が生じ、到達レベルが個人によって異なる。	学力が及ばない学生に対しては個別に対応する。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　松　波　　賢	

理学療法学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか。	取得目標としている資格・免許の内容・取得の意義について明確にしているか。	4	各授業科目にて明確に示している	なし	なし	学生便覧 学生案内パンフレット
	資格・免許の取得に関連する授業科目、特別講座の開設等について		各授業科目にて明確に示している	なし	なし	

	明確にしているか。					
				記載責任者　職・氏名	学科長　永　野　忍	

作業療法学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　題	今後の改善方策	参考資料
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか。	取得目標としている資格・免許の内容・取得の意義について明確にしているか。	4	カリキュラムポリシーを文章化している。	指定規則カリキュラム改正内容に対する整合性の検討。	学科内で、定期的見直しと情報共有化を図る。	・学生便覧 ・パンフレット
	資格・免許の取得に関連する授業科目、特別講座の開設等について明確にしているか。		カリキュラムポリシーに対応する授業科目及び試験に向けた対策授業計画を作成している。	国家受験資格以外の資格・免許の取得（福祉住環境コーディネーター検定２級、メンタルヘルス・マネジメント検定Ⅱ種、健康スポーツセラピスト知識検定：初級と一般）に関連する情報共有化を図る。	学科専任教員内での資格・免許の取得に関連する情報	
				記載責任者　職・氏名	学科長補佐　中　山　仁	

看護学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　題	今後の改善方策	参考資料
3-11-1 目標とする資格・免許	取得目標としている資格・免許の内容・取得	4	明確にしている。	なし	なし	学生便覧 学生案内パンフレッ

は、教育課程上で、明確に位置づけているか。	の意義について明確にしているか。					ト
	資格・免許の取得に関連する授業科目、特別講座の開設等について明確にしているか。		明確にしている。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　村　山　由起子	

歯科衛生学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか。	取得目標としている資格・免許の内容・取得の意義について明確にしているか。	2	不十分なところがある。	意義を明確にする。	学科内で情報共有を行い統一化する。	学生便覧 学生案内パンフレット
	資格・免許の取得に関連する授業科目、特別講座の開設等について明確にしているか。		不十分なところがある。	国家試験対策の模擬試験のみでなく、授業を見直す必要がある。	学科内で討議する。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　藤　　幸　枝	

生涯スポーツトレーナー介護福祉士学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明	取得目標としている資格・免許の内容・取得の意義について明確に	3	社会福祉士及び介護福祉士法に基づく養成施設の履修科目、履	2 年次には、医療的ケア実地研修や学力評価試験、国家試験等が	教育課程の検討が必要。	学生便覧 学生案内パンフレット

確に位置づけているか。	しているか。		修時間以上を教育課程に組んでいる。	あるために時間的な余裕がない。		
	資格・免許の取得に関連する授業科目、特別講座の開設等について明確にしているか。		特になし 今後検討する予定			
				記載責任者　職・氏名	学科長　　井　上　由紀子	

アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか。	取得目標としている資格・免許の内容・取得の意義について明確にしているか。	4	開講前のオリエンテーションで、資料を配布し説明をしている。	卒業後の将来像をイメージできない学生が見受けられる。	卒業生を招いての、就職セミナーを検討していく。	学生便覧 学生案内パンフレット
	資格・免許の取得に関連する授業科目、特別講座の開設等について明確にしているか。		明確に開設している。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　寺　本　敦　司	

整体セラピスト学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明	取得目標としている資格・免許の内容・取得の意義について明確に	3	資格・免許の内容・取得の意義は明確である	なし	なし	学生便覧 学生案内パンフレット

確に位置づけているか。	しているか。					
	資格・免許の取得に関連する授業科目、特別講座の開設等について明確にしているか。		事前対策セミナーの実施日など明確にしている	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　蓑　田　のり子	

日本語学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか。	取得目標としている資格・免許の内容・取得の意義について明確にしているか。	3	入国してから、できるだけ早い段階で取得意義を説明している。また、節目でも説明している。	意識する学生としない学生の差が大きい。説明して、その場では理解をする学生は多いが、それを思い行動に移せない学生が多い。	気持の継続のために、普段の授業から資格のことを話し、具体的な数字具体例などを使って説明できるようにする。	
	資格・免許の取得に関連する授業科目、特別講座の開設等について明確にしているか。		授業全体が関連科目のため特別な明確化はしていない。			
				記載責任者　職・氏名	学科長　　髙　野　徳　一	

ホスピタリティ・コンシェルジュ学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-11-1	取得目標としている資	3	学生にも明確にし、就	学生に「取らなければ	授業の中で、資格のた	学生便覧

目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか。	格・免許の内容・取得の意義について明確にしているか。		職のために必要なことを説明している	いけない」という危機感がない	めの勉強を盛り込み、覚えさせる	学生案内パンフレット
	資格・免許の取得に関連する授業科目、特別講座の開設等について明確にしているか。		学生に通知しているし、すでに参加している学生もいる			
				記載責任者　職・氏名	学科長　　川　上　　聖	

３－11－２

柔道整復学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか。	資格・免許の取得について、指導体制を整備しているか。	4	免許の取得については 指導体制は整備されて いる。	学力の向上には本人の努力も必要。	なし	聴講生証
	不合格者及び卒後の指導体制を整備しているか。		不合格者は学校で再度 教育を受けるように指 導体制をスタートさせ た。	特になし	なし	
				記載責任者　職・氏名	教員　　新　地　秀　臣	

スポーツ柔整学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか。	資格・免許の取得について、指導体制を整備しているか。	4	整備している。	なし	なし	聴講生証
	不合格者及び卒後の指導体制を整備しているか。		整備している。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長補佐　　村　岡　太　介	

鍼灸学科（昼間部）

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか。	資格・免許の取得について、指導体制を整備しているか。	3	国家試験対策委員を設定し、対策授業等を実施している。個別対応も行う。	学力差を個別対応で対応し、教員にかかる負担が大きくなってきている。	教員の増員、 個別対応システムの構築を検討する	
	不合格者及び卒後の指導体制を整備しているか。		不合格者は聴講生制度などを設けている。個別対応も行う。	学力差を個別対応で対応し、教員にかかる負担が大きくなってきている。	教員の増員、 個別対応システムの構築を検討する	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　堀之内　貴　一	

スポーツ鍼灸学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-11-2	資格・免許の取得につ	3	国家試験対策委員を	学力差を個別対応で	教員の増員、	

資格・免許取得の指導体制はあるか。	いて、指導体制を整備しているか。		設定し、対策授業等を実施している。個別対応も行う。	対応し、教員にかかる負担が大きくなってきている。	個別対応システムの構築を検討する	
	不合格者及び卒後の指導体制を整備しているか。		不合格者は聴講生制度などを設けている。個別対応も行う。	学力差を個別対応で対応し、教員にかかる負担が大きくなってきている。	教員の増員、個別対応システムの構築を検討する	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　松　波　　賢	

理学療法学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか。	資格・免許の取得について、指導体制を整備しているか。	4	資格取得に向けて教員を専属で配置し指導している	成績不良者への対応	随時的な履修状況の把握を行うために面談を行う	聴講生証
	不合格者及び卒後の指導体制を整備しているか。		資格取得に向けての情報提供をおこなっている	情報共有状況の把握	随時的に連絡を取り状況の確認を行い、面談を行う	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　永　野　　忍	

作業療法学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか。	資格・免許の取得について、指導体制を整備しているか。	2	作業療法士の国家試験対策を計画している。 別のメンタルヘルス・	学科内で､2019 年度にクラス全体と個別の対策で検討する予定であり、未実施。。	学科内で、成績結果を分析し、学生指導情報の共有化を図る。	聴講生証

			マネジメント検定Ⅱ種や福祉住宅環境コーディネーターの資格取得に向けた授業で対策を計画している。			
	不合格者及び卒後の指導体制を整備しているか。		作業療法士の国家試験は､2019年度より実施されるので､実働はありませんが､不合格者が出た場合の本校の受講制度の利用は計画している。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長補佐　　中　山　　仁	

看護学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか。	資格・免許の取得について、指導体制を整備しているか。	3	就職担当、国試担当を明確にし、指導している。また、教員全体で資格・免許取得に向けてゼミ制度を設けて、個別にも指導をしている。	教員間の能力の格差	指導について、報告会を実施し、能力の補充を図る。	聴講生証
	不合格者及び卒後の指		整備している。	不合格者への動機づ	不合格者の担任を配	

	導体制を整備しているか。			け	し、1回／月を目途に、具体的な学習方法等の相談・指導を行っている。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　村　山　由起子	

歯科衛生学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか。	資格・免許の取得について、指導体制を整備しているか。	1	不十分なところがある。	指導体制を見直す。	教員の増員。	聴講生証
	不合格者及び卒後の指導体制を整備しているか。		国家試験対象者がいない。	なし。	なし。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　藤　　幸　枝	

生涯スポーツトレーナー介護福祉士学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか。	資格・免許の取得について、指導体制を整備しているか。	4	1年次より模擬試験等を通して国家試験への意識を高める教育を行っている。	留学生の問題読解力が不十分。	問題読解力を高めるための日本語教育を系統的に実施する。	聴講生証
	不合格者及び卒後の指導体制を整備しているか。		卒業生の国家試験対策口座を計画している。	今年度初めて実施するので特になし	特になし	

	記載責任者　職・氏名	学科長　井　上　由紀子

アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか。	資格・免許の取得について、指導体制を整備しているか。	3	整備している。	特になし。	特になし。	聴講生証
	不合格者及び卒後の指導体制を整備しているか。		整備している。	卒業生に対し、参加しやすい日程が提供できていない。	卒業生が参加しやすい日程の把握が必要である。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　寺　本　敦　司	

整体セラピスト学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか。	資格・免許の取得について、指導体制を整備しているか。	4	役割分担し整備している	個々のレベルに差がある	個々のレベルを把握した指導	聴講生証
	不合格者及び卒後の指導体制を整備しているか。		補講の実施	個々のレベルにあった補講を役割分担し実施	補講内容に沿った担当者の役割分担	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　蓑　田　のり子	

日本語学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料

3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか。	資格・免許の取得について、指導体制を整備しているか。	3	対策授業を行っている	クラス内で受験するレベルが異なる学生の指導が困難なことがある	可能な限り分けて対策を行う	
	不合格者及び卒後の指導体制を整備しているか。		次回受験のための対策と再度意識付けを行っている	不合格の原因の分析と対策が不十分である	不合格の原因の分析と復習もしっかりさせていく	
				記載責任者　職・氏名	学科長　髙　野　徳　一	

ホスピタリティ・コンシェルジュ学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか。	資格・免許の取得について、指導体制を整備しているか。	3	している	学生間で相当の能力差があって指導基準が不明確となりがち	学生の能力別の指導	
	不合格者及び卒後の指導体制を整備しているか。		特にしていない	能力に応じた受験となっていない学生の存在	学生の能力に応じた受験の検討	
				記載責任者　職・氏名	学科長　川　上　　聖	

３－12　教員・教員組織

３－12－１

柔道整復学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか。	授業科目を担当するため､教員に求める能力･資質等を明確にしているか。	3	まだ十分とは言えない	特になし	日々補助で参加して能力を高めていく。	
	授業科目を担当するため、教員に求める必要な資格等を明示し、確認しているか。		教員に必要な資格等は 明示されている。	なし	現状のままで行きたい	
	教員の知識・技術・技能レベルは、関連業界等のレベルに適合しているか。		知識、技術レベルは関連業界レベルに適合し ている。	なし	なし	
	教員採用等人材確保において、関連業界等と連携しているか。		採用人材の確保は関連 業界（付属接骨院等）と の連携がある。	実技参加で能力の向上を図りたい	なし	
	教員の採用計画・配置計画を定めているか。		教員の採用、配置計画は随時必要において進める。	なし	なし	
	専任・兼任（非常勤)、年齢構成、男女比等など教員構成を明示しているか。		年齢構成は隔たりがないようにその経験もいれて考査する必要がある。	これからも向上できるようにしていく。	なし	
	教員の募集､採用手続、昇格措置等について規		募集、採用、昇格措置等 についてはやや明	現状でいきたい。	なし	

	程等で明確に定めているか。		確にされてきた。			
	教員一人当たりの授業時数、学生数等を把握しているか。		教員一人当たりの授業 時数、学生数等は把握 されている。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	教員　　新　地　秀　臣	

スポーツ柔整学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか。	授業科目を担当するため､教員に求める能力･資質等を明確にしているか。	4	明確である。	なし	なし	
	授業科目を担当するため、教員に求める必要な資格等を明示し、確認しているか。		明示し、確認している。	なし	なし	
	教員の知識・技術・技能レベルは、関連業界等のレベルに適合しているか。		適合している。	なし	なし	
	教員採用等人材確保において、関連業界等と連携しているか。		連携している。	なし	なし	
	教員の採用計画・配置		定めている。	なし	なし	

	計画を定めているか。					
	専任・兼任（非常勤)、年齢構成、男女比等など教員構成を明示しているか。		明確に示している。	なし	なし	
	教員の募集､採用手続､昇格措置等について規程等で明確に定めているか。		定めている。	なし	なし	
	教員一人当たりの授業時数、学生数等を把握しているか。		把握している。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長補佐　　村　岡　太　介	

鍼灸学科（昼間部）						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか。	授業科目を担当するため､教員に求める能力･資質等を明確にしているか。	2	担当科目を決定する前に面談を実施し、希望や得手不得手を考慮し、決定している。	同一科目を得意とする教員が重なる場合がある。	教員数を増やす。	
	授業科目を担当するため、教員に求める必要な資格等を明示し、確認しているか。		採用時に免許のコピーや履歴書を確認している。	なし	なし	
	教員の知識・技術・技		不明。		授業の聴講。	

	能レベルは、関連業界等のレベルに適合しているか。					
	教員採用等人材確保において、関連業界等と連携しているか。		していない。	人材確保に関し、業界の方と話などをしたことがない。	業界の方と話をする機会などを設ける。	
	教員の採用計画･配置計画を定めているか。		定めていない。			
	専任・兼任（非常勤)、年齢構成、男女比等など教員構成を明示しているか。		していない。			
	教員の募集､採用手続､昇格措置等について規程等で明確に定めているか。		定めていない。			
	教員一人当たりの授業時数、学生数等を把握しているか。		時間割や学事日程を組む上で確認、把握している。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　堀之内　貴　一	

スポーツ鍼灸学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
3-12-1 資格・要件を備えた教	授業科目を担当するため､教員に求める能力･	2	担当科目を決定する前に面談を実施し、希	同一科目を得意とする教員が重なる場合	教員数を増やす。	

員を確保しているか。	資質等を明確にしているか。		望や得手不得手を考慮し、決定している。	がある。		
	授業科目を担当するため、教員に求める必要な資格等を明示し、確認しているか。		採用時に免許のコピーや履歴書を確認している。	なし	なし	
	教員の知識・技術・技能レベルは、関連業界等のレベルに適合しているか。		学科内でそれぞれの教員の得手不得手は把握している	業界のレベルが不明確	授業聴講を得て、業界のレベルを把握していく。	
	教員採用等人材確保において、関連業界等と連携しているか。		していない。	人材確保に関し、業界の方と話などをしたことがない。	業界の方と話をする機会などを設ける。	
	教員の採用計画･配置計画を定めているか。		定めていない。	年間計画も踏まえて事前に必要となる採用数を把握する	年間計画も踏まえて事前に必要となる採用数を把握する	
	専任・兼任（非常勤)、年齢構成、男女比等など教員構成を明示しているか。		していない。	採用基準を明確にする	採用基準を明確する	
	教員の募集､採用手続、昇格措置等について規程等で明確に定めているか。		定めていない。	採用基準を明確にする	採用基準を明確する	
	教員一人当たりの授業		時間割や学事日程を	なし	なし	

	時数、学生数等を把握しているか。		組む上で確認、把握している。			
				記載責任者　職・氏名	学科長　　松　波　　賢	

理学療法学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか。	授業科目を担当するため､教員に求める能力･資質等を明確にしているか。	4	担当予定の教員の専門性と授業科目の内容とを照合したうえで教育に関心の高い人材を登用している 教員名簿の管理を行っている	なし	なし	
	授業科目を担当するため、教員に求める必要な資格等を明示し、確認しているか。		担当予定の教員の専門性と授業科目の内容とを照合し，必要な資格等については免許証の写し等の提出をしてもらっている. 教員名簿の管理を行っている	なし	なし	
	教員の知識・技術・技能レベルは、関連業界等のレベルに適合しているか。		適合している	なし	なし	

	教員採用等人材確保において、関連業界等と連携しているか。		連携している	なし	なし	
	教員の採用計画・配置計画を定めているか。		法律に定められている専任教員数を確保している.	なし	なし	
	専任・兼任（非常勤)、年齢構成、男女比等など教員構成を明示しているか。		シラバスを通して明示している.	なし	なし	
	教員の募集､採用手続、昇格措置等について規程等で明確に定めているか。		理学療法学科としてはこの件については対処していない. 法人本部の範疇となる.	なし	なし	
	教員一人当たりの授業時数、学生数等を把握しているか。		把握している	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　永　野　　忍	

作業療法学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか。	授業科目を担当するため､教員に求める能力･資質等を明確にしているか。	3	教員に求める資格･要件である専門性や技術・技能を高めるため、理学療法士作業療	教員講習会未修了の教員がいる。	年1回の研修へ計画的に参加し、全教員が終了することを計画。	なし

			法士言語聴覚士養成施設等教員講習会講習会を修了し、未修了の教員を計画的に受講する計画立案あり。国家資格・免許取得を目標とする学科なので、授業を担当する要件としての当該資格や関連資格を有する義務は確保できている。			
	授業科目を担当するため、教員に求める必要な資格等を明示し、確認しているか。		授業科目に求められる資格等を年度ごとに策定し、明示している。	教員に求める必要資格の明示が不十分。授業科目に求められる資格取得以外にも専門分野の学術研鑽や授業を通じて学生の人間性を涵養する経験不足の課題あり。	学科内での協議を定期的に実施し、アドミッションポリシーやカリキュラムポリシー、ディプロマポリシーの意識化を図り、教員の質の向上や保持につとめ、より良い最適な教育ができるよう計画する。	
	教員の知識・技術・技能レベルは、関連業界等のレベルに適合して		医療人に求められるカリキュラムポリシー及びディプロマポ	資格以外の要件に該当する個別性の課題。授業経験のない教員	個別性の課題が解決できない場合の対策について、学科以外の	

	いるか。		リシーの以外にも専門分野の学術研鑽や授業を通じ経験を積んでいる。	が多く、3 年次以降の授業科目についての情報収集や取り組みの構築化が不十分。	学校全体での規定など協議する。 警官がある教員の指導を徹底し、また教務部との連携を構築化し、学生に不利益が生じないように協議する。	
	教員採用等人材確保において、関連業界等と連携しているか。		日本作業療法士協会及び福岡県作業療法協会との情報交換の構築化及び連携している。	教員採用手続きは、規程等で明確化し適切に運用していると思われるが、内容を把握していない。 教員は専任・兼任（非常勤）の配分についての設置基準等に基づき適切に採用を実施していると思われるが、内容を把握していない。	教員採用に関係する教務部との連携や計画的後方の取り組みや、臨時的に発生した教員採用による計画の進め方を関係機関で協議する。	
	教員の採用計画・配置計画を定めているか。		H30 年度に、2 名採用計画あり。中途での採用や配置について、計画的遂行はできている。採用前の配置計画	教員一人あたりの授業時数を考慮して、人事配置を心掛けているが、教務以外の教員が把握できていない。	学科内での協議を年度前に定期的に実施し、教員間でのバランスも含め試行する。 非常勤講師の確保に	

			についても、担当科目の準備及び実施できる体制や受け入れる教員の（時間割調整など)、新人教育の計画も準備している。	また作業療法学科教員の定数基準に合わせた計画的導入時期や選出に基準が不明瞭であり、学校間での連携が確立していない課題あり。 全国的に発達障害分野に携わる有資格者が少ないことや、発達障害を専門とした教員が少ないことで、専門的に臨床で評価や治療で携わった教員が不在。 個人の教員経験の有無や取り組みへの意識の差異により配置ができない課題あり。	向けた取り組みの強化が必要。	
	専任・兼任（非常勤)、年齢構成、男女比等など教員構成を明示しているか。		校舎内に教員構成を明示する掲示はない。	学生に対して、新入生オリエンテーション時の教員紹介のみで、教務室に教員氏名の掲示もない。	学校で統一した教員名の掲示の仕方など取り決めの統一性が必要。	

				教務室入口（廊下側）などに学生や来校者が教員を把握できるように明示する検討が必要。また、H30 年度の教員の平均年齢は、44.25 歳。30～50 歳代の男性で構成。OT 経験年数は基準をクリア。H30 年度に女性教員 1 名配置。1 名退職後すぐに 1 名教員配置。勤務予定が計画的に遂行。教育経験が、10 年以上は 1 名。他の教員は、3 年未満。		
	教員の募集、採用手続、昇格措置等について規程等で明確に定めているか。		学科内での明確な定めについて把握していない。			
	教員一人当たりの授業時数、学生数等を把握しているか。		年度ごとに担当科目及び教員配置を計画的に作成。現状把握と学科全体での平均時間の確認を実施。学生	H29 年度は 1 期生のみで、H30 年度より 2 期生も含め授業を展開。現在 3 期生も加わり、教員の個人の力量な	学科内で協議。	

			数に対する教員配置も授業内容を検討。	どでの授業や業務のバランスを調整する必要がある。		
				記載責任者　職・氏名	学科長補佐　　中　山　　仁	

看護学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか。	授業科目を担当するため､教員に求める能力･資質等を明確にしているか。	3	臨床経験や教育経験を踏まえて、授業科目の決定をしている。	臨床・教育経験を考慮して、科目担当や時間数を決定しているため、業務量の差が激しい。	新人教員に対する教育の充実と授業案の指導を行う。	
	授業科目を担当するため、教員に求める必要な資格等を明示し、確認しているか。		教員に求める資格については、確認している。	授業案作成についての評価の実施	授業案を提出してもらい、評価する。	
	教員の知識・技術・技能レベルは、関連業界等のレベルに適合しているか。		関連部署や実習施設等との会議を通して、関連業界等のレベルについて、情報収集している。	教員の知識、技術、技能の能力を確認する必要がある。	授業評価等を通して、レベルの確認を行う。	
	教員採用等人材確保において、関連業界等と連携しているか。		連携していない。	教員採用に関する情報習の必要性。	関連業界等より、情報収集を行う。	
	教員の採用計画・配置		教員数が不足してい	教員養成講習会を受	採用・配置計画の早期	

	計画を定めているか。		ることから、年間を通して、採用に努めている。	講後の教員の確保	の立案を行う。	
	専任・兼任（非常勤)、年齢構成、男女比等など教員構成を明示しているか。		特には、明示していない。	40～50 代の教員が多いため、若い教員の確保が必要である。	30 代の教員の確保を実施	
	教員の募集､採用手続､昇格措置等について規程等で明確に定めているか。		現在、評価基準等の規定を作成中である。	評価基準の妥当性	評価基準を具体的に、計測できる基準とする。	
	教員一人当たりの授業時数、学生数等を把握しているか。		把握している。	教員の能力による格差がある。	できるだけ授業時間の格差を少なくしていく。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　村　山　由起子	

歯科衛生学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか。	授業科目を担当するため､教員に求める能力･資質等を明確にしているか。	1	明確にはされていない。	能力・経験・資質の差が出る。	各教員が積極的に経験を積む。 専任教員の増員。	
	授業科目を担当するため、教員に求める必要な資格等を明示し、確		明示している。	なし。	なし。	

	認しているか。					
	教員の知識・技術・技能レベルは、関連業界等のレベルに適合しているか。		不明。	レベルの基準が不明。	なし。	
	教員採用等人材確保において、関連業界等と連携しているか。		していない。	人材確保について業界関連などと連携をとる。	機会を設ける。	
	教員の採用計画・配置計画を定めているか。		定めていない。	なし。	なし。	
	専任・兼任（非常勤)、年齢構成、男女比等など教員構成を明示しているか。		していない。	なし。	なし。	
	教員の募集､採用手続、昇格措置等について規程等で明確に定めているか。		不明。	なし。	なし。	
	教員一人当たりの授業時数、学生数等を把握しているか。		把握している。	公平にしたい。	細分化を行い公平にしていく。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　藤　　幸　枝	

生涯スポーツトレーナー介護福祉士学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**

3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか。	授業科目を担当するため､教員に求める能力･資質等を明確にしているか。	4	専任教員は、５年間の実務経験と介護教員講習会を修了している。医療的ケアを担当する専任教員は、医療的ケア教員研修を修了している。また人間と社会の領域を担当する専任教員は、大学、短大において当該教育内容を担当する教授として選考されている。	特になし	特になし	介護福祉士法令第５条報告 養成施設指定規則第５条
	授業科目を担当するため、教員に求める必要な資格等を明示し、確認しているか。		人事において採用時に教員資格･要件を確認している。	特になし	特になし	
	教員の知識・技術・技能レベルは、関連業界等のレベルに適合しているか。		それぞれの職能団体（介護福祉士会、看護協会）に所属し、職能団体主催の研修に参加している。	特になし	特になし	
	教員採用等人材確保において、関連業界等と連携しているか。		関連団体の推薦を求めることがある。	特になし	特になし	

	教員の採用計画・配置計画を定めているか。		特になし	特になし	特になし	
	専任・兼任（非常勤)、年齢構成、男女比等など教員構成を明示しているか。		特になし	特になし	特になし	
	教員の募集､採用手続、昇格措置等について規程等で明確に定めているか。		特になし	特になし	特になし	
	教員一人当たりの授業時数、学生数等を把握しているか。		開設科目全教科について授業時数、学生数について把握している。	特になし	特になし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　井　上　由紀子	

アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか。	授業科目を担当するため､教員に求める能力･資質等を明確にしているか。	3	各資格認定団体が示す、教員要件をクリアしている。	特になし。	特になし。	
	授業科目を担当するため、教員に求める必要な資格等を明示し、確		確認している。	特になし。	特になし。	

	認しているか。					
	教員の知識・技術・技能レベルは、関連業界等のレベルに適合しているか。		資格継続していくために研修会に参加している。	学事日程によって、参加できない場合もある。	計画性のある研修計画を立てる必要がある。	
	教員採用等人材確保において、関連業界等と連携しているか。		適合している。	科目よっては、人材確保が難しい場合がある。	業界との連携が必要となる。	
	教員の採用計画・配置計画を定めているか。		例年、科目担当教員の検討はしている。	科目よっては、人材確保が難しい場合がある。	業界との連携が必要となる。	
	専任・兼任（非常勤)、年齢構成、男女比等など教員構成を明示しているか。		明示されている。	男性教員が多い。	男性教員で指導が難しい学生指導などがある。	
	教員の募集､採用手続､昇格措置等について規程等で明確に定めているか。		特になし。	特になし。	特になし。	
	教員一人当たりの授業時数、学生数等を把握しているか。		資料を作成している。	学事日程の関係で、講義日程が立て込むことがある。	講義日程の再検討が必要となる。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　寺　本　敦　司	

整体セラピスト学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか。	授業科目を担当するため､教員に求める能力･資質等を明確にしているか。	3	明確である	なし	なし	
	授業科目を担当するため、教員に求める必要な資格等を明示し、確認しているか。		確認している	なし	なし	
	教員の知識・技術・技能レベルは、関連業界等のレベルに適合しているか。		適合している	なし	なし	
	教員採用等人材確保において、関連業界等と連携しているか。		連携が取れている	なし	なし	
	教員の採用計画・配置計画を定めているか。		定めている	なし	なし	
	専任・兼任（非常勤)、年齢構成、男女比等など教員構成を明示しているか。		明示していない	なし	なし	
	教員の募集､採用手続､昇格措置等について規程等で明確に定めてい		定めていない	なし	なし	

	るか。					
	教員一人当たりの授業時数、学生数等を把握しているか。		把握している	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　蓑　田　のり子	

日本語学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか。	授業科目を担当するため､教員に求める能力･資質等を明確にしているか。		日本語教師養成講座履修、日本語教育能力検定の有無を確認	なし	なし	
	授業科目を担当するため、教員に求める必要な資格等を明示し、確認しているか。		該当しない			
	教員の知識・技術・技能レベルは、関連業界等のレベルに適合しているか。	3	教員の減少、入れ替わりなどにより全体的に経験年数が少ないが、ほぼ適合している	知識、技能のチェックが十分でない。	各教員の技能を確認し、指導経験の長い教員による指導を行う	
	教員採用等人材確保において、関連業界等と連携しているか。		該当しない			
	教員の採用計画・配置計画を定めているか。		該当しない			

	専任・兼任（非常勤）、年齢構成、男女比等など教員構成を明示しているか。		該当しない			
	教員の募集、採用手続、昇格措置等について規程等で明確に定めているか。		該当しない			
	教員一人当たりの授業時数、学生数等を把握しているか。		している	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　髙　野　徳　一	

ホスピタリティ・コンシェルジュ学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか。	授業科目を担当するため、教員に求める能力・資質等を明確にしているか。	1	していない	教員に求める能力・資質等が不明確	情報収集による能力・資質等の確認	
	授業科目を担当するため、教員に求める必要な資格等を明示し、確認しているか。		している			
	教員の知識・技術・技能レベルは、関連業界		している			

	等のレベルに適合しているか。					
	教員採用等人材確保において、関連業界等と連携しているか。		していない		実習先でお世話になった所へ定期的に出向く	
	教員の採用計画・配置計画を定めているか。		管理本部の所管		採用計画・配置計画の策定	
	専任・兼任（非常勤)、年齢構成、男女比等など教員構成を明示しているか。		している	なし	なし	
	教員の募集､採用手続、昇格措置等について規程等で明確に定めているか。		管理本部の所管			
	教員一人当たりの授業時数、学生数等を把握しているか。		している	教員１人あたりの過度な負担	教員の補充を検討	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　川　上　　聖	

３－12－２

柔道整復学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料

3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか。	教員の専門性、教授力を把握・評価しているか。	3	授業評価アンケートを 基に評価している。	特になし	生徒の学力向上の実績では評価できるか。	
	教員の資質向上のための研修計画を定め、適切に運用しているか。		特に計画を定めていない。	特になし	特になし	
	関連業界等との連携による教員の研修・研究に取組んでいるか。		関連業界等から講師を 招き、教員研修を行っている。	特になし	なし	
	教員の研究活動･自己啓発への支援など教員のキャリア開発を支援しているか。		特に行っていない。	特になし	なし	
				記載責任者　職・氏名	教員　　新　地　秀　臣	

スポーツ柔整学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか。	教員の専門性、教授力を把握・評価しているか。	4	評価している。	なし	なし	
	教員の資質向上のための研修計画を定め、適切に運用しているか。		運用されている。	なし	なし	
	関連業界等との連携による教員の研修・研究		取り組まれている。	なし	なし	

	に取組んでいるか。					
	教員の研究活動･自己啓発への支援など教員のキャリア開発を支援しているか。		支援している。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長補佐　　村　岡　太　介	

鍼灸学科（昼間部）						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか。	教員の専門性、教授力を把握・評価しているか。	2	学生評価を基に面談等を行っている。来年度から教員間の評価制度を導入	導入する評価制度の検討	導入する評価制度の検討	
	教員の資質向上のための研修計画を定め、適切に運用しているか。		研修会に参加する教員もいるが少ない。	学事日程の関係上参加できないことがある。	年間で研修に参加できるよう計画を組む。	
	関連業界等との連携による教員の研修・研究に取組んでいるか。		毎年、複数の教員が学会に参加し、資質向上に努めている。	なし	なし	
	教員の研究活動･自己啓発への支援など教員のキャリア開発を支援しているか。		年に数回、自己啓発セミナーなどに参加している。	日程等と参加人数、学事日程の関係上参加できないことが多い。	参加できるように計画を組む。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　堀之内　貴　一	

スポーツ鍼灸学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか。	教員の専門性、教授力を把握・評価しているか。	2	学生評価を基に面談等を行っている。来年度から教員間の評価制度を導入	導入する評価制度の検討	導入する評価制度の検討	
	教員の資質向上のための研修計画を定め、適切に運用しているか。		研修会に参加する教員もいるが少ない。	学事日程の関係上参加できないことがある。	年間で研修に参加できるよう計画を組む。 人員を確保する。	
	関連業界等との連携による教員の研修・研究に取組んでいるか。		毎年、複数の教員が学会に参加し、資質向上に努めている。	なし	なし	
	教員の研究活動･自己啓発への支援など教員のキャリア開発を支援しているか。		年に数回、自己啓発セミナーなどに参加している。	日程等と参加人数、学事日程の関係上参加できないことが多い。	参加できるように計画を組む。 人員を確保する。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　松　波　　賢	

理学療法学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか。	教員の専門性、教授力を把握・評価しているか。	4	授業終了時に授業評価を行っている	なし	なし	
	教員の資質向上のための研修計画を定め、適		関連業界にて行われている研修会へ参加	なし	なし	

	切に運用しているか。		している			
	関連業界等との連携による教員の研修・研究に取組んでいるか。		研修に参加及び研究に取り組んでいる	なし	なし	
	教員の研究活動･自己啓発への支援など教員のキャリア開発を支援しているか。		研修に参加及び研究に取り組んでいる	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　永　野　　忍	

作業療法学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか。	教員の専門性、教授力を把握・評価しているか。	2	授業担当及び業務分掌を作成・実施。 教員の専門性について、教員が各々で関連業界等での実務を経験し、教員になってからも専門的な分野の情報収集に取り組み、最新の知識や技術ができるように積極的に実施。 客観的な評価として、	学科内での客観的な指標はなく、学校全体での取り組みである学生からの授業評価の共有化があるが、学生からの意見などは各々で管理し、情報共有できていない。 実際の教育経験が1年未満である教員が多いため、経験者による指導や校務分掌に基づいた学科内全体で	学科内で統一した課題への取り組みに関して、情報共有し、指導や校務分掌に基づいた業務の遂行などの改善と、学科内全体で支援する体制づくりが必要。	なし

			学生による授業評価のみ。 教員の専門性を向上させるための現状の能力等を適切に評価する指標がなく、改善することが明確であり、その点を明確にした上で、対象となる教員へ指導しても改善できない課題あり。 適宜研修等による育成については、学科行事を踏まえ、計画的に遂行できるよう学科長からの指示あり。 教員の教授力（インストラクションスキル）について、学科全体の取り組みの意識が不十分で、H29 年度実施した授業観察を、今後も積極的に取り入れ、他学科からの意見を取り入れる体制が求	支援する体制づくりを求めても、コミュニケーションにおける問題などあり、適正などの評価が必要。		

			まられる現状。			
	教員の資質向上のための研修計画を定め、適切に運用しているか。		H29 年度は、各々で必要である研修を選択し、参加。H30 年度は、計画的に研修等へ参加。	授業や学校行事の運営についての意識が、個人によって差異があることで、学校不在になることによる他教員の業務負担がある。	今後も、教員の専門性の質が低下しないように、研修内容について情報を共有し、計画的に配慮する必要がある。	
	関連業界等との連携による教員の研修・研究に取組んでいるか。		ディプロマポリシーが意識化され、教員ごとに実践的な職業教育機関との連携を実施。	優先的に誰が教員研修に参加するかという基準はない。	実務経験を基盤とした専門性に優れた教員の資質の向上を目的に、学科全体で関連業界等との連携を積極的に行うことを継続する。	
	教員の研究活動・自己啓発への支援など教員のキャリア開発を支援しているか。		年間1回の研修参加について、学校からの補助が確立されている。授業変更などにより、学生への影響として不利益にならないよう取り組む。	H29 年度に研修に参加するできた教員とできなかった教員の差がある。平均した回数は、年間2回以上あり、不定期であることから、個人の判断で研修参加を計画し、実施する事によって伴う、業務の不履行や連絡	教員は、学生の授業に影響がないことを計画的に準備し、事前に他の教員への相談を兼ねて出張などの計画を立てるシステムの構築する必要あり。	

				ができていないことでの調整に時間が終われるといったコミュニケーションの課題などあり。相談シートや稟議書申請に時間を要すこと。		
				記載責任者　職・氏名	学科長補佐　　中　山　　仁	

看護学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか。	教員の専門性、教授力を把握・評価しているか。	3	年に1回、学生による授業アンケートが行われている。	教員の力量を把握し、評価する必要がある。	定期的な面談と各教員個々による授業評価の実施	
	教員の資質向上のための研修計画を定め、適切に運用しているか。		教員養成講習会の研修計画及び各領域に関連した学会・講習会への参加を推奨している。	学会・講習会への参加の動機づけ	年間計画の作成	
	関連業界等との連携による教員の研修・研究に取組んでいるか。		教員の自発的な取り組みは無い。	研修・研究へ取り組むための時間の確保	研修・研究に関する計画の立案・実施	
	教員の研究活動･自己啓発への支援など教員のキャリア開発を支援し		各領域に関連した学会・研修等への参加及び発表の推奨	研究活動・自己啓発に対する教員への動機づけ	年間計画に取り入れる。	

	ているか。					
				記載責任者　職・氏名	学科長　　村　山　由起子	

歯科衛生学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか。	教員の専門性、教授力を把握・評価しているか。	2	授業評価を行っている。	フィードバックが必要。	フィードバックできる機会を設ける。	
	教員の資質向上のための研修計画を定め、適切に運用しているか。		運用している。	積極的に取り組む教員が少ない。	計画を立て取り組んでいく。	
	関連業界等との連携による教員の研修・研究に取組んでいるか。		研修会に参加している。	研究への取り組み。	実施体制を整える。	
	教員の研究活動･自己啓発への支援など教員のキャリア開発を支援しているか。		研修会や学会などの情報を提供したり、共有している。	積極的に取り組む教員が少ない。	主体的に取り組めるよう支援する。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　藤　　幸　枝	

生涯スポーツトレーナー介護福祉士学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-12-2 教員の資質向上への取	教員の専門性、教授力を把握・評価している	3	特になし	教員の教育力にばらつきがある。	学内研修を定期的に開催する。	

組みを行っているか。	か。					
	教員の資質向上のための研修計画を定め、適切に運用しているか。		研修計画によって研修機会の確保に努めている。	講義や実習等の関係上、参加できない学会や研修会が多い。	教員の増員によって参加しやすい状況をつくる。	
	関連業界等との連携による教員の研修・研究に取組んでいるか。		介護福祉士会の主催する研修会等に積極的に参加している。	他の専門領域の研修機会が必要。	関連業界との共同の研修体制を構築する。	
	教員の研究活動･自己啓発への支援など教員のキャリア開発を支援しているか。		教員の学外学会への参加、発表について奨励している。	学会開催時期等の情報が的確に把握できていないものがある。	関連する学会に入会するなどして的確な情報を得るようにする。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　井　上　由紀子	

アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか。	教員の専門性、教授力を把握・評価しているか。	2	授業評価アンケートを実施している。	評価基準を明確にする必要がある。	授業評価アンケート項目の見直しが必要である。	
	教員の資質向上のための研修計画を定め、適切に運用しているか。		研修計画を立てて運用している。	学事日程の関係で参加できない研修会もある。	学事日程の柔軟な運用を検討していく。	
	関連業界等との連携による教員の研修・研究に取組んでいるか。		関連業界への研修に参加している。	学事日程の関係で参加できない研修会もある。	学事日程の柔軟な運用を検討していく。	
	教員の研究活動･自己		一部の教員が自己啓	学事日程の関係で参	学事日程の柔軟な運	

	啓発への支援など教員のキャリア開発を支援しているか。		発セミナーに参加している。	加できない研修会もある。	用を検討していく。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　寺　本　敦　司	

整体セラピスト学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか。	教員の専門性、教授力を把握・評価しているか。	3	専門性は長けている 評価は行っていない	明確な評価基準はない	評価基準の作成が必要である	
	教員の資質向上のための研修計画を定め、適切に運用しているか。		個別に研修参加をしているが計画的ではない			
	関連業界等との連携による教員の研修・研究に取組んでいるか。		関連業界の研修は積極的に参加している	計画性が無い	年間計画で計画し取り組む	
	教員の研究活動･自己啓発への支援など教員のキャリア開発を支援しているか。		行っている	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　蓑　田　のり子	

日本語学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料

3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか。	教員の専門性、教授力を把握・評価しているか。	3	教員の入れ替わりなどもあり、教員同士の相談やアドバイス、学生からの情報ぐらいでは把握しているが、特別評価はしていない。	各教員の教授力の把握不足。	授業に入るなどして確認して、評価とフィードバックをする	
	教員の資質向上のための研修計画を定め、適切に運用しているか。		している	なし		
	関連業界等との連携による教員の研修・研究に取組んでいるか。		外部の情報を収集し、研修に積極的に参加するようにしている。			
	教員の研究活動･自己啓発への支援など教員のキャリア開発を支援しているか。		自己啓発研修などの参加を促している			
				記載責任者　職・氏名	学科長　　髙　野　徳　一	

ホスピタリティ・コンシェルジュ学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか。	教員の専門性、教授力を把握・評価しているか。	2	それぞれが専門の教科を教えている	留学生相手なので、伝わりにくい	非常勤講師の方々には、言葉などを選んで使っていただくようにする	

	教員の資質向上のための研修計画を定め、適切に運用しているか。		常勤は研修に参加している	なかなか研修がない		
	関連業界等との連携による教員の研修・研究に取組んでいるか。		取り組んでいる	なし	なし	
	教員の研究活動･自己啓発への支援など教員のキャリア開発を支援しているか。		常勤にはなるべくさまざまな研修に参加する、できるようにしている	常勤が二人のため、参加することが難しい時がある	常勤の方に入っていただきたい	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　川　上　　聖	

３－12－３

柔道整復学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか。	分野毎に必要な教員組織体制を整備しているか。	4	分野毎の必要な教員組 織体制は整備されている。	特にない	なし	組織図 時間割
	教員組織における業務分担・責任体制は、規程等で明確に定めているか。		教員組織における業務 分担は明確に定めている。	なし	なし	
	学科毎に授業科目担当		協力体制は構築され	なし	なし	

	教員間で連携・協力体制を構築しているか。		て いる。			
	授業内容・教育方法の改善に関する組織的な取組があるか。		授業、教育方法の改善は、学科での模擬授業を行い、それを評価する 取り組みがある。	特になし	なし	
	専任･兼任（非常勤）教員間の連携・協力体制を構築しているか。		教員間の連携、協力体制は構築されている。	現状で行っていく	なし	
				記載責任者　職・氏名	教員　　新　地　秀　臣	

スポーツ柔整学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか。	分野毎に必要な教員組織体制を整備しているか。	4	整備されている。	なし	なし	組織図 時間割
	教員組織における業務分担・責任体制は、規程等で明確に定めているか。		定められている。	なし	なし	
	学科毎に授業科目担当教員間で連携・協力体制を構築しているか。		しっかり構築されている。	なし	なし	
	授業内容・教育方法の改善に関する組織的な		組織的に取り組んでいる。	なし	なし	

	取組があるか。					
	専任・兼任（非常勤）教員間の連携・協力体制を構築しているか。		電話、メール、対話により構築されている。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長補佐　　村　岡　太　介	

鍼灸学科（昼間部）						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか。	分野毎に必要な教員組織体制を整備しているか。	2	ある程度分野毎に組織化しているが明確ではない。	明確な組織化。	明確な組織化を図るために会議等を実施する。	
	教員組織における業務分担・責任体制は、規程等で明確に定めているか。		分担等できてはいるが明確ではない。		職務分掌図を作成し、明確に定める。	
	学科毎に授業科目担当教員間で連携・協力体制を構築しているか。		連携は取れているがどの程度なのは不明。		定期的に会議・確認を行う。	
	授業内容・教育方法の改善に関する組織的な取組があるか。		なし。	組織ができていない。	授業内容や教育方法の改善に関する組織化を図る。	
	専任・兼任（非常勤）教員間の連携・協力体制を構築しているか。		構築している。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　堀之内　貴　一	

スポーツ鍼灸学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか。	分野毎に必要な教員組織体制を整備しているか。	2	組織化するまでに至らず、個人の力に頼っているのが多い	明確な組織化。	明確な組織化を図るために会議等を実施する。	
	教員組織における業務分担・責任体制は、規程等で明確に定めているか。		分担等できてはいるがまだシステム化まで至らない。	工程などマニュアル化が必要	職務分掌図を作成し、明確に定める。	
	学科毎に授業科目担当教員間で連携・協力体制を構築しているか。		連携は取れているがどの程度なのは不明。	連携の取り方が不明確	年度末に検討会を行う。	
	授業内容・教育方法の改善に関する組織的な取組があるか。		なし。	組織ができていない。	授業内容や教育方法の改善に関する組織化を図る。	
	専任･兼任(非常勤)教員間の連携･協力体制を構築しているか。		協力体制はできている。	協力体制もさらに向上して、より良いものに作り上げる必要がある	協力体制もさらに向上して、より良いものに作り上げる必要がある	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　松　波　　賢	

理学療法学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料

3-12-3 教員の組織体制を整備しているか。	分野毎に必要な教員組織体制を整備しているか。	4	各種分野において委員会設置を行っている	なし	なし	組織図 時間割
	教員組織における業務分担・責任体制は、規程等で明確に定めているか。		業務分掌にて明確にしている	なし	なし	
	学科毎に授業科目担当教員間で連携・協力体制を構築しているか。		年度前に次年度の授業シラバスを供覧し，関連の深い科目の担当教員間での教授内容の再確認等を行っている	なし	なし	
	授業内容・教育方法の改善に関する組織的な取組があるか。		授業評価をもとに教員へフィードバックを行っている フィードバック後の検証を行っている	なし	なし	
	専任･兼任（非常勤）教員間の連携・協力体制を構築しているか。		年度前に次年度の授業シラバスを供覧し，関連の深い科目の担当教員間での教授内容の再確認等を行っている.	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　永　野　　忍	

作業療法学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか。	分野毎に必要な教員組織体制を整備しているか。	2	区分ごとに教育上の基本組織を配置。	組織体制を遂行できない教員が存在する。	学科全体で協議し、必要であれば、学校全体で検討していく。	組織図・時間割
	教員組織における業務分担・責任体制は、規程等で明確に定めているか。		業務分担や責任体制を規程等に明確に定めている。	組織体制を遂行できない教員が存在する。	学科全体で協議し、必要であれば、学校全体で検討していく。	
	学科毎に授業科目担当教員間で連携・協力体制を構築しているか。		学科長を中心とした教育及び管理運営面で、他の教職員と協力し、教育の質を高める努力をしている。	授業科目を遂行できない教員が存在する。	学科全体で協議し、必要であれば、学校全体で検討していく。 学科内で、授業科目担当間の変更に対しても学科教務を準備し、連携・協力体制を構築。	
	授業内容・教育方法の改善に関する組織的な取組があるか。		授業内容・教育方法の改善に関する組織的な取組は不十分。	教育経験がある教員からの個別指導により授業内容や教育方法について改善を試みるが、職員間のコミュニケーション不足がある。	学科全体で協議し、必要であれば、学校全体で検討していく。	

	専任・兼任（非常勤）教員間の連携・協力体制を構築しているか。		専任教員間の連携及び兼任は現段階で調整できている。非常勤教員との連携体制も、担当者との間では構築できている。 1年次の基本的な知識を学ぶカリキュラムが終了。2年次の専門基礎科目や専門科目に対する準備や校務分掌により学生や広報、就職、国家試験対策においては、カリキュラムポリシーに対応するマニュアルの作成を編成し実施。また、ディプロマポリシーに合わせて、実習や3年次の国家試験対策や就職などに向けた専門的知識や技能の獲得を可能にするための準備計画段階。	3年次カリキュラムが計画的に実施できるよう計画を構築中。 学科教務(担当者)以外のOT教員との情報共有化ができている。	学科内での情報共有や協議を定期的に実施し、教員間での協力体制の強化を試行する。	
				記載責任者　職・氏名	学科長補佐　　中　山　　仁	

看護学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか。	分野毎に必要な教員組織体制を整備しているか。	3	専門分野については、各領域のリーダーを決めて体制づくりをしている。	外部講師等が多い基礎分野や専門基礎分野については、組織体制は不備。	各分野の関連性を考えて、組織作りを行う。	組織図 時間割
	教員組織における業務分担・責任体制は、規程等で明確に定めているか。		規程では、定めていない。	業務分担・責任体制について、規程による明文化の必要性	業務分担・責任体制について、規程を作成する。	
	学科毎に授業科目担当教員間で連携・協力体制を構築しているか。		連携・協力体制を構築している。	特になし	特になし	
	授業内容・教育方法の改善に関する組織的な取組があるか。		組織的な取り組みはない。	組織体制についての取り組みの実施	関連する授業科目担当者間で授業内容や方法の改善について、検討する。	
	専任･兼任（非常勤）教員間の連携・協力体制を構築しているか。		専任・兼任教員間の連携・協力体制は構築されていない。	専任・兼任教員間の連携・協力体制について会議の実施	専任・兼任の教員の意見交換を実施する。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　村　山　由起子	

歯科衛生学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料

3-12-3 教員の組織体制を整備しているか。	分野毎に必要な教員組織体制を整備しているか。	1	不十分なところがある。	組織体制が不備。	組織体制を強化する。	組織図 時間割
	教員組織における業務分担・責任体制は、規程等で明確に定めているか。		規定には定めていない。	明文化を図る。	内規を作成する。	
	学科毎に授業科目担当教員間で連携・協力体制を構築しているか。		実習は2人体制で行いたいが、現状では不十分である。	実習教員を増やす。	教員の増員。	
	授業内容・教育方法の改善に関する組織的な取組があるか。		ない。	組織ができていない。	組織化を図る。	
	専任･兼任（非常勤）教員間の連携・協力体制を構築しているか。		協力体制はできているが不十分なところがある。	共有化を図る。	学科内で討議する。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　藤　　幸　枝	

生涯スポーツトレーナー介護福祉士学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか。	分野毎に必要な教員組織体制を整備しているか。	4	学科長を中心に各学年担任制、各専門領域性を中心に動いている。	特になし	特になし	組織図 時間割
	教員組織における業務		教員組織における業	特になし	特になし	

	分担・責任体制は、規程等で明確に定めているか。		務分担・責任については校務分掌として作成している。			
	学科毎に授業科目担当教員間で連携・協力体制を構築しているか。		各専門領域担当教員間においては協力・連携体制がある。 年度始めに科目目標との整合性について各授業科目担当教員と連携・協力体制の確認を行っている。	留学生の専門職としての学びをサポートするには、兼任講師との連携を図ることが課題である。	留学生が抱えている介護福祉士養成の具体的な課題と学科の方針を兼任講師にも示し、協力関係を築く努力を継続している。	
	授業内容・教育方法の改善に関する組織的な取組があるか。		授業評価アンケートの仕組みを整備している。改善に関する組織的な取り組みは教育の背景と実情をもとに行っている。	授業内容・教育方法の改善については、さらなる組織的な取り組みが必要である。	学科における授業内容・教育方法の改善に向けた取り組みを継続する。	
	専任･兼任（非常勤）教員間の連携・協力体制を構築しているか。		専任教員と兼任講師との学生指導における連携とコミュニケーションを図っている。	兼任講師との連携をさらに強化する必要がある。	専任教員から兼任講師に積極的に働きかける努力を継続する。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　井　上　由紀子	

アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか。	分野毎に必要な教員組織体制を整備しているか。	3	業務分掌を作成している。	特になし。	特になし。	組織図 時間割
	教員組織における業務分担・責任体制は、規程等で明確に定めているか。		規定はないが、各業務に対し、責任者を決定して業務を進めている。	明文化が必要である。	業務分掌作成時に補足資料として作成が必要である。	
	学科毎に授業科目担当教員間で連携・協力体制を構築しているか。		実技科目では連携・協力体制は出来ている。	特になし。	特になし。	
	授業内容・教育方法の改善に関する組織的な取組があるか。		取り組みはない。	学科教員間で、授業見学などを計画していない。	長期休暇などに模擬授業などを計画していきたい。	
	専任･兼任（非常勤）教員間の連携・協力体制を構築しているか。		専任・兼任の教員間で学生情報は共有している。	一部の教員のみ実施している。	担当者を決め、兼任教員との連携を予定している。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　寺　本　敦　司	

整体セラピスト学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか。	分野毎に必要な教員組織体制を整備しているか。	3	予備人員が不足している	実技では目が行き届かない場合がある	実技教員補佐を入れ対応する	組織図 時間割
	教員組織における業務		専任教員が一人のた	業務分担ができない	業務内容の明文化	

	分担・責任体制は、規程等で明確に定めているか。		め業務分担はできない			
	学科毎に授業科目担当教員間で連携・協力体制を構築しているか。		構築している	なし	なし	
	授業内容・教育方法の改善に関する組織的な取組があるか。		非常勤講師との連携で取り組んでいる	なし	なし	
	専任・兼任（非常勤）教員間の連携・協力体制を構築しているか。		構築している	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　蓑　田　のり子	

日本語学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか。	分野毎に必要な教員組織体制を整備しているか。	2	授業の担当は明確化している、生活面の管理に他部署に移行しつつある。	就職に関する担当が不明確で、教員に負担がかかる。	役割を明確化していく	組織図 時間割
	教員組織における業務分担・責任体制は、規程等で明確に定めているか。		業務分担はできているが、規定による明確化はされていない	業務分担が不明確	規定に明確にする	
	学科毎に授業科目担当		協力している	なし	なし	

	教員間で連携・協力体制を構築しているか。					
	授業内容・教育方法の改善に関する組織的な取組があるか。		教員間で共有、相談をしている	共有、相談が不十分な時がある	定期的に授業を見るなどして、フィードバックする	
	専任・兼任（非常勤）教員間の連携・協力体制を構築しているか。		該当しない			
				記載責任者　職・氏名	学科長　　髙　野　徳　一	

ホスピタリティ・コンシェルジュ学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか。	分野毎に必要な教員組織体制を整備しているか。	1	専門分野ではない教科を教えているものがある。	より専門性の高い教員の補充が必要	より専門性の高い教員の補充	組織図 時間割
	教員組織における業務分担・責任体制は、規程等で明確に定めているか。		定めている			
	学科毎に授業科目担当教員間で連携・協力体制を構築しているか。		協力体制は取れている。定期的に話し合いを行っている	なし		
	授業内容・教育方法の改善に関する組織的な取組があるか。		非常勤を含め、定期的に話し合いを行っている			

	専任･兼任（非常勤）教員間の連携・協力体制を構築しているか。		定期的に話し合いを行っている			
				記載責任者　職・氏名	学科長　　川　上　　聖	

基準４　教育成果【平均評価：２．７】

４－13　就職率

4－13－1

柔道整復学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-13-1 就職率の向上が図られているか。	就職率に関する目標設定はあるか。	4	就職率は 100％の目標 設定をしている。	なし	特になし	キャリアサポートセンターのエントリーシート
	学生の就職活動を把握しているか。		就職活動は把握している。	特になし	現状で行く	
	専門分野と関連する業界等への就職状況を把握しているか。		業界からの求人は学校 を通じてのもので状況 は把握されている。	契約通り卒業生が待遇されているか評価が必要か。	特になし	
	関連する企業等と共催		関連する企業等と共	特になし	現状でいく	

	で「就職説明会」を行うなど、就職に関し関連業界等と連携しているか。		催 で就職求人説明会を開 いている。			
	就職率等のデータについて適切に管理しているか。		就職先を含めデータは 管理されている。	なし	今まで通り管理する。	
				記載責任者　職・氏名	教員　　新　地　秀　臣	

スポーツ柔整学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-13-1 就職率の向上が図られているか。	就職率に関する目標設定はあるか。	3	就職率 100%を目標としている。	なし	なし	キャリアサポートセンターのエントリーシート
	学生の就職活動を把握しているか。		全数把握はできていない。	卒業後の生徒の動向を把握しなければならない。	卒業式時にオリエンテーションを開催し、卒後の動向を調査する。	
	専門分野と関連する業界等への就職状況を把握しているか。		全数把握は出来ていない。	卒業後の生徒の動向を把握しなければならない。	卒業式時にオリエンテーションを開催し、卒後の動向を調査する。	
	関連する企業等と共催で「就職説明会」を行うなど、就職に関し関連業界等と連携しているか。		連携できている。	なし	なし	
	就職率等のデータにつ		把握できているもの	なし	なし	

	いて適切に管理しているか。		に関しては管理できている。			
				記載責任者　職・氏名	学科長補佐　　村　岡　太　介	

鍼灸学科（昼間部）						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-13-1 就職率の向上が図られているか。	就職率に関する目標設定はあるか。	2	目標が明確化していない。	目標が明確化していない。	目標を設定する。	
	学生の就職活動を把握しているか。		卒業式前に内定を頂いた者に関しては把握できているが卒後に内定した者は把握できていない。	卒後に内定した者などを把握する。	卒後に調査等を行う。	
	専門分野と関連する業界等への就職状況を把握しているか。		卒業式前に内定を頂いた者に関しては把握できているが卒後に内定した者は把握できていない。	卒後に内定した者などを把握する。	卒後に調査等を行う。	
	関連する企業等と共催で「就職セミナー」を行うなど、就職に関し関連業界等と連携しているか。		連携ができているとは言えない。	就職セミナーなど実施していない。	セミナーなどの計画化。	
	就職率等のデータについて適切に管理してい		動向等は把握しているが全員ではない。	全員の動向を把握できていない。	動向を把握し、データ化する。	

	るか。					
				記載責任者　職・氏名	学科長　　堀之内　貴　一	

スポーツ鍼灸学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-13-1 就職率の向上が図られているか。	就職率に関する目標設定はあるか。	2	目標が明確化していない。	目標が明確にする	目標を数値化する。	卒業後の進路についてのアンケート（教務）
	学生の就職活動を把握しているか。		3 年次に企業説明会を実施し、個別に相談にはのっている	学生全体の動きはまちまちであり、統一はできていない	就職活動においても学科で統一見解をつくる	
	専門分野と関連する業界等への就職状況を把握しているか。		卒業前に内定を頂いた者に関しては把握できている。	卒業後に把握する場所を設ける。	卒業後に調査等を行う。	
	関連する企業等と共催で「就職セミナー」を行うなど、就職に関し関連業界等と連携しているか。		連携ができているとは言えない。	就職セミナーなど実施していない。	セミナーなどの計画化。	
	就職率等のデータについて適切に管理しているか。		動向等は把握しているが全員ではない。	卒業前・卒業後などデータをとる時期を把握	動向を把握し、データ化する。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　松　波　　賢	

理学療法学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-13-1 就職率の向上が図られているか。	就職率に関する目標設定はあるか。	4	目標設定 100%で，実績も 100%である	なし	なし	キャリアサポートセンターのエントリーシート
	学生の就職活動を把握しているか。		施設見学、面接の事前に学生より届出を提出させている	なし	なし	
	専門分野と関連する業界等への就職状況を把握しているか。		就職状況について関連団体などと情報共有を行っている	なし	なし	
	関連する企業等と共催で「就職説明会」を行うなど、就職に関し関連業界等と連携しているか。		関連する企業による就職説明会を学内にて開催している	なし	なし	
	就職率等のデータについて適切に管理しているか。		就職先を学科にてデータ化して管理している	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　永　野　　忍	

作業療法学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-13-1 就職率の向上が図られているか。	就職率に関する目標設定はあるか。	3	H29 年度1期生の全員100%就職合格達成目標が定められている。	完成年度を迎えていないため、目標が遂行できているかの時期的な評価・比較ができ	ほぼ適切に目標に向けた取り組みを実施しているが、今後の就職に関する対策を学	①OT 学科就職全マナー講座講義資料 講師：中山

				ない。	科全体で協議し、検討する。	②OT 学科就職活動報告シート
	学生の就職活動を把握しているか。		就職決定までのマナー講習など担当者で計画を立案。他校の就職活動時期などの情報収集に努め、学生ごとの就職活動を管理するシートなど準備している。	完成年度を迎えていないため、就職活動の時期と学生の到達レベルの整合性が現状では確認できない。会社や他校での就職説明会の開催時期が早まっているので、本校における企業説明会開催時期の検討が必要。	学科内での協議を定期的に実施し、学生の就職活動の状況について把握に努め、OT 学科就職活動報告シートを使用する。	
	専門分野と関連する業界等への就職状況を把握しているか。		作業療法協会や福岡県内の就職募集状況や現状の診療報酬に関しても情報収集をしている。国家試験合格率ともリンクした、就職内定取り消しによる、3 月の就職活動状況などの情報収集を計画的に行う。	なし	なし	
	関連する企業等と共催で「就職説明会」を行		現在、本校の理学療法学科が計画している	完成年度を迎えていないため、就職におけ	学科内での協議を定期的に実施し、現状把	

	うなど、就職に関し関連業界等と連携しているか。		企業説明会に参加する計画あり。2019 年度より、作業療法学科の就職に向けた説明会を実施。	る施設との連携や募集要項の案内の送付先の連絡案内など、まだ確立できていない。	握に努める。	
	就職率等のデータについて適切に管理しているか。		学生ごとの就職活動（見学や試験など）のデータ管理ができるシステム構築あり。また、各就職施設の募集要項をデータ管理ができるシステム構築あり。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長補佐　　中　山　　仁	

看護学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
4-13-1 就職率の向上が図られているか。	就職率に関する目標設定はあるか。	4	就職率 100%を目指しており、初めての卒業生は 100%であった。	特になし	特になし	キャリアサポートセンターのエントリーシート
	学生の就職活動を把握しているか。		内定通知のコピーを保存し、国試合格後に最終的に把握している。	特になし	特になし	
	専門分野と関連する業		把握している。	特になし	特になし	

	界等への就職状況を把握しているか。					
	関連する企業等と共催で「就職説明会」を行うなど、就職に関し関連業界等と連携しているか。		就職説明会を企業等と共催して開催している。	日程の決定	学生の意見等を踏まえ、今後も決定していく。	
	就職率等のデータについて適切に管理しているか。		管理している。	特になし	特になし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　村　山　由起子	

歯科衛生学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-13-1 就職率の向上が図られているか。	就職率に関する目標設定はあるか。	1	目標設定はある。	今年度初めての就職者を出すため、計画ができていない。	就職担当を決める。	キャリアサポートセンターのエントリーシート
	学生の就職活動を把握しているか。		していない。	学生が臨床実習で顎内に不在のため、アンケートや就職関連の指導ができていない。	登校日にアンケートを実施する。	
	専門分野と関連する業界等への就職状況を把握しているか。		しているが不十分なところがある。	業界と連携を取る必要がある。	情報共有できる場を設ける。	
	関連する企業等と共催		現時点では不明。	早めに取り組む。	実施できるよう協力	

	で「就職説明会」を行うなど、就職に関し関連業界等と連携しているか。				体制を強化する。	
	就職率等のデータについて適切に管理しているか。		就職者を輩出していない。	なし。	なし。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　藤　　幸　枝	

生涯スポーツトレーナー介護福祉士学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-13-1 就職率の向上が図られているか。	就職率に関する目標設定はあるか。	4	就職希望者の就職100%を目標値に設定している。	早期の個別サポートに取り組んで、就職への動機づけ、意識づけを図る。	早期の個別サポートに取り組んで、就職への動機づけ、意識づけの強化を図り就職活動を支援する。	キャリアサポートセンターのエントリーシート
	学生の就職活動を把握しているか。		学生は、学校求人を中心に学校を通して活動している。学生の就職活動は、報・連・相の徹底により担任、主任、学科長が連携して把握している。	特になし	特になし	
	専門分野と関連する業界等への就職状況を把		専門分野と関連する業界等への就職状況	特になし	特になし	

	握しているか。		は、教育成果を把握するための重要な指標として把握している。			
	関連する企業等と共催で「就職説明会」を行うなど、就職に関し関連業界等と連携しているか。		社会福祉協議会、介護福祉士会による就職説明会への参加を呼びかけている。	特になし	特になし	
	就職率等のデータについて適切に管理しているか。		学科では求人及び内定、就職実績を活動経過とともに記録し、把握している。その進捗は会議で共有している。	学生数が増加したので、学生の動向と就職先の一層の把握が必要。	学生の希望に合わせた求人の確保に努める。そのために求職調査票や学生の面談を通じて情報収集を行う。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　井　上　由紀子	

アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
4-13-1 就職率の向上が図られているか。	就職率に関する目標設定はあるか。	3	目標設定を掲げて指導している。	就職希望学生の明確な将来ビジョンがない。	キャリア教育が必要である。	キャリアサポートセンターのエントリーシート
	学生の就職活動を把握しているか。		把握している。	履歴書作成の指導が必要である。	個別対応にて､履歴書作成をしていく。	
	専門分野と関連する業界等への就職状況を把		把握している。	就職先での勤務状況の把握。	卒業生との情報共有の場を提供していく。	

	握しているか。					
	関連する企業等と共催で「就職説明会」を行うなど、就職に関し関連業界等と連携しているか。		企業説明会を実施している。	本学科と関連する企業の参加が少ない。	企業説明会に参加依頼先をまとめる。	
	就職率等のデータについて適切に管理しているか。		学科内で管理している。	退職・転職情報を把握する。	卒業生との情報共有の場を提供していく。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　寺　本　敦　司	

整体セラピスト学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
4-13-1 就職率の向上が図られているか。	就職率に関する目標設定はあるか。	3	就職希望者の就職率を100%に設定している	就職活動に取りかかるのが遅い。		キャリアサポートセンターのエントリーシート
	学生の就職活動を把握しているか。		把握している			
	専門分野と関連する業界等への就職状況を把握しているか。		把握している			
	関連する企業等と共催で「就職説明会」を行うなど、就職に関し関連業界等と連携してい		連携している	求人情報は遠方が多く、希望する地域が少ない	開催時期を検討する	

	るか。					
	就職率等のデータについて適切に管理しているか。		把握している	データとして明確ではない	基準を検討し管理する	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　蓑　田　のり子	

日本語学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-13-1 就職率の向上が図られているか。	就職率に関する目標設定はあるか。	2	全員就職を目指している。%など数字としての設定はしていない	今後対象となる学生も増える予定なので、設定が必要となるかもしれない	目標設定をする	
	学生の就職活動を把握しているか。		全員に呼びかけ、説明会や面接などの就職に関する予定がある場合は、報告するように呼び掛けている	報告にもれがあり、把握できていない時がある	都度報告を吸い上げられるようなやり方を考える	
	専門分野と関連する業界等への就職状況を把握しているか。		していない	情報と知識が不足している	就職担当者、説明会などを通じて情報を集める	
	関連する企業等と共催で「就職説明会」を行うなど、就職に関し関連業界等と連携しているか。		している	なし	なし	

	就職率等のデータについて適切に管理しているか。		就職担当者が管理している	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　髙　野　徳　一	

ホスピタリティ・コンシェルジュ学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-13-1 就職率の向上が図られているか。	就職率に関する目標設定はあるか。	2	ある			キャリアサポートセンターのエントリーシート
	学生の就職活動を把握しているか。		している	なし	なし	
	専門分野と関連する業界等への就職状況を把握しているか。		していない		調査を行う	
	関連する企業等と共催で「就職説明会」を行うなど、就職に関し関連業界等と連携しているか。		していないが、就職説明会の案内を学生にしている	学生が就職活動の方法を理解できていない	履歴書の書き方、説明会での注意点を説明	
	就職率等のデータについて適切に管理しているか。		新設の学科なので、就職率は未定			
				記載責任者　職・氏名	学科長　　川　上　　聖	

４－14　資格・免許の取得率

4－14－1

柔道整復学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか。	資格･免許取得率に関する目標設定はあるか。		免許取得に関する目標設定は 100％である。	成績下位者の点数引き上げが必要	2 年次の段階で主要科目の基礎知識の定着を図る	
	特別講座、セミナーの開講等、授業を補完する学習支援の取組はあるか。		講座セミナー開は随時行われている。			
	合格実績、合格率、全国水準との比較など行っているか。	3	行っている。	年度により差があり安定化が必要	2 年次の段階で主要科目の基礎知識の定着を図る	
	指導方法と合格実績との関連性を確認し、指導方法の改善を行っているか。		合格実績と指導方法を照らし合わせ、随時改善を行っている。	実力試験で合格基準に達しない者がいる。	未達成者に対して、原因の分析、指導方法を修正し、学生の能力に適した方法を明確にする。	
				記載責任者　職・氏名	教員　半　田　　光	

スポーツ柔整学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか。	資格･免許取得率に関する目標設定はあるか。	4	設定されている。	なし	なし	
	特別講座、セミナーの開講等、授業を補完する学習支援の取組はあるか。		取り組まれている。	なし	なし	
	合格実績、合格率、全国水準との比較など行っているか。		行われている。	なし	なし	
	指導方法と合格実績との関連性を確認し、指導方法の改善を行っているか。		行っている。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長補佐　　村　岡　太　介	

鍼灸学科（昼間部）						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか。	資格・免許取得率に関する目標設定はあるか。	3	最終学年全員卒業。 国家試験合格 100%	毎年複数人の原級留置者や国家試験不合格者がいる。	対策講義や補講などの充実。	
	特別講座、セミナーの開講等、授業を補完する学習支援の取組はあるか。		授業時間外に実技練習やセミナーをできるよう取り組んでいる。	実技系以外に自己啓発のセミナーも実施したが、参加者は少ない。	求められている内容を精査する。	

	合格実績、合格率、全国水準との比較など行っているか。		合格率は全国平均を上回っているが高いものと言えない。	国家試験合格率を上げる。	補講等の充実化。学力不足者への対応の強化。	
	指導方法と合格実績との関連性を確認し、指導方法の改善を行っているか。		学力不足者へ個別の対応を始めた。	国家試験の傾向と対策、分析の強化。	国家試験対策委員会の発足。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　堀之内　貴　一	

スポーツ鍼灸学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか。	資格・免許取得率に関する目標設定はあるか。	3	最終学年全員卒業。 国家試験合格 100%	毎年複数人の原級留置者や国家試験不合格者がいる。	対策講義や補講などの充実。	
	特別講座、セミナーの開講等、授業を補完する学習支援の取組はあるか。		授業時間外に実技練習やセミナーをできるよう取り組んでいる。	実技系以外に自己啓発のセミナーも実施したが、参加者は少ない。	求められている内容を精査する。	
	合格実績、合格率、全国水準との比較など行っているか。		合格率は全国平均を上回っているが高いものと言えない。	国家試験合格率を上げる。	補講等の充実化。学力不足者への対応の強化。	
	指導方法と合格実績との関連性を確認し、指導方法の改善を行っているか。		学力不足者へ個別の対応を始めた。	国家試験の傾向と対策、分析の強化。	国家試験対策委員会の発足。	

	記載責任者　職・氏名	学科長　　松　波　　賢

理学療法学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか。	資格･免許取得率に関する目標設定はあるか。	3	目標設定は 100%である	なし	なし	
	特別講座、セミナーの開講等、授業を補完する学習支援の取組はあるか。		最終学年の授業において資格取得に向けての内容の充実を図っている	成績不良者への支援	実力を随時測り個別の支援体制を強化していくために面談を実施する	
	合格実績、合格率、全国水準との比較など行っているか。		関連団体等より情報を得て，チェック項目を調べている	なし	なし	
	指導方法と合格実績との関連性を確認し、指導方法の改善を行っているか。		常に指導方法と定期的な模擬試験の結果との整合性をチェックしており，合格率の向上を目指している.	成績不良者への支援	実力を随時測り個別の支援体制を強化していくために面談を実施する	

	記載責任者　職・氏名	学科長　　永　野　　忍

作業療法学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか。	資格・免許取得率に関する目標設定はある	3	カリキュラムポリシーで、作業療法国家試験受験資格以外に、メ	完成年度を迎えていないため、目標設定した 100%合格の確認は	学科内での協議を定期的に実施し、学科全体で開催時期の把握	

	か。		ンタルヘルス・マネジメント検定などの予防的作業療法にも関連する資格について、受験者は全員合格するための講義はシラバスで記載され、合格が実現できるよう学科教員及び学生と目標が統一している。	できないが、担当者のみでの学生指導にならないよう、学科全体で開催時期の把握や試験内容の推移の変化など情報共有し、準備・取り組むことが必要。	や試験内容の推移の変化など情報共有し、準備・取り組む	
	特別講座、セミナーの開講等、授業を補完する学習支援の取組はあるか。		1,2 年次のセミナーでの授業補完以外に、授業のない時間帯の学習支援体制が、担任を中心として実施されている。	授業時間内での学習効果が高まる支援が一番であるが、完成年度を迎えていないため、確認できないが、試験合格に向けた計画や前年度の振り返りを実施し、効果的な取り組みは継続していくことが必要。また、補完の際も中間評価など学生の到達度を評価が必要。	学科内での協議を定期的に実施し、カリキュラムポリシーを基準に、再試ゼロ計画も検討して取り組む。	
	合格実績、合格率、全国水準との比較など行		本校の他学科の情報や他校の実態を調査	完成年度を迎えていないため、現在の学科	学科内での協議を定期的に実施し、学生の	

	っているか。		し、全国の合格率を把握している。	の合格達成についてのデータがない。	比較は現在確認できないが、年度ごとの推移を確認しながら合格達成できる体制を強化する。	
	指導方法と合格実績との関連性を確認し、指導方法の改善を行っているか。		国家試験指導教員の10 年間の取り組みを参考に、経験から得た知識の情報共有に努め、過去難易度が高まる国家試験の問題に対して100%合格達成が連続してできた他校の取り組みを本校に取り入れて、カリキュラムポリシーや本校1期生100%合格達成を目標に掲げている。	完成年度を迎えていないため、実績が確認できないが、具体的な指導方法の時期や内容についての情報共有化は不完全である。	学科内での協議を定期的に実施し、指導方法と合格実績との関連性を確認し、指導方法の改善を実施。	
				記載責任者　職・氏名	学科長補佐　　中　山　　仁	

看護学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
4-14-1 資格・免許取得率の向	資格･免許取得率に関する目標設定はあるか。	3	看護師国家試験の合格率100%を目指して	規程等で明文化されていない。	明文化し、教員学生間の周知徹底を図る。	

上が図られているか。			いる。			
	特別講座、セミナーの開講等、授業を補完する学習支援の取組はあるか。		業者からの特別講義及びセミナー等を年1～2回程度実施している。	早期に、年間計画の明確化	1・2・3年次のカリキュラムに反映させる。	
	合格実績、合格率、全国水準との比較など行っているか。		行っている。	合格実績、合格率、全国水準との比較の活用が不十分	学生に効果的に活用できるように、工夫する。	
	指導方法と合格実績との関連性を確認し、指導方法の改善を行っているか。		指導方法を具体的に提示されていない現状がある。	1か月ごとにゼミ活動を報告する必要がある。	合格状況に基づいて、指導方法の工夫、学生の能力別指導など取り入れる予定。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　村　山　由起子	

歯科衛生学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか。	資格･免許取得率に関する目標設定はあるか。	3	100％を目標としている。	なし。	なし。	
	特別講座、セミナーの開講等、授業を補完する学習支援の取組はあるか。		最終学年にて資格取得に向けた授業を実施する。	後期に行うため、現時点では不明。	なし。	
	合格実績、合格率、全国水準との比較など行っているか。		国家試験受験の該当学年がいないので、比較ができない。	なし。	なし。	

	指導方法と合格実績との関連性を確認し、指導方法の改善を行っているか。		国家試験受験の該当学年がいないので、比較ができない。	なし。	なし。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　藤　　幸　枝	

生涯スポーツトレーナー介護福祉士学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか。	資格・免許取得率に関する目標設定はあるか。	4	学科において資格取得の数値目標を設定し、その向上を図っている。	資格取得の数値目標をたっせい、向上させるためには常に工夫が必要である。	学科の運営計画に年度目標を明示し、年度末に検証する。	
	特別講座、セミナーの開講等、授業を補完する学習支援の取組はあるか。		年間計画に従って国家試験対策講座や特別時間割、勉強会を実施、また国試前の集中授業の実施で合格率の向上を図っている。	学生のモチベーションや基礎学力の変化に対応した指導法の工夫が必要である。	学科における工夫を運営計画に明記し、実施する。	
	合格実績、合格率、全国水準との比較など行っているか。		結果については領域別合格率、全国結果との比較など詳細な分析を行い、合格率を向上させるための具体的な方策を検討している。	特になし	特になし	

	指導方法と合格実績との関連性を確認し、指導方法の改善を行っているか。		学科では模試、国試の申し込みから合否までを一貫して管理している。	今後の国試の結果から指導方法と合格実績の関連性を確認することが課題である。	特になし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　井　上　由紀子	

アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか。	資格･免許取得率に関する目標設定はあるか。	4	学科内で目標設定を決めている。	学生に対しての資格試験のモチベーション向上が必要である。	学生面談の実施が必要である。	
	特別講座、セミナーの開講等、授業を補完する学習支援の取組はあるか。		模擬試験を実施している。	卒業生向けのセミナー実施が難しい。	セミナーなどの日程を早期に実施していく。	
	合格実績、合格率、全国水準との比較など行っているか。		合格率の比較をしている。	資格試験によっては、正確な合格率が発表されない。	他校などが発表している合格率を参考にしていく。	
	指導方法と合格実績との関連性を確認し、指導方法の改善を行っているか。		資格試験終了後、次年度に向けての指導方法を検討している。	不合格者への支援が必要である。	主に卒業生が対象となるので、セミナーなど参加しやすい日程を設定していく。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　寺　本　敦　司	

整体セラピスト学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか。	資格･免許取得率に関する目標設定はあるか。	3	全員合格を目標としている	筆記試験の対策の補講があまりできない	年間計画で補講日程を組む	
	特別講座、セミナーの開講等、授業を補完する学習支援の取組はあるか。		他学科教員・トレーナーの特別講義を行っている	セミナーの日程調整が困難。特にトレーナーとは、一か月前くらいでの日程調整となってしまう。	セミナー予定となる日程の調整を年間計画で立てておく	
	合格実績、合格率、全国水準との比較など行っているか。		民間資格のため、比較はしていないが合格率は100%である。	なし	なし	
	指導方法と合格実績との関連性を確認し、指導方法の改善を行っているか。		指導方法は、連携を取り改善している。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　蓑　田　のり子	

日本語学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか。	資格･免許取得率に関する目標設定はあるか。	－	該当しない（就職に係る資格・免許等なし			
	特別講座、セミナーの開講等、授業を補完する学習支援の取組はあるか。		該当しない			

	合格実績、合格率、全国水準との比較など行っているか。		該当しない			
	指導方法と合格実績との関連性を確認し、指導方法の改善を行っているか。		該当しない			
				記載責任者　職・氏名	学科長　　髙　野　徳　一	

ホスピタリティ・コンシェルジュ学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか。	資格･免許取得率に関する目標設定はあるか。	2	ある			
	特別講座、セミナーの開講等、授業を補完する学習支援の取組はあるか。		希望学生には、資格のための補講を行っている			
	合格実績、合格率、全国水準との比較など行っているか。		今年からなので、まだ行っていない		試験を受けた際には、比較を行う	
	指導方法と合格実績との関連性を確認し、指導方法の改善を行っているか。		今年初めて試験を受けるため、まだ行っていない			
				記載責任者　職・氏名	学科長　　川　上　　聖	

４－15　卒業生の社会的評価

4－15－1

柔道整復学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか。	卒業生の就職先の企業、施設・機関等を訪問するなどして卒後の実態を調査等で把握しているか。	1	実態調査を行っていない。	就職先での状況がわからない。	実態調査の実施を検討する。	
	卒業生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか。		把握できていない。	実態が把握できない。	学校への報告を義務づける事を通知する。	
				記載責任者　職・氏名	教員　半　田　　光	

スポーツ柔整学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか。	卒業生の就職先の企業、施設・機関等を訪問するなどして卒後の	2	全数把握は出来ていない。	遠方の企業への訪問が難しい。	企業説明会などの機会に情報交換を行う。	

	実態を調査等で把握しているか。					
	卒業生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか。		全数把握は出来ていない。	卒業生の動向を把握しづらい。	同窓会セミナーを活用して情報を得る。	
				記載責任者　職・氏名	学科長補佐　　村　岡　太　介	

鍼灸学科（昼間部）						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか。	卒業生の就職先の企業、施設・機関等を訪問するなどして卒後の実態を調査等で把握しているか。	2	卒後に関してはほとんど把握できていない。	卒業生がどこに就職したかなどを全て把握できていない。	卒業生の進路を把握する。	
	卒業生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか。		把握できていない。	卒業生がどこに就職したかなどを全て把握できていない。	卒業生の進路を把握する。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　堀之内　貴　一	

スポーツ鍼灸学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-15-1 卒業生の社会的評価を	卒業生の就職先の企業、施設・機関等を訪	2	先輩卒業生の院、学校附属院に対しては行	卒業生がどこに就職したかなどを全て把	卒業生の進路を把握する。	

把握しているか。	問するなどして卒後の実態を調査等で把握しているか。		えている。	握できていない。		
	卒業生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか。		把握できていない。	卒業生がどこに就職したかなどを全て把握できていない。	卒業生の進路を把握する。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　松　波　　賢	

理学療法学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか。	卒業生の就職先の企業、施設・機関等を訪問するなどして卒後の実態を調査等で把握しているか。	3	部分的に把握している	卒業生の実態把握	卒業生の就職先の管理を徹底し情報管理に努める	
	卒業生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか。		全国ないしは地方での学会発表などは把握している	卒業生の実態把握	卒業生との情報交換を行う	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　永　野　　忍	

作業療法学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-15-1	卒業生の就職先の企	2	把握していない。	完成年度を迎えてい	他校による就職先へ	

卒業生の社会的評価を把握しているか。	業、施設・機関等を訪問するなどして卒後の実態を調査等で把握しているか。			ないため、確認できないが、卒後の実態調査についての把握する方法や調査する手段の取り決めがない。	の訪問や卒後の実態調査を他校の取り組みの情報を収集し、学科内での協議を定期的に実施する。	
	卒業生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか。		把握していない。	完成年度を迎えていないため、確認できないが、卒業性の学会参加登録状況などまで管理している学校があるかについての情報収集している状況。	学科内での協議を定期的に実施し、卒後勉強会や同窓会など卒業生の業績を把握できるよう取り組み、卒後も本校とのつながりが継続する体制の検討をしていく。	
				記載責任者　職・氏名	学科長補佐　　中　山　　仁	

看護学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか。	卒業生の就職先の企業、施設・機関等を訪問するなどして卒後の実態を調査等で把握しているか。	3	3 月に卒業生を初めて出したため、今後実態調査等を実施したいと考えている。	卒業生に対する実態調査の方法	実態調査の方法を明確にし、実施する。	
	卒業生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握して		特になし	特になし	特になし	

	いるか。					
				記載責任者　職・氏名	学科長　　村　山　由起子	

歯科衛生学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか。	卒業生の就職先の企業、施設・機関等を訪問するなどして卒後の実態を調査等で把握しているか。	1	卒業生を輩出していない。	なし。	なし。	
	卒業生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか。		卒業生を輩出していない。	なし。	なし。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　藤　　幸　枝	

生涯スポーツトレーナー介護福祉士学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか。	卒業生の就職先の企業、施設・機関等を訪問するなどして卒後の実態を調査等で把握しているか。	3	始めて卒業生を輩出したので、今年度卒後の実態調査を予定している。	就職先に対する卒業生の就業状況調査等の定期的な実施が必要である。	実習先訪問等で得た情報の管理を検討する。特になし	
	卒業生のコンテスト参加における受賞状況、		特になし	特になし	特になし	

	研究業績等を把握しているか。					
				記載責任者　職・氏名	学科長　　井　上　由紀子	

アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか。	卒業生の就職先の企業、施設・機関等を訪問するなどして卒後の実態を調査等で把握しているか。	1	学科と関連する企業先の状況は、上司より状況確認している。	卒業生との情報共有の場がない。	本校のホームページを活用、SNS の活用を検討していきたい。	
	卒業生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか。		研究実績などは把握できていない。	卒業生との情報共有の場がない。	本校のホームページを活用、SNS の活用を検討していきたい。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　寺　本　敦　司	

整体セラピスト学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか。	卒業生の就職先の企業、施設・機関等を訪問するなどして卒後の実態を調査等で把握しているか。	3	全てではないが、訪問・個別に連絡を取り状況を把握している。	携帯電話の番号が変わるなど直接連絡が取れなくなるケースがあった。	定期的な連絡をし、状況の把握をする	

	卒業生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか。		把握していない	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　蓑　田　のり子	

日本語学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか。	卒業生の就職先の企業、施設・機関等を訪問するなどして卒後の実態を調査等で把握しているか。	1	行っていない	なし	なし	
	卒業生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか。		行っていない	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　髙　野　徳　一	

ホスピタリティ・コンシェルジュ学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか。	卒業生の就職先の企業、施設・機関等を訪問するなどして卒後の実態を調査等で把握し	－	まだ卒業生がいない			

	ているか。					
	卒業生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか。		現段階で卒業生がいない			
				記載責任者　職・氏名	学科長　　川　上　　聖	

基準５　学生支援【平均評価：２．９】

５－16　就職等進路

5-16-1

柔道整復学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか。	就職など進路支援のための組織体制を整備しているか。	4	キャリアサポートセンターの設置にて対応している。	なし。	なし。	キャリアサポートセンター 就職説明会資料 求人票
	担任教員と就職部門の連携など学内における連携体制を整備しているか。		随時連携が取られている。	なし。	なし。	
	学生の就職活動の状況		アンケートを実施し	全員が共有出来てい	会議等で情報共有で	

	を学内で共有しているか。		ているが、学内全体での共有が出来ていない。	ない。	きる場を設ける。	
	関連する業界等と就職に関する連携体制を構築しているか。		企業より、求人票を提出して頂き、学生が閲覧できる様にしている。又、求人票提出の際に、学科教員が対応し、企業の特色等を把握し、学生状況等の説明を行っている。	なし。	なし。	
	就職説明会等を開催しているか。		開催されている。	なし。	なし。	
	履歴書の書き方、面接の受け方など、具体的な就職指導に関するセミナー・講座を開講しているか。		セミナー・講座等は実施していない。	生徒に対して、個別指導が実施出来ていない。	3 年次に説明会を開催する等し、マナー・知識の向上に努める。	
	就職に関する個別の相談に適切に応じているか。		担任が応じている。	なし。	なし。	
				記載責任者　職・氏名	教員　　半　田　　光	

スポーツ柔整学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**

5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか。	就職など進路支援のための組織体制を整備しているか。	3	整備している。	なし	なし	キャリアサポートセンター 就職説明会資料 求人票
	担任教員と就職部門の連携など学内における連携体制を整備しているか。		整備している。	なし	なし	
	学生の就職活動の状況を学内で共有しているか。		全数は共有できていない。	就職活動の時期が決まっていない。	各クラスごとに集約し、1つにまとめる。	
	関連する業界等と就職に関する連携体制を構築しているか。		構築されている。	なし	なし	
	就職説明会等を開催しているか。		開催している。	なし	なし	
	履歴書の書き方、面接の受け方など、具体的な就職指導に関するセミナー・講座を開講しているか。		開催している。	なし	なし	
	就職に関する個別の相談に適切に応じているか。		応じている。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長補佐　　村　岡　太　介	

鍼灸学科（昼間部）						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか。	就職など進路支援のための組織体制を整備しているか。	2	学校としてキャリアサポートセンターを設置。	学生自身、国家試験合格が優先となり、就職に関しては動きが遅い。	早い段階で就職などの話をする。	
	担任教員と就職部門の連携など学内における連携体制を整備しているか。		学校としてキャリアサポートセンターを設置。	キャリアサポートセンターと教員との連携がうまく取れていない。	連携が取れるようなシステムの構築。	
	学生の就職活動の状況を学内で共有しているか。		うまく共有はできていない。	全員が共有できていない。	会議等で報告する場を設ける。	
	関連する業界等と就職に関する連携体制を構築しているか。		構築できていない。	求人票を受け取るのみになっている。	連携を取れるようなシステムを構築する。	
	就職説明会等を開催しているか。		年に 1 度開催している。	全員が参加していない。	回数を増やす。積極的に参加を促す。	
	履歴書の書き方、面接の受け方など、具体的な就職指導に関するセミナー・講座を開講しているか。		相談などがあれば対応しているのみとなっている。	就職指導に関する時間を取れていない。	就職セミナーのような時間を設ける。	
	就職に関する個別の相		応じている。	相談があった場合の	積極的に相談するよ	

	談に適切に応じているか。			み対応しているため、全員に対応をしているわけではない。	う斡旋する。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　堀之内　貴　一	

スポーツ鍼灸学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか。	就職など進路支援のための組織体制を整備しているか。	2	学校としてキャリアサポートセンターを設置。	学生自身、国家試験合格が優先となり、就職に関しては動きが遅い。	早い段階で就職などの話をする。	
	担任教員と就職部門の連携など学内における連携体制を整備しているか。		学校としてキャリアサポートセンターを設置。	キャリアサポートセンターと教員との連携がうまく取れていない。	連携が取れるようなシステムの構築。	
	学生の就職活動の状況を学内で共有しているか。		新年度に就職など学生の動態を把握するアンケートを実施	年一回にしか実施していない。	学期ごとなど年度途中で実施し把握する機会を増やす。	
	関連する業界等と就職に関する連携体制を構築しているか。		構築できていない。	求人票を受け取るのみになっている。	連携を取れるようなシステムを構築する。	
	就職説明会等を開催しているか。		年に 1 度開催している。	全員が参加していない。	回数を増やす。積極的に参加を促す。	
	履歴書の書き方、面接		相談などがあれば対	就職指導に関する時	就職セミナーのよう	

	の受け方など、具体的な就職指導に関するセミナー・講座を開講しているか。		応しているのみとなっている。	間を取れていない。	な時間を設ける。	
	就職に関する個別の相談に適切に応じているか。		応じている。	相談があった場合のみ対応しているため、全員に対応をしているわけではない。	積極的に相談するよう斡旋する。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　松　波　　賢	

理学療法学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか。	就職など進路支援のための組織体制を整備しているか。	3	面接練習、履歴書の確認などの支援を行っている	なし	なし	キャリアサポートセンター 就職説明会資料 求人票
	担任教員と就職部門の連携など学内における連携体制を整備しているか。		就職説明会の開催にて連携をしている	なし	なし	
	学生の就職活動の状況を学内で共有しているか。		学生の就職活動状況及び就職先について教務部へ情報提供を行っている	学内での情報共有	理学療法学科による書面による情報提供を行う	
	関連する業界等と就職に関する連携体制を構		就職説明会を開催している。また説明会に	なし	なし	

	築しているか。		参加できない企業については随時面談を行っている			
	就職説明会等を開催しているか。		開催している	なし	なし	
	履歴書の書き方、面接の受け方など、具体的な就職指導に関するセミナー・講座を開講しているか。		面接練習、履歴書の確認などの支援を行っている	なし	なし	
	就職に関する個別の相談に適切に応じているか。		求人票をもとに学生個別に面談を行っている	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　永　野　　忍	

作業療法学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか。	就職など進路支援のための組織体制を整備しているか。	3	対応が十分でなく、就職担当1名と担任が中心となって実施する活動内容は作成している。	完成年度を迎えていないため、確認できないが、3年次の学生が就職活動を実施して良いと判断する客観的指標がない。就職活動時期や就活と重なる学校行事について	学科内での協議を定期的に実施。	就職説明会資料 求人票

				の出欠の取り扱いなど未確認な内容が多い。		
	担任教員と就職部門の連携など学内における連携体制を整備しているか。		担任と就職先の担当者や、他教員も常に確認ができ、情報を共有できるデータあり、学内の連携体制は準備している。	完成年度を迎えていないため、確認できない。	学科内での協議を定期的に実施。	
	学生の就職活動の状況を学内で共有しているか。		就職活動報告シート作成。就職活動中の「見学」「試験」「結果待ち」「内定」「不採用」など項目を作成し、随時学生の状況が確認できる。	完成年度を迎えていないため、確認できない。	学科内での協議を定期的に実施。	
	関連する業界等と就職に関する連携体制を構築しているか。		就職に関係する学科の担当者は年度ごとに業務分掌で設置。	完成年度を迎えていないため、確認できないが、関連する業界が、本校の学科の就職担当者を把握できない。	学科内での協議を定期的に実施。	
	就職説明会等を開催しているか。		開催している。	完成年度を迎えていないため、PT 学科の企業説明会と同時開	学科内での協議を定期的に実施。	

				催することを計画。作業療法学科のみで企業説明会を開催するか未決定。		
	履歴書の書き方、面接の受け方など、具体的な就職指導に関するセミナー・講座を開講しているか。		平成 31 年総合臨床実習終了後に、就職マナー講習会を計画。	完成年度を迎えていないため、確認できないが、就職担当の教員によるマナー講習は計画しているが、時期や場所は未決定。外部講師をお招きする必要があるかの検討ができていない。	学科内での協議を定期的に実施。	
	就職に関する個別の相談に適切に応じているか。		担任を主として、1 年次ごとに希望分野の確認を実施。また保護者同席の面談も計画され、2 年後期の三者面談などで決定していく計画立案あり。	完成年度を迎えていないため、確認できないが、就職をテーマとした学生面談を本格的に行っていない。	学科内での協議を定期的に実施。	
				記載責任者　職・氏名	学科長補佐　　中　山　　仁	

看護学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
5-16-1	就職など進路支援のた	3	就職担当教員を決め、	特になし	特になし	キャリアサポートセ

就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか。	めの組織体制を整備しているか。		組織体制を整備している。			ンター 就職説明会資料 求人票
	担任教員と就職部門の連携など学内における連携体制を整備しているか。		ゼミ担当教員と就職担当教員との連携を図っている。	特になし	特になし	
	学生の就職活動の状況を学内で共有しているか。		学科内で学科会議等を活用し、紙面で報告している。	特になし	特になし	
	関連する業界等と就職に関する連携体制を構築しているか。		関連する業界等と就職に関する連携体制を構築している。	学生への情報提供の在り方	情報提供をできるだけ早くから実施する。また、関連する病院等より説明をしていただくなどのご協力を頂く。	
	就職説明会等を開催しているか。		毎年、本学科で開催している。	特になし	特になし	
	履歴書の書き方、面接の受け方など、具体的な就職指導に関するセミナー・講座を開講しているか。		業者による講座を開講している。	学生の満足度	学生から聞き取り調査を行い、必要なセミナー、講座を実施する。	
	就職に関する個別の相談に適切に応じているか。		応じている。	特になし	特になし	

	記載責任者　職・氏名	学科長　　村　山　由起子

歯科衛生学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか。	就職など進路支援のための組織体制を整備しているか。	1	明確でない。不十分。	連携体制の明確化。	組織体制を明文化する。	キャリアサポートセンター 就職説明会資料 求人票
	担任教員と就職部門の連携など学内における連携体制を整備しているか。		不十分。	担任教員が就職について知る必要がある。	学科内で討議する。	
	学生の就職活動の状況を学内で共有しているか。		不十分。	今年初めて就職者を輩出するため就職活動について、計画ができていない。	計画を立てて行う。	
	関連する業界等と就職に関する連携体制を構築しているか。		不明。	なし。	なし。	
	就職説明会等を開催しているか。		今年実施する予定。	なし。	なし。	
	履歴書の書き方、面接の受け方など、具体的な就職指導に関するセミナー・講座を開講しているか。		教員が対応する予定である。また。授業内でも取り組んでいる。	授業内容の把握。教員が積極的に行う必要がある。	学科内で担当を決めて行う。	

	就職に関する個別の相談に適切に応じているか。		教員が対応する予定である。	早めに取り組む必要がある。	学科内で計画を立てる。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　藤　　幸　枝	

生涯スポーツトレーナー介護福祉士学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか。	就職など進路支援のための組織体制を整備しているか。	4	就職活動支援の専門部署としてキャリアサポートセンターがあるが留学生については学科主導で行っている。	就職試験や保証人について個別の調整が必要。	訪問や電話連絡により連携できる施設等とのさらなる関係強化を図る。	キャリアサポートセンター 就職説明会資料 求人票
	担任教員と就職部門の連携など学内における連携体制を整備しているか。		学科の就職担当と担任が共同で個人面談や施設見学などの支援にあたるが、キャリアサポートセンタースタッフとの日常的な連携もできている。	連携できる施設等の拡大をする必要がある。	学生の状況、選考方法の変化への迅速な対応へ向けて連携を強化する。	
	学生の就職活動の状況を学内で共有しているか。		学生の就職活動の状況は、学科教員全体とキャリアサポートセンターで共有されている。	留学生への対応が課題である。	留学生の就職活動を検討して教員、スタッフのスキルアップを図る。	

	関連する業界等と就職に関する連携体制を構築しているか。		社会福祉協議会や介護福祉士会の主催する就職説明会を取り入れている。	特になし	特になし	
	就職説明会等を開催しているか。		キャリアサポートセンターにて就職説明会等の就職関連セミナーを関連する業界等と連携して開催している。	関係するスタッフのレベルアップが課題である。	学科教員は研修への参加を今後も継続する。	
	履歴書の書き方、面接の受け方など、具体的な就職指導に関するセミナー・講座を開講しているか。		留学生の多い本学科では、1対1での指導が必要であるために学科教員が対応している。	学生の状況、選考方法の対応変化への対応が必要。	求人時期の早期化等に対応する特別講座等を検討する。	
	就職に関する個別の相談に適切に応じているか。		就職に関する学生の個別相談は、学科において計画的に、また必要に応じて随時実施し、学生の状況を把握しながら適切に応じている。	さらに相談しやすい体制を整える。	教員スタッフのレベルアップにより充実を図り、さらに相談しやすい体制を整える。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　井　上　由紀子	

アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか。	就職など進路支援のための組織体制を整備しているか。	3	キャリアサポートセンターが設置されている。	特になし。	特になし。	キャリアサポートセンター 就職説明会資料 求人票
	担任教員と就職部門の連携など学内における連携体制を整備しているか。		連携体制は整備されている。	特になし。	特なし。	
	学生の就職活動の状況を学内で共有しているか。		共有されている。	特になし。	特になし。	
	関連する業界等と就職に関する連携体制を構築しているか。		就職セミナーを共催している。	数多い業界企業への参加を依頼していく。	学科より、参加依頼の企業リストを提出する。	
	就職説明会等を開催しているか。		開催されている。	特になし。	特なし。	
	履歴書の書き方、面接の受け方など、具体的な就職指導に関するセミナー・講座を開講しているか。		個別対応している。	特になし。	特になし。	
	就職に関する個別の相談に適切に応じているか。		就職希望者には担当者を配置している。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　寺　本　敦　司	

整体セラピスト学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか。	就職など進路支援のための組織体制を整備しているか。	3	キャリアサポートを活用し、迅速な対応であった	なし	なし	キャリアサポートセンター 就職説明会資料 求人票
	担任教員と就職部門の連携など学内における連携体制を整備しているか。		キャリアサポートを活用した、迅速な対応であった	なし	なし	
	学生の就職活動の状況を学内で共有しているか。		日報にて共有している	なし	なし	
	関連する業界等と就職に関する連携体制を構築しているか。		構築している	近隣の多くの求人票は２月・３月のため、就職活動に遅れが出る	企業説明会の開催時期を早めるなど、キャリアサポートより近隣の企業にも働きかけてもらう	
	就職説明会等を開催しているか。		９月に開催された	遠方が多く、さらに整体の求人が少なかったことで、就職できないと勘違いしてしまう学生がいた	企業説明会の開催時期を早めるなど、キャリアサポートより近隣の企業にも働きかけてもらう	
	履歴書の書き方、面接の受け方など、具体的		個別に対応した	なし	なし	

	な就職指導に関するセミナー・講座を開講しているか。					
	就職に関する個別の相談に適切に応じているか。		対応している	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　蓑　田　のり子	

日本語学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか。	就職など進路支援のための組織体制を整備しているか。	1	進学、就職共に教員が中心しており、組織体制としてはできていない	組織としてのサポート体制がない	サポートチームができる	
	担任教員と就職部門の連携など学内における連携体制を整備しているか。		就職部門が特に設けられていない。ビザ関係企業の紹介を除いてサポートは教員がしている	組織としてのサポート体制がない	サポートチームができる	
	学生の就職活動の状況を学内で共有しているか。		担任に情報が集中している	組織としてのサポート体制がない	サポートチームができる	
	関連する業界等と就職に関する連携体制を構築しているか。		連絡を取っている担当者がいる。学科としては特にしていな	組織としてのサポート体制がない	サポートチームができる	

	就職説明会等を開催しているか。		している	なし	なし	
	履歴書の書き方、面接の受け方など、具体的な就職指導に関するセミナー・講座を開講しているか。		基本的には担任が授業の中、授業外で全体、個別と対応して、指導している	組織としてのサポート体制がない	サポートチームができる	
	就職に関する個別の相談に適切に応じているか。		担任がその都度している	組織としてのサポート体制がない	サポートチームができる	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　髙　野　徳　一	

ホスピタリティ・コンシェルジュ学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか。	就職など進路支援のための組織体制を整備しているか。	1	していない。学科教員対応している			キャリアサポートセンター 就職説明会資料 求人票
	担任教員と就職部門の連携など学内における連携体制を整備しているか。		学科の教員が情報を集めている。就職部門はない	学科の教員だけでは、限界がある	専門部門の設置	
	学生の就職活動の状況を学内で共有しているか。		している			
	関連する業界等と就職		実習先などに求人が			

	に関する連携体制を構築しているか。		あるかなど確認している			
	就職説明会等を開催しているか。		学内ではなく、学外の説明会に参加している	学生があまり参加していない	説明会の重要性を説く	
	履歴書の書き方、面接の受け方など、具体的な就職指導に関するセミナー・講座を開講しているか。		授業内で実施	履歴書の重要さなどがわかっていない	履歴書の重要性についての教育の実施	
	就職に関する個別の相談に適切に応じているか。		応じている			
				記載責任者　職・氏名	学科長　　川　上　　聖	

５－17　中途退学への対応

5-17-1

柔道整復学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-17-1 退学率の低減が図られているか。	中途退学の要因、傾向、各学年における退学者数等を把握してい	4	要因、傾向、退学者数に関して、報告書により把握され、学課内で	なし。	なし。	面談報告書 カウンセリング集計

	るか。		の回覧も行われている。			
	指導経過記録を適切に保存しているか。		適切に保存されている。	なし。	なし。	
	中途退学の低減に向けた学内における連携体制はあるか。		随時面談を行い、また必要な際には、学校長、学科長、他教員同席の元、面談を実施している。	なし。	なし。	
	退学に結びつきやすい、心理面、学習面での特別指導体制はあるか。		心理カウンセラーによる相談対応が行われている。また、学習面では担任を中心に、成績状況応じて、個別に指導を行っている。	心理面で問題を抱えている生徒への対応方法	心理カウンセラーとの連携を図る。	
				記載責任者　職・氏名	教員　　半　田　　光	

スポーツ柔整学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
5-17-1 退学率の低減が図られているか。	中途退学の要因、傾向、各学年における退学者数等を把握しているか。	4	把握している。	なし	なし	面談報告書 カウンセリング集計
	指導経過記録を適切に保存しているか。		生徒ごとに保存している。	なし	なし	

	中途退学の低減に向けた学内における連携体制はあるか。		連携した体制がある。	なし	なし	
	退学に結びつきやすい、心理面、学習面での特別指導体制はあるか。		カウンセリングの専門員を配置するなど充実している。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長補佐　　村　岡　太　介	

鍼灸学科（昼間部）						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-17-1 退学率の低減が図られているか。	中途退学の要因、傾向、各学年における退学者数等を把握しているか。	3	把握している。	なし	なし	面談記録
	指導経過記録を適切に保存しているか。		指導経過を作成し、面談ごとに記録するようにしている。	なし	なし	
	中途退学の低減に向けた学内における連携体制はあるか。		担任制を用い、相談しやすい環境を整え、学校としてカウンセラーにも来ていただいている。	なし	なし	
	退学に結びつきやすい、心理面、学習面で		何かあれば担任を通し、配慮可能なことは	本人が言い出すまで気づかないことが多	担任だけではなく、教科担当者からも積極	

	の特別指導体制はあるか。		配慮している。	い。	的に話を聞くようにする	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　堀之内　貴　一	

スポーツ鍼灸学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-17-1 退学率の低減が図られているか。	中途退学の要因、傾向、各学年における退学者数等を把握しているか。	3	把握している。	なし	なし	
	指導経過記録を適切に保存しているか。		指導経過を作成し、面談ごとに記録するようにしている。	なし	なし	
	中途退学の低減に向けた学内における連携体制はあるか。		担任制を用い、相談しやすい環境を整え、学校としてカウンセラーにも来ていただいている。	カウンセラーが在住していることの啓蒙活動を行う	カウンセラーが在住していることの啓蒙活動を行う	
	退学に結びつきやすい、心理面、学習面での特別指導体制はあるか。		何かあれば担任を通し、配慮可能なことは配慮している。	成績不良に関してはその都度面談を行っているが、事前の把握が必要	担任だけではなく、教科担当者からも積極的に話を聞くようにする	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　松　波　　賢	

理学療法学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-17-1 退学率の低減が図られているか。	中途退学の要因、傾向、各学年における退学者数等を把握しているか。	3	把握している	なし	なし	面談報告書 カウンセリング集計
	指導経過記録を適切に保存しているか。		指導事由が生じた時点で書面作成し、保存している	なし	なし	
	中途退学の低減に向けた学内における連携体制はあるか。		試験実施後等、学生全員において担任による面談を行っている	事由発生前の面談の実施	年間計画への面談時期の設定	
	退学に結びつきやすい、心理面、学習面での特別指導体制はあるか。		担任やスクールカウンセラーによる面談を行っている	担任とスクールカウンセラーの連携	担任とスクールカウンセラーの情報共有	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　永　野　　忍	

作業療法学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-17-1 退学率の低減が図られているか。	中途退学の要因、傾向、各学年における退学者数等を把握しているか。	3	教育カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーを、学科教員が常に意識し、1年次教育と2年次の教育内容の他社による評価や	完成年度を迎えていないため、確認できないが、現在中途退学者なし。中途退学を予測できた学生あり。 実習の影響による学	学科内での協議を定期的に実施。	

			修正指導など体制あり。学校本部からの教員・授業評価の内容から、各々次年度に向けた教育内容の再修正を実施。	生の心理的反応のデータなし。		
	指導経過記録を適切に保存しているか。		学生ごとの細やかな学生生活状況を記録するファイル作成。遅刻や欠席の内容なども含め、経過を記録し、担任が管理している。	完成年度を迎えていないため、確認できないが、担任が管理していることで、情報共有化ができないことあり。また学生個人の情報にもなるため、情報共有するべきか判断に悩むことあり。	学科内での協議を定期的に実施し、	
	中途退学の低減に向けた学内における連携体制はあるか。		各々教員での授業状況について、随時担任へ報告する体制はある。	完成年度を迎えていないため、確認できないが、連携が不十分に感じられる課題あり。教員の判断によって行われる学生への面談の把握ができない事。	学科内での協議を定期的に実施。	
	退学に結びつきやすい、心理面、学習面で		学生からの相談体制は、担任を中心として	完成年度を迎えていないため、確認できな	学科内での協議を定期的に実施。H30 年度	

	の特別指導体制はあるか。		実施しているが、必ず教員は2名以上で相談対応することや、記録を残すことを指導している。心理面および学習面に対しては、担任以外誰でも相談に乗ることを学生に周知できるよう、入学時のオリエンテーション時だけでなく、随時呼び掛けている。	いが、相談窓口の掲示ができていない。 心理面のフォローについて、できる教員が限られている。	6月より、女性教員補充あり。	
				記載責任者　職・氏名	学科長補佐　　中　山　　仁	

看護学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-17-1 退学率の低減が図られているか。	中途退学の要因、傾向、各学年における退学者数等を把握しているか。	3	把握している。	中途退学の要因である成績や本来の希望入学ではない学生に対する対応	定期的な面接の実施、学習指導の充実を図る。	面談報告書 カウンセリング集計
	指導経過記録を適切に保存しているか。		指導内容については、記録しているが、不十分である。	決まった記録様式がない。	記録様式の作成と報告会の実施。	
	中途退学の低減に向けた学内における連携体		教務部、学生部等との連携を取っている。	定期的な意見交換の場を共有化する必要	教務部、学生部との連携を深めるため、7定	

	制はあるか。			がある。	期的な会議の実施。	
	退学に結びつきやすい、心理面、学習面での特別指導体制はあるか。		定期的に面談を実施している。	早期に学習支援をする必要がある。	面談の時期・回数・方法など、計画的に実施する。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　村　山　由起子	

歯科衛生学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-17-1 退学率の低減が図られているか。	中途退学の要因、傾向、各学年における退学者数等を把握しているか。	3	把握している。	なし。	なし。	面談報告書 カウンセリング集計
	指導経過記録を適切に保存しているか。		書面作成している。	なし。	なし。	
	中途退学の低減に向けた学内における連携体制はあるか。		担任による面談を行っている。	面談後の情報共有を行う必要がある。	情報共有できる場を設ける。	
	退学に結びつきやすい、心理面、学習面での特別指導体制はあるか。		カウンセラーや担任以外による面談。	定期的に行う。	学内で共有する。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　藤　　幸　枝	

生涯スポーツトレーナー介護福祉士学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-17-1 退学率の低減が図られているか。	中途退学の要因、傾向、各学年における退学者数等を把握しているか。	4	退学者の個別の状況と退学者数は記録として残している。	今後も退学の要因、傾向の把握に引き続き努める。	現状分析のデータを蓄積し、引き続き指導に反映させる。	面談報告書 カウンセリング集計
	指導経過記録を適切に保存しているか。		指導経過記録は適切に記録し保管している。	特になし	特になし	
	中途退学の低減に向けた学内における連携体制はあるか。		学科において中途退学者は極めて少ないが、定期的に個別面談を実施し学科会議で情報を共有し、取り組みを検討している。	退学の兆候は学生の周辺からの情報で把握されることも多いので、学科として退学を防ぐ方法を検討することにつなげる。	入学時オリエンテーション、学生相談機能等による学生の学習及び学校生活に対するモチベーション向上等によって退学予防活動につなげる。	
	退学に結びつきやすい、心理面、学習面での特別指導体制はあるか。		学生相談コーナーを設け、専門の相談員を配置している。学習面では、常勤職員を中心に、随時補修を実施している。	特になし	特になし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　井　上　由紀子	

アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料

5-17-1 退学率の低減が図られているか。	中途退学の要因、傾向、各学年における退学者数等を把握しているか。	3	退学者数の把握はしている。	学生の悩みを早期把握が必要である。	個人面談の早期実施を検討している。	面談報告書 カウンセリング集計
	指導経過記録を適切に保存しているか。		学生指導対応表を作成している。	速やかな情報共有システムの確立。	情報共有する場の設定が必要である。	
	中途退学の低減に向けた学内における連携体制はあるか。		他学科との併修者へのサポートがない。	該当学科との連携。	迅速な情報共有、学生対応が必要である。	
	退学に結びつきやすい、心理面、学習面での特別指導体制はあるか。		年2回、学生に対し個人面談を実施している。	心理面での対応が不十分である。	心理カウンセラーのカウンセリングが必要である。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　寺　本　敦　司	

整体セラピスト学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-17-1 退学率の低減が図られているか。	中途退学の要因、傾向、各学年における退学者数等を把握しているか。	4	遅刻者への対応に心掛けた。 退学者なし	なし	なし	面談報告書 カウンセリング集計
	指導経過記録を適切に保存しているか。		日報にて報告	なし	なし	
	中途退学の低減に向けた学内における連携体		連携体制はある	なし	なし	

	制はあるか。					
	退学に結びつきやすい、心理面、学習面での特別指導体制はあるか。		年２回の定期個別面談以外に面談を行っている。	併学者の場合の、情報共有	併学者の場合は、併学先の担任と情報共有し連携を取る	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　蓑　田　のり子	

日本語学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-17-1 退学率の低減が図られているか。	中途退学の要因、傾向、各学年における退学者数等を把握しているか。	3	把握している	なし	なし	
	指導経過記録を適切に保存しているか。		個別面談の記録等を保存している	なし	なし	
	中途退学の低減に向けた学内における連携体制はあるか。		相談シートによる問題の共有化	なし	なし	
	退学に結びつきやすい、心理面、学習面での特別指導体制はあるか。		特別な体制はない	心理面の状況の把握	面談、声掛けを徹底して、様子を観察する	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　高　野　徳　一	

ホスピタリティ・コンシェルジュ学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-17-1 退学率の低減が図られているか。	中途退学の要因、傾向、各学年における退学者数等を把握しているか。	3	把握している	辞めるのか、辞めないのかはっきりしない学生がいる	学生に再度説明する	面談報告書 カウンセリング集計
	指導経過記録を適切に保存しているか。		面談を行い、それを管理している			
	中途退学の低減に向けた学内における連携体制はあるか。		海外事業部と連携し、情報を共有している			
	退学に結びつきやすい、心理面、学習面での特別指導体制はあるか。		定期的に面談をしている			
				記載責任者　職・氏名	学科長　　川　上　　聖	

５－18　学生相談

５－18－１

柔道整復学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-18-1 学生相談に関する体制	専任カウンセラーの配置等相談に関する組織	4	専任カウンセラーを設置している。	なし。	なし。	カウンセリング集計

を整備しているか。	体制を整備しているか。					
	相談室の設置など相談に関する環境整備を行っているか。		行っている。	なし。	なし。	
	学生に対して、相談室の利用に関する案内を行っているか。		文書掲示と口頭にて学生に告知している。	なし。	なし。	
	相談記録を適切に保存しているか。		プライバシー保護に留意し、適切に行っている。	なし。	なし。	
	関連医療機関等との連携はあるか。		必要と認められる場合は紹介している。	なし。	なし。	
				記載責任者　職・氏名	教員　　半　田　　光	

スポーツ柔整学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか。	専任カウンセラーの配置等相談に関する組織体制を整備しているか。	4	整備している。	なし	なし	カウンセリング集計
	相談室の設置など相談に関する環境整備を行っているか。		環境整備されている。	なし	なし	
	学生に対して、相談室		行っている。	なし	なし	

	の利用に関する案内を行っているか。					
	相談記録を適切に保存しているか。		保存している。	なし	なし	
	関連医療機関等との連携はあるか。		しっかり連携している。	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長補佐　　村　岡　太　介	

鍼灸学科（昼間部）						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか。	専任カウンセラーの配置等相談に関する組織体制を整備しているか。	2	学校としてカウンセラーに来ていただいている。	常在しているわけではないため、すぐに対応できない場合がある。	カウンセラーに常在して頂く。	
	相談室の設置など相談に関する環境整備を行っているか。		学校としてカウンセラーに来ていただいている。	常在しているわけではないため、すぐに対応できない場合がある。	カウンセラーに常在して頂く。	
	学生に対して、相談室の利用に関する案内を行っているか。		掲示を行っている。	掲示にのみなっていることが多く、学生が周知していない。	案内など	
	相談記録を適切に保存しているか。		学科全体で利用者数を把握。	内容までは守秘義務もありわからない。	緊急な案件に関しては、報告してもらうようにカウンセラーに指示	

	関連医療機関等との連携はあるか。		連携していない。	なし	連携できるよう計画する。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　堀之内　貴　一	

スポーツ鍼灸学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか。	専任カウンセラーの配置等相談に関する組織体制を整備しているか。	2	学校としてカウンセラーに来ていただいている。	常在しているわけではないため、すぐに対応できない場合がある。	カウンセラーに常在して頂く。	
	相談室の設置など相談に関する環境整備を行っているか。		学校としてカウンセラーに来ていただいている。	常在しているわけではないため、すぐに対応できない場合がある。	カウンセラーに常在して頂く。	
	学生に対して、相談室の利用に関する案内を行っているか。		掲示を行っている。	掲示にのみなっていることが多く、学生が周知していない。	案内など	
	相談記録を適切に保存しているか。		学科全体で利用者数を把握。	内容までは守秘義務もありわからない。	緊急な案件に関しては、報告してもらうようにカウンセラーに指示	
	関連医療機関等との連携はあるか。		連携していない。	なし	連携できるよう計画する。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　松　波　　賢	

理学療法学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか。	専任カウンセラーの配置等相談に関する組織体制を整備しているか。	3	学校専任でのカウンセラーの配置を行っている	なし	なし	カウンセリング集計
	相談室の設置など相談に関する環境整備を行っているか。		個室による面談を行っている	なし	なし	
	学生に対して、相談室の利用に関する案内を行っているか。		学内掲示を行っている。また学科担任からの案内も行っている	なし	なし	
	相談記録を適切に保存しているか。		面談記録は学科外にて保管している	記録内容の把握	担任とスクールカウンセラーの情報共有	
	関連医療機関等との連携はあるか。		学生の主治医の診断書をもって情報共有を行っている	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　永　野　　忍	

作業療法学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか。	専任カウンセラーの配置等相談に関する組織体制を整備しているか。	2	精神・心理の専門分野の教員が 1 名。H30 年度 6 月より 2 名配置。	完成年度を迎えていないため、確認できないが、相談を受けた後の本部への報告・相談	学科内での協議を定期的に実施。	

				など、組織的な対応は未経験、確立していない。		
	相談室の設置など相談に関する環境整備を行っているか。		保健室。図書室。クラス教室。他教室。	完成年度を迎えていないため、確認できないが、個人を守るように隔離した環境で行うことや、2名体制で実施する体制を徹底することが必要。	学科内での協議を定期的に実施。	
	学生に対して、相談室の利用に関する案内を行っているか。		なし。	完成年度を迎えていないため、確認できないが	学科内での協議を定期的に実施。	
	相談記録を適切に保存しているか。		学生ごとのファイルで管理。	完成年度を迎えていないため、確認できないが、現在までは、詳細に記録を実施できている。学生個人ファイルも鍵付き棚で管理保管実施。	学科内での協議を定期的に実施。担任への管理指導を徹底する。	
	関連医療機関等との連携はあるか。		精神・心理の専門分野の教員が1名。H30年度6月より2名配置。実習前の心理カウンセリングを対象者全	完成年度を迎えていないため、確認できないが、相談を受けた後の本部への報告・相談など、組織的な対応は	学科内での協議を定期的に実施。	

			員へ計画。	未経験、確立していない。		
				記載責任者　職・氏名	学科長補佐　　中　山　　仁	

看護学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか。	専任カウンセラーの配置等相談に関する組織体制を整備しているか。	3	している（スクールカウンセラー）	現状維持	現状維持	カウンセリング集計
	相談室の設置など相談に関する環境整備を行っているか。		行っている	現状維持	現状維持	
	学生に対して、相談室の利用に関する案内を行っているか。		行っている	現状維持	現状維持	
	相談記録を適切に保存しているか。		保存している	現状維持	現状維持	
	関連医療機関等との連携はあるか。		ある	必要な情報の共有化	必要時には、関連クリニックへの受診を進める。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　村　山　由起子	

歯科衛生学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料

5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか。	専任カウンセラーの配置等相談に関する組織体制を整備しているか。	2	専任カウンセラーを配置している。	常在していないため、緊急の対応ができない。	常在のカウンセラーが必要。	カウンセリング集計
	相談室の設置など相談に関する環境整備を行っているか。		なし。	相談室の確保が必要。		
	学生に対して、相談室の利用に関する案内を行っているか。		相談室がないので他の部屋で対応している。	相談室の設置。		
	相談記録を適切に保存しているか。		している。	なし。	なし。	
	関連医療機関等との連携はあるか。		連携していない。	なし。	なし。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　藤　　幸　枝	

生涯スポーツトレーナー介護福祉士学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか。	専任カウンセラーの配置等相談に関する組織体制を整備しているか。	4	学生相談コーナーを設け、専門のカウンセラーを配置しているが、留学生の相談は学科で対応している。	有効に活用できるための方法を検討する必要がある。	メールなどを活用して利用促進をする。予約などの情報提供発信をする。	カウンセリング集計
	相談室の設置など相談に関する環境整備を行		学生相談室を設置している。	特になし	特になし	

	っているか。					
	学生に対して、相談室の利用に関する案内を行っているか。		学生に対する相談室の利用に関する案内を入学時のオリエンテーション、学生生活ガイドによって行っている。	特になし	特になし	
	相談記録を適切に保存しているか。		相談記録は適切に保管されており、個人記録としてファイリングしている。	特になし	特になし	
	関連医療機関等との連携はあるか。		学生の相談内容によっては医療機関との連携がある。	留学生は医療機関利用時に教員が同行する必要がある。	特になし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　井　上　由紀子	

アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか。	専任カウンセラーの配置等相談に関する組織体制を整備しているか。	3	専任カウンセラーを配置している。	特になし。	特になし。	カウンセリング集計
	相談室の設置など相談に関する環境整備を行っているか。		整備されている。	特になし。	特になし。	

	学生に対して、相談室の利用に関する案内を行っているか。		学内にあんないが掲示されている。	特になし。	特になし。	
	相談記録を適切に保存しているか。		相談記録は、記録を残している。	特になし。	特になし。	
	関連医療機関等との連携はあるか。		特になし。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　寺　本　敦　司	

整体セラピスト学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか。	専任カウンセラーの配置等相談に関する組織体制を整備しているか。	3	整備されている	予約を取るのが困難な場合がある	学生を観察し、早めに声掛けカウンセリングの予約を取る	カウンセリング集計
	相談室の設置など相談に関する環境整備を行っているか。		整備されている	急な個別相談の際に、部屋の確保ができない場合がある	学生を観察し、早めの声掛けをし相談室の予約を取る	
	学生に対して、相談室の利用に関する案内を行っているか。		行っている	急な個別相談の際に、部屋の確保ができない場合がある	学生を観察し、早めの声掛けをし相談室の予約を取る	
	相談記録を適切に保存しているか。		個別面談の記録は保存している	なし	なし	
	関連医療機関等との連携はあるか。		ある	なし	なし	

	記載責任者　職・氏名	学科長　　蓑　田　のり子

日本語学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか。	専任カウンセラーの配置等相談に関する組織体制を整備しているか。	2	整備されていない。主にその役割は担任がしている	授業や他の業務、対象以外の学生の対応もあり教員だけでは限界がある	他の教員との連携	
	相談室の設置など相談に関する環境整備を行っているか。		していない			
	学生に対して、相談室の利用に関する案内を行っているか。		該当しない			
	相談記録を適切に保存しているか。		保存しているときとできていない時がある	保存しているときとしていない時がある	きちんと残して保存する	
	関連医療機関等との連携はあるか。		該当しない			
				記載責任者　職・氏名	学科長　　髙　野　徳　一	

ホスピタリティ・コンシェルジュ学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-18-1 学生相談に関する体制	専任カウンセラーの配置等相談に関する組織	1	当学科がある校舎にはカウンセラーはい	日本語が達者ではないので、うまく理解で	日ごろからコミュニケーションを図り、意	カウンセリング集計

を整備しているか。	体制を整備しているか。		ないが、本校にはいる	きるかどうか	思疎通を図る	
	相談室の設置など相談に関する環境整備を行っているか。		行っていない			
	学生に対して、相談室の利用に関する案内を行っているか。		相談がある際は、いつでもするように案内している	女子学生の話を聞くことはなかなか難しい	女性の先生に対応してもらう	
	相談記録を適切に保存しているか。		相談があった際には保存している			
	関連医療機関等との連携はあるか。		ない			
				記載責任者　職・氏名	学科長　　川　上　　聖	

5-18-2

生涯スポーツトレーナー介護福祉士学科（留学生が在学する学科のみ）						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか。	留学生の相談等に対応する担当の教職員を配置しているか。	4	学科教員と海外事業部で対応している。	相談について報連相の徹底が課題である。	文章化して相互に保管する。	
	留学生に対して在籍管理等生活指導を適切に行っているか。		学科を中心に海外事業部と連携して、在籍管理や生活指導を適	学生の増加に伴い体制の整備が必要である。	介護福祉士が新たな在留資格となったこともあり、日本語学校	

			切に行っている。		との連携も検討する必要がある。	
	留学生に対し、就職・進学等卒業後の進路に関する指導・支援を適切に行っているか。		入学後から介護福祉士への意識づけをして学習へのモチベーションにしている。就職については学生の希望に沿って選択できるように支援している。	ビザや就職など難しいケースが多く、対応に時間がかかることがある。日常的な状況の把握を適切に実施する必要がある。	入国管理局、相談機関の活用に加えて、研修会への参加を促進する。	
	留学生に関する指導記録を適切に保存しているか。		指導記録は適切に保存されており、必要に応じて報告されている。	特になし	特になし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　井　上　由紀子	

日本語学科（留学生が在学する学科のみ）

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか。	留学生の相談等に対応する担当の教職員を配置しているか。	2	担任がしている	記録に残す 担任が対応できない時がある	教員で補い合い、対処する	
	留学生に対して在籍管理等生活指導を適切に行っているか。		在籍管理、生活指導は行っている 教員以外の職員に移行されつつある	学生によって、寮のルールを守れていない、指導が徹底できていない	生活指導の人を置く	

	留学生に対し、就職・進学等卒業後の進路に関する指導・支援を適切に行っているか。		行っている	就職に関しては、組織としてサポート体制ができていない	就職サポートチームができる	
	留学生に関する指導記録を適切に保存しているか。		報告シート等で保存している			
				記載責任者　職・氏名	学科長　　髙　野　徳　一	

ホスピタリティ・コンシェルジュ学科（留学生が在学する学科のみ）						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか。	留学生の相談等に対応する担当の教職員を配置しているか。	2	している。 学科の教員だけでなく、海外事業部にも対応していただいている			
	留学生に対して在籍管理等生活指導を適切に行っているか。		行っている。 家庭訪問などを行った			
	留学生に対し、就職・進学等卒業後の進路に関する指導・支援を適切に行っているか。		行っている	求人情報、履歴書の書き方があまりわかっていない	授業で何度も説明する	
	留学生に関する指導記録を適切に保存してい		している			

	るか。					
				記載責任者　職・氏名	学科長　　川　上　　聖	

５－19　学生生活

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか。	学校独自の奨学金制度を整備しているか。	4	昨年度原級留置となった 21 名の学生が学校法人国際学園奨学金制度を利用して 19 名が無事卒業する事ができた。本年度も 4 名が申請している。	現行制度を引続き運営していく。	特になし。	学生募集要項 学校ホームページ
	学費の減免、分割納付制度を整備しているか。		本年度、学力特待入学試験を実地した。約 20 名の学生が特典対象となった。	特になし	特になし。	
	大規模災害発生時および家計急変時に対応する支援制度を整備しているか。		特に設けていない。	なし	なし	

	全ての経済的支援制度の利用について学生・保護者に情報提供しているか。		提供している。	特になし。	特になし。	
	公的支援制度も含めた経済的支援制度に関する相談に適切に対応しているか。		学生または保護者からの問合せまたは申出に対して対応している。	特になし。	特になし。	
	全ての経済的支援制度の利用について実績を把握しているか。		把握している。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	学生部長　　大　森　廣　喜	

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか。	学校保健計画を定めているか。	3	定めていない。	学校保健計画を定める必要がある。	学校保健計画の策定	保健室利用記録 学籍簿 健康診断記録
	学校医を選任しているか。		選任している。	特になし。	特になし。	
	保健室を整備し専門職員を配置しているか。		専門職員を配置していないが看護学科教員が対応に当たっている。	特になし。	引き続き看護教員が対応する。	
	定期健康診断を実施して記録を保存しているか。		年1回の定期健康診断を実施し、記録を保存している。	特になし。	特になし。	

	有所見者の再健診について適切に対応しているか。		再健診受診の促しおよび結果報告を受けている。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	学生部長　　大　森　廣　喜	

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-19-3 学生寮の設置などの生活環境支援体制を整備しているか。	遠隔地から就学する学生のための寮を整備しているか。	4	㈱共立メンテナンスと提携して２ヶ所学生寮を提供している。	希望者は全員入寮している。	特になし	学校ホームページ記載
	学生寮の管理体制、委託業務、生活指導体制等は明確になっているか。		業者と緊密な連携を図っている。	特になし。	特になし。	
	学生寮の数､利用人員、充足状況は明確になっているか。		明確になっている。	入寮数は充足している	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	学生部長　　大　森　廣　喜	

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか。	クラブ活動等の団体の活動状況を把握しているか。	4	把握している。	特になし。	特になし。	
	大会への引率、補助金		引率および補助金交	特になし。	引き続き支援を行う。	

	の交付など具体的な支援を行っているか。		付を行っている。			
	大会成績など実績を把握しているか。		把握している。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	教務部長　　味　村　吉　浩	

５－19　学生生活

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
経済的支援体制として、学費の延納や分割後納制度、学校奨学金制度を設けている。健康診断は年１回実施している。学生寮は入寮希望者に対して戸数が不足がちである。年度によって入寮希望者数に変動があるため、入寮できない学生に対しては賃貸物件の紹介等を行っている。	馬借校舎においては急病や事故に対して看護学科教員（看護師）が対応に当たっている。東篠崎校舎では附属診療所勤務の医師または看護師が対応に当たっている。片野校舎では学科教員が対応に当たっている。

記載責任者　職・氏名	教務部長　　味　村　吉　浩

５－20　保護者との連携

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-20-1 保護者との連携体制を構築しているか。	保護者会の開催等、学校の教育活動に関する情報提供を適切に行っているか。	4	主として未成年者が在学する学科を対象に、学科単位で開催している。	遠方に居住する保護者は保護者会に出席しにくい環境となりつつある。	情報提供を希望する保護者に対するサポート体制の構築。	個別面談記録 学籍簿 動態表

	個別面談等の機会を保護者に提供し、面談記録を適切に保存しているか。		保護者からの求めに応じて随時面談を実施して、記録を保存している。	全ての学生の保護者に個別面談等を行う場所および時間がない。	個別面談受け入れ体制の構築。	
	学力不足、心理面等の問題解決にあたって、保護者と適切に連携しているか。		適宜、担任から保護者等に対して連絡を行っている。	特になし。	特になし。	
	緊急時の連絡体制を確保しているか。		確保している。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	教務部長　　味　村　吉　浩	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
保護者会等の開催は、一部の学科においてしか行っていない。学生が未成年者の場合は、学業や心理面等の問題解決のために担任が適宜保護者に連絡を行い、連携を密になるよう心がけている。	

記載責任者　職・氏名	教務部長　　味　村　吉　浩

５－21　卒業生・社会人

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-21-1	同窓会組織を組織し、	3	同窓会を組織して、活	同窓会組織そのもの	同窓会活動に対する	

卒業生への支援体制を整備しているか。	活動状況を把握しているか。		動に直接関わっている。	が活発でない。	支援を積極的に行う。	
	再就職、キャリアアップ等について卒後の相談に適切に対応しているか。		相談の申し出がある都度対応している。	特になし。	特になし。	
	卒後のキャリアアップのための講座等を開講しているか。		開講している。	特になし。	特になし。	
	卒後の研究活動に対する支援を行っているか。		行っていない。	卒後の研究活動の把握に至っていない。	支援を要する研究活動について報告を受ける体制の整備。	
				記載責任者　職・氏名	教務部長　味　村　吉　浩	

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-21-2 産学連携による卒後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか。	関連業界・職能団体等と再教育プログラムについて共同開発等を行っているか。	1	行っていない。	特になし。	特になし。	
	学会・研究会活動において、関連業界等と連携・協力を行っているか。		行っていない。	特になし。	検討課題とする。	
				記載責任者　職・氏名	教務部長　味　村　吉　浩	

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか。	社会人経験者の入学に際し、入学前の履修に関する取扱いを学則等に定め、適切に認定しているか。	3	既修得単位認定制度について入学前に告知して、規程に基づいて認定している。	特になし。	特になし。	学則 学生便覧 既修得単位認定制度のしおり
	社会人学生に配慮し、長期履修制度等を導入しているか。		特に社会人学生に配慮した履修制度は設けていない。	社会人学生も、社会人ではない学生と同じ条件で履修を課している。	特に社会人学生に配慮した履修制度を設ける予定はない。	
	図書室、実習室等の利用において、社会人学生に対し配慮しているか。		特に社会人学生に配慮した利用制度を設けていない。	特になし。	特になし。	
	社会人学生等に対し、就職等進路相談において個別面談を実施しているか。		社会人学生に限らず、就職等の進路相談は随時実施している。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	教務部長　　味　村　吉　浩	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
同窓会には学校教職員も携わって運営しているが、活動そのものがやや活発ではない。また、学科によっては社会人学生が在学しているが、社会人であることを理由に特に配慮を行わず、社会人ではない学生と同じ環境のもとで就学させている。	

記載責任者　職・氏名	教務部長　　味　村　吉　浩

基準６　教育環境【平均評価：３．０】

総括と課題	今後の改善策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育施設・設備・教育用具等は法令に基づいて整備を図っている。学外実習・インターンシップ等については学科によっては整備されていないところも見受けられる。	校外実習・インターンシップ等について、実施要綱やマニュアルを整備する必要がある。	

記載責任者　職・氏名	教務部長　　味　村　吉　浩

６－22　施設・設備等

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具を整備しているか。	施設・設備・機器類等は設置基準、関係法令に適合し、かつ、充実しているか。	4	柔道整復学科以下８学科の国家資格養成学校として法規上の教室、実習室等教育に支障ないよう整備され、法規に適合している。	2019 年度柔道整復学科と鍼灸学科備品として各学科に人体骨模型を購入。	次年度以降も他学科備品搬入を検討していく。	
	図書室、実習室など、学生の学習支援のための施設を整備しているか。		図書室専任職員を配して、図書の貸出を行っている。各学生証に蔵書貸出用バーコードを記載、利便性向上	前・後期試験時期には利用者増加に伴い混雑する場合がある。	複数で使用できる机を１人で独占している場合があるので注意喚起していく。	

			した。			
	図書室の図書は専門分野に応じ充実しているか。		法規に適合した書籍及び学科ごとに専門医学雑誌を購入している。学生の要望に応じて国家試験対策の書籍を随時更新している。	蔵書貸出後の整理整頓	貸出棚の整理	
	学生の休憩・食事のためのスペースを確保しているか。		3F～8F に学生懇談室を設置している。各教室に遮光カーテンを設置した。	特になし	特になし	
	施設・設備のバリアフリー化に取り組んでいるか。		本年度既存のエレベーター2 基全面改修を行った。 全館フロアーに段差はなく車椅子での移動には支障はない。	特になし	特になし	
	手洗い設備など学校施設内の衛生管理を徹底しているか。		手洗い設備のある個所には手動洗浄器具（石鹸）を設置また、消毒用ボトルも配置している。清掃作業は業者に委託毎日行っている。	特になし	特になし	

	卒業生に施設・設備を提供しているか。		図書蔵書の閲覧やジム施設の利用をしている	特になし	特に	
	施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等について適切に対応しているか。		施設管理者を選任対応している。	随時対応	特になし	
	施設の改築・改修、設備の更新の計画を策定し、適切に実施しているか。		施設管理課を設置して対応している。毎月一回施設管理会議で問題点の改善を図っている	建物全体的な経年劣化への対応	随時更新	
				記載責任者　職・氏名	学生部長　　大　森　廣　喜	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育上に必要な施設、設備は支障が無いよう改善を図っている。また必要があれば直ぐに対応できる体制を整えている。このような状況であれば学生及び教職員も教育活動に専念できると思われる。	建物の経年劣化による設備管理が今後とも必要になってくる。

記載責任者　職・氏名	学生部長　　大　森　廣　喜

６－23　学外実習・インターンシップ等

柔道整復学科（昼間部）						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか。	学外実習等について、異議や教育課程上の位置づけを明確にしているか。	4	2 年次に九州歯科大学の協力の元、解剖学実習を実施している。又、臨床実習として学外施設での研修を実施している。	臨床実習を実施するのが今年度からの為、実際の課題点が把握できていない。	今年度実施した際の、課題点に対し、改善策を設ける。	
	学外実習等について、実施要綱・マニュアルを整備し、適切に運用しているか。		実習を行う前に、実施要項を基に、学生指導を行っている。	具体的なマニュアル化が出来ていない。	具体的なマニュアルを作成し、学科内で共有する。	
	関連業界等との連携による企業研修等を実施しているか。		教員研修やセミナー等へ参加している。	全員が参加できていない。	内容等を学科内で共有する。	
	学外実習について、成績評価基準を明確にしているか。		解剖学実習に関して、研修先へレポートを提出し、評価基準としている。	臨床実習を実施するのが今年度からの為、実際の課題点が把握できていない。	今年度実施した際の、課題点に対し、改善策を設ける。	
	学外実習について実習機関の指導者との連絡・協議の機会を確保しているか。		2 年次に九州歯科大学の協力の元、解剖学実習を実施している。又、臨床実習として学	臨床実習を実施するのが今年度からの為、実際の課題点が把握できていない。	今年度実施した際の、課題点に対し、改善策を設ける。	

			外施設での研修を実施している。			
	学外実習の教育効果について確認しているか。		解剖学実習に関して、研修先へレポートを提出している。	なし。	なし。	
	学校行事の運営等に学生を積極的に参画させているか。		学園祭や北九州マラソンなど積極的に参加させている。	なし。	なし。	
	卒業生・保護者・関連業界等、また、学生の就職先に行事の案内をしているか。		同窓会の案内を行っている。	卒業生向けのセミナー等が実施されていない。	卒業生が学内行事に参加できる様にしていく。	
				記載責任者　職・氏名	教員　　半　田　　光	

スポーツ柔整学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか。	学外実習等について、異議や教育課程上の位置づけを明確にしているか。	3	臨床実習制度が始まった。	1 期目であるため課題等が未知数である。	なし	臨床実習のガイドライン
	学外実習等について、実施要綱・マニュアルを整備し、適切に運用しているか。		2020 年 2 月から運用開始。	なし	なし	
	関連業界等との連携に		行っている。	なし	なし	

	よる企業研修等を実施しているか。					
	学外実習について、成績評価基準を明確にしているか。		ガイドラインに従い準備している。	まだ見えていない。	なし	
	学外実習について実習機関の指導者との連絡・協議の機会を確保しているか。		2020 年から行われる予定。	まだ見えていない。	なし	
	学外実習の教育効果について確認しているか。		未知数である。	まだ見えていない。	なし	
	学校行事の運営等に学生を積極的に参画させているか。		参画させている。	夜間部の生徒で予定が合わない者が少数いる。	学年末に予定の配布と調節願を行う時間をつくる。	
	卒業生・保護者・関連業界等、また、学生の就職先に行事の案内をしているか。		就職先までは行き届いていない。	就職先の企業まで目が行き届いていない。	企業説明会の場などで案内を出す。	
				記載責任者　職・氏名	学科長補佐　　村　岡　太　介	

鍼灸学科（昼間部）						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
6-23-1 学外実習、インターン	学外実習等について、異議や教育課程上の位	1	位置づけは明確にできていない	学校単位の研修はあるが、学科まで落とし	学科へ落とし込む場を作る。	

シップ、海外研修等の実施体制を整備しているか。	置づけを明確にしているか。			込めていない。		
	学外実習等について、実施要綱・マニュアルを整備し、適切に運用しているか。		インターンシップは行われている。	学校単位で動いており、マニュアルを学科で把握していない	学科へ落とし込む場を作る。	
	関連業界等との連携による企業研修等を実施しているか。		年に数回、企業にきて頂いて実施している	業界の動向に合わせていく必要がある	職業実践専門課程を活用し、動向をつねに把握しておく。	
	学外実習について、成績評価基準を明確にしているか。		把握していない	学科が現状を把握していない	学科へ落とし込む場を作る。	
	学外実習について実習機関の指導者との連絡・協議の機会を確保しているか。		把握していない	学科が現状を把握していない	学科へ落とし込む場を作る。	
	学外実習の教育効果について確認しているか。		確認していない	学科が現状を把握していない	学科へ落とし込む場を作る。	
	学校行事の運営等に学生を積極的に参画させているか。		学園祭や部活動など積極的に参加させており、学生リーダーを設置	学生が積極的に参加しているが、まだ教員主体になっている。	学生が主体方針やシステムを構築	
	卒業生・保護者・関連業界等、また、学生の		企業説明会などの案内はしている。	学科が現状を把握していない	学科へ落とし込む場を作る。	

	就職先に行事の案内をしているか。					
				記載責任者　職・氏名	学科長　　堀之内　貴　一	

スポーツ鍼灸学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか。	学外実習等について、異議や教育課程上の位置づけを明確にしているか。	1	位置づけは明確にできていない	学校単位の研修はあるが、学科まで落とし込めていない。	学科へ落とし込む場を作る。	
	学外実習等について、実施要綱・マニュアルを整備し、適切に運用しているか。		インターンシップは行われている。	学校単位で動いており、マニュアルを学科で把握していない	学科へ落とし込む場を作る。	
	関連業界等との連携による企業研修等を実施しているか。		年に数回、企業にきて頂いて実施している	業界の動向に合わせていく必要がある	職業実践専門課程を活用し、動向をつねに把握しておく。	
	学外実習について、成績評価基準を明確にしているか。		把握していない	学科が現状を把握していない	学科へ落とし込む場を作る。	
	学外実習について実習機関の指導者との連絡・協議の機会を確保しているか。		把握していない	学科が現状を把握していない	学科へ落とし込む場を作る。	
	学外実習の教育効果に		確認していない	学科が現状を把握し	学科へ落とし込む場	

	ついて確認しているか。			ていない	を作る。	
	学校行事の運営等に学生を積極的に参画させているか。		学園祭や部活動など積極的に参加させており、学生リーダーを設置	学生が積極的に参加しているが、まだ教員主体になっている。	学生が主体方針やシステムを構築	
	卒業生・保護者・関連業界等、また、学生の就職先に行事の案内をしているか。		企業説明会などの案内はしている。	学科が現状を把握していない	学科へ落とし込む場を作る。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　松　波　　賢	

理学療法学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか。	学外実習等について、異議や教育課程上の位置づけを明確にしているか。	4	臨床実習指導要綱に明記している。	なし	なし	臨床実習指導要綱
	学外実習等について、実施要綱・マニュアルを整備し、適切に運用しているか。		臨床実習指導要綱に明記している。	なし	なし	
	関連業界等との連携による企業研修等を実施しているか。		臨床実習指導者との打ち合わせ会議の前に研修的位置づけで	なし	なし	

			意見交換など行っている			
	学外実習について、成績評価基準を明確にしているか。		評価基準を明確にして学生や指導者へ伝えている。また臨床実習指導要綱に明記している。	なし	なし	
	学外実習について実習機関の指導者との連絡・協議の機会を確保しているか。		臨床実習指導者との打ち合わせ会議を実施している。	なし	なし	
	学外実習の教育効果について確認しているか。		臨床実習後に会議を実施し、確認している。	なし	なし	
	学校行事の運営等に学生を積極的に参画させているか。		学生主体にて学園祭に参画させている。	なし	なし	
	卒業生・保護者・関連業界等、また、学生の就職先に行事の案内をしているか。		行事の案内を学科単独ではなく、学校から行っている	なし	なし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　永　野　　忍	

作業療法学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**

6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか。	学外実習等について、異議や教育課程上の位置づけを明確にしているか。	4	臨床実習指導要綱に資格取得に必要な学外実習を明確にしている。	特になし。	特になし。	臨床実習指導要綱
	学外実習等について、実施要綱・マニュアルを整備し、適切に運用しているか。		臨床実習指導要綱に資格取得に必要な学外実習を明確にしている。	特になし。	※定期的に教育水準に合わせ、臨床実習指導要綱の見直しを検討。	
	関連業界等との連携による企業研修等を実施しているか。		臨床教育者会議の中で臨床状況の把握や報告会・研修会を実施する予定。	会議前に、臨床教育者や企業説明会参加者との打ち合わせが必要。	理学療法学科との共有できることと、独立した形で実施することの打ち合わせを検討。	
	学外実習について、成績評価基準を明確にしているか。		成績評価基準を学生や臨床教育者へ伝え、臨床実習指導要綱にて明確にしている。	なし。	※定期的に教育水準に合わせ、臨床実習前後の評価を、理学療法学科と検討。	
	学外実習について実習機関の指導者との連絡・協議の機会を確保しているか。		臨床実習教育者会議の実施及び学科教員が臨床実習施設へ訪問し、学生の情報共有など確保している。	なし。	なし。	
	学外実習の教育効果について確認しているか。		臨床実習後の症例報告会の内容も踏まえ、学科会議を実施。実習	なし。	なし。	

			課題を教員間で情報共有し、確認している。			
	学校行事の運営等に学生を積極的に参画させているか。		学園祭や学外実習にて、学生主体の実習を実施している。	特になし。	学生主体であるが、担任を中心とした学校行事の参加計画や学年間交流の促進を補助。	
	卒業生・保護者・関連業界等、また、学生の就職先に行事の案内をしているか。		基本的に保護者や臨床実習教育者などへの郵送を中心とした学校行事の案内を実施。他に本校の HP での全体的な報告と不定期に OT 学科 Facebook にて情報を開示。	本校の HP や OT 学科 Facebook の利用状況や効果が不明瞭。	卒業生への案内は、現在最終学年が 3 年で、貴実施と案内の方法は未定である。	
				記載責任者　職・氏名	学科長補佐　　中　山　　仁	

看護学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備してい	学外実習等について、異議や教育課程上の位置づけを明確にしているか。	3	している	特になし	特になし	

るか。	学外実習等について、実施要綱・マニュアルを整備し、適切に運用しているか。		実習要綱、マニュアル等を整備しており、適切に運用している。	学生への周知徹底	ガイダンス、オリエンテーション等の説明など工夫を図る。	
	関連業界等との連携による企業研修等を実施しているか。		学生について相互理解が進むように、講義等を通して実施している。	連携の強化	関連施設等との意見交換の機会を増やす。	
	学外実習について、成績評価基準を明確にしているか。		評価表を作成し、基準を明確にしている。	実習施設と教員間での評価の違い	実習施設側と中間評価の機会を設けるなど、話し合いの機会を作る。	
	学外実習について実習機関の指導者との連絡・協議の機会を確保しているか。		実習指導者会議、調整会議などを通して、連絡・協議の機会を確保している。	現状維持	現状維持	
	学外実習の教育効果について確認しているか。		確認している。	特になし	特になし	
	学校行事の運営等に学生を積極的に参画させているか。		学園祭、新入生歓迎会、オープンキャンパスなどを活用して積極的に参画させている。	現状維持	現状維持	
	卒業生・保護者・関連		案内をしている。	特になし	特になし	

	業界等、また、学生の就職先に行事の案内をしているか。					
				記載責任者　職・氏名	学科長　　村　山　由起子	

歯科衛生学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか。	学外実習等について、異議や教育課程上の位置づけを明確にしているか。	2	臨床実習指導要綱に明記しているが不十分なところがある。	指導要綱の見直しが必要。	学科内で討議し、臨床実習先に周知する。	
	学外実習等について、実施要綱・マニュアルを整備し、適切に運用しているか。		臨床実習指導陽刻に明記している。	なし。	なし。	
	関連業界等との連携による企業研修等を実施しているか。		実施していない。	研修などで実習における統一を図る必要がある。	研修できる場を設ける。	
	学外実習について、成績評価基準を明確にしているか。		明確にしている。	今後は見直しが必要。	なし。	
	学外実習について実習機関の指導者との連絡・協議の機会を確保しているか。		臨床実習の指導者と会議を行っている。	なし。	なし。	

	学外実習の教育効果について確認しているか。		実習中の訪問を行い確認している。	なし。	なし。	
	学校行事の運営等に学生を積極的に参画させているか。		学園祭に参画させている。	一部消極的な学生がいる。	主体的に取り組めるようにする。	
	卒業生・保護者・関連業界等、また、学生の就職先に行事の案内をしているか。		保護者には報告のみになっている。	事前に文書にて周知する。	文書化する。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　藤　　幸　枝	

生涯スポーツトレーナー介護福祉士学科

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか。	学外実習等について、異議や教育課程上の位置づけを明確にしているか。	4	学外実習は、学科の教育計画に基づいて実施しており、外部の関係機関と連携し、教育体制を整備している。	実習先については施設の条件から新規の開拓が必要となっている。	特に障害系の施設が少ないので遠方の施設も開拓が必要。それに伴って学生の交通手段を検討する。	養成施設指定規則第5条
	学外実習等について、実施要綱・マニュアルを整備し、適切に運用しているか。		学外実習については学科において実習要項、指導要項、実習手引きなどを整備し適切に運用している。	特になし	特になし	
	関連業界等との連携に		特になし	特になし	特になし	

	よる企業研修等を実施しているか。					
	学外実習について、成績評価基準を明確にしているか。		学外実習の成績評価は、学科で規定した実習報告書、日誌及びレポート、実習巡回指導記録、実習先の実習評価表等により成果を確認し、「講義要項に記載した基準により評価している。	実習機関の指導者との連絡・協議の機会は、さらに充実させる必要がある。	今後は教育課程編成委員会等の提言、意見も参考にしてさらに充実した実習に向け検討する。	
	学外実習について実習機関の指導者との連絡・協議の機会を確保しているか。		学科においては定期的に実習先を訪問し、学生の状況を把握し、実習指導者とのコミュニケーションを図り、連携して学生指導を行っている。	特になし	特になし	
	学外実習の教育効果について確認しているか。		学外実習では学生の「実習レポート」「実習報告書」と実習巡回教員の「巡回指導記録」、実習先の実習指導報告書」などにより教育効果を確認して	学外実習終了後の実習総括の方法の検討が必要。	学科における確認の過程を明確にする。	

			いる。			
	学校行事の運営等に学生を積極的に参画させているか。		学園祭においては学生委員会を中心に、より積極的に参画させる運営へと転換を図っている。	2年生の学外実習期間と重複するために2年生が企画、実施ができない。	開催時期を検討する。	
	卒業生・保護者・関連業界等、また、学生の就職先に行事の案内をしているか。		特になし	特になし	特になし	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　井　上　由紀子	

アスレティックリハビリテーション・スポーツトレーナー学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか。	学外実習等について、異議や教育課程上の位置づけを明確にしているか。	2	資格取得に必要な学外実習を実施している。	特になし。	特になし。	
	学外実習等について、実施要綱・マニュアルを整備し、適切に運用しているか。		各実習において実施要綱・マニュアルは作成している。	特になし。	定期的に実施要綱・マニュアルの見直しが必要である。	
	関連業界等との連携による企業研修等を実施しているか。		学外実習前にオリエンテーションを実施している。	実施内容の打ち合わせが必要である。	必要に応じて、オリエンテーションの内容を検討する。	

	学外実習について、成績評価基準を明確にしているか。		明確な評価基準を設けていない。	学生自身の自己評価のみ実施している。	評価基準の作成が必要である。	
	学外実習について実習機関の指導者との連絡・協議の機会を確保しているか。		学科教員が実習期間の指導者と学生の情報共有している。	担当者との情報共有の場が取りにくい	定期的な情報共有のためのスケジュール作成が必要である。	
	学外実習の教育効果について確認しているか。		学外実習ごとにレポートを提出させている。	文章能力の向上が必要である。	普段よりレポート課題の提出を求めていく。	
	学校行事の運営等に学生を積極的に参画させているか。		学外実習にて、学生主体の実習を実施している。	学生の参加意欲が低い。	魅力ある実習プログラムが必要である。	
	卒業生・保護者・関連業界等、また、学生の就職先に行事の案内をしているか。		学校 HP にて、情報を開示している。	情報が HP のどこに提示されているのかが分かりにくい。	情報提供の対象を明確にしていくことが必要である。	
				記載責任者　職・氏名	学科長　　寺　本　敦　司	

整体セラピスト学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備してい	学外実習等について、異議や教育課程上の位置づけを明確にしているか。	4	明確である	最善であるか毎回確認する	振り返りアンケートから次回の改善策を検討する	

るか。	学外実習等について、実施要綱・マニュアルを整備し、適切に運用しているか。		適切に運用している	最善であるか毎回確認する	振り返りアンケートから次回の改善策を検討する	
	関連業界等との連携による企業研修等を実施しているか。		実施していない	なし	なし	
	学外実習について、成績評価基準を明確にしているか。		明確にしている	なし	なし	
	学外実習について実習機関の指導者との連絡・協議の機会を確保しているか。		確保している	なし	なし	
	学外実習の教育効果について確認しているか。		振り返りアンケートで集約した情報を全員で共有し確認している	なし	なし	
	学校行事の運営等に学生を積極的に参画させているか。		学園祭・各種イベントなど参加している	急な告知の場合があり、参加できなかった学生もいた	イベントなどは年間計画に入れる	
	卒業生・保護者・関連業界等、また、学生の就職先に行事の案内をしているか。		行っていない	就職先への企業訪問の計画は必要である	卒業生を介した保護者への連絡や、企業訪問時に行事の案内等をする。	

	記載責任者　職・氏名	学科長　　蓑　田　のり子

日本語学科						
小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか。	学外実習等について、異議や教育課程上の位置づけを明確にしているか。	2	該当なし			
	学外実習等について、実施要綱・マニュアルを整備し、適切に運用しているか。		該当なし			
	関連業界等との連携による企業研修等を実施しているか。		該当なし			
	学外実習について、成績評価基準を明確にしているか。		該当なし			
	学外実習について実習機関の指導者との連絡・協議の機会を確保しているか。		該当なし			
	学外実習の教育効果について確認しているか。		該当なし			

	学校行事の運営等に学生を積極的に参画させているか。		学園祭の実行委員を選出している	学生だけでは内容の理解が難しい		
	卒業生・保護者・関連業界等、また、学生の就職先に行事の案内をしているか。		していない			
				記載責任者　職・氏名	学科長　　髙　野　徳　一	

ホスピタリティ・コンシェルジュ学科						
小項目	**チェック項目**	**評定**	**現状の取組状況**	**課　　題**	**今後の改善方策**	**参考資料**
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか。	学外実習等について、異議や教育課程上の位置づけを明確にしているか。	2	している			
	学外実習等について、実施要綱・マニュアルを整備し、適切に運用しているか。		している 実習要綱などは、実習先に配布している			
	関連業界等との連携による企業研修等を実施しているか。		していないが、研修などには参加している			
	学外実習について、成績評価基準を明確にしているか。		している	実習先の担当者によって判断が違う	評価表などを作成し、配布	

	学外実習について実習機関の指導者との連絡・協議の機会を確保しているか。		している 実習中は、担当者の方に話を伺いに行っている	教員が少ないため、なかなか定期的に伺うことができない	空いた時間に話を伺う機会をつくる	
	学外実習の教育効果について確認しているか。		している			
	学校行事の運営等に学生を積極的に参画させているか。		している			
	卒業生・保護者・関連業界等、また、学生の就職先に行事の案内をしているか。		いまだ卒業生がいないため、していない			
				記載責任者　職・氏名	学科長　　川　上　　聖	

６－24　防災・安全管理

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか。	学校防災に関する計画、 消防計画や災害発生時における具体的行動のマニュアルを整備しているか。	4	小倉北消防署へ消防計画書を提出。	特になし	特になし	

	施設・設備の耐震化に対応しているか。		特になし	特になし	特になし	
	消防設備等の整備および保守点検は法令に基づき行い、改善が必要な場合は適切に対応しているか。 防災（消防）訓練を定期的に実施し、記録を保存しているか。		毎年消防訓練実地計画書を消防署に提出し消防職員立会のもと実地している。消防署押印の書類一式は保管している。	特になし	特になし	
	備品の転倒防止など安全管理を徹底しているか。		不具合個所の洗出改善を図って行く。	特になし	随時対応	
	教職員・学生に防災研修・教育を行っているか。		消防訓練を実地している。その際に消防職員による防火に関する講話を行っている。	防火訓練を通して全教職員に防火意識の向上を図る。	特になし	
				記載責任者　職・氏名	学生部長　　大　森　廣　喜	

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか。	学校安全計画を策定しているか。	4	校舎内外に警備会社の防犯カメラを設置し、所轄警察署とも連携を図り不測の事態が発生した場合には	特になし	特になし	
	学生の生命と学校財産を加害者から守るための防犯体制を整備し、					

	適切に運用しているか。 授業中に発生した事故等に関する対応マニュアルを作成し、適切に運用しているか。 薬品等の危険物の管理において、定期的にチェックを行うなど適切に対応しているか。		迅速な対応できる体制を整えている。また、不審者の侵入を防ぐため、全ての学生及び教職員は名札ケースを常時携帯して部外者との区別している。			
	担当教員の明確化など学外実習等の安全管理体制を整備しているか。		各学科においては担当教員を選任している。	特になし	特になし	
				記載責任者　職・氏名	学生部長　　大　森　廣　喜	

中項目総括	**特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）**
消防計画を策定し、消防訓練を年１回実施している。不審者の侵入防止の為に受付窓口での来客者への声掛けを積極的に行う。	校舎への出入口扉はオープンとなっているため、教職員及び学生は全員名札ケースを携帯して来客者と区別している。

記載責任者　職・氏名	学生部長　　大　森　廣　喜

基準７　学生の募集と受入れ【平均評価：４.０】

総括と課題	今後の改善策	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生募集については、規制に基づいた活動を行っている。入学選考についてはほとんどの教職員が関わって、学科別応募者・入学者数などのデータ管理も行っている。		

７－25　学生募集活動

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか。	高等学校における進学説明会に参加し教育活動等の情報提供を行っているか。	4	ガイダンス業者からの参加依頼を中心に十分に行っている	ガイダンス本数が多く、参加ガイダンスの抽出に苦労している	広報部員を一名増員して、手薄な部分を補うように改善	
	高等学校等の教職員に対する入学説明会を実施しているか。		高校訪問時実施。また年に一度高校教員対象学校説明会を実施している	遠方からの説明会参加が難しく、高校訪問で補っている	業者主催の高校進路対象説明会に積極的に参加すること	
	教員または保護者向けの学校案内等を作成しているか。		保護者にはオープンキャンパスの際に、別に保護者説明会を実施している	保護者への学費説明が不足している	単独での保護者対象説明会を計画中	

	記載責任者　職・氏名	広報部長　　村　方　浩　典

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
7-25-2 学生募集活動を適切、かつ、効果的に行っているか。	入学時期に照らし、適切な時期に願書の受付を開始しているか。	4	行っている。	特になし	特になし	
	専修学校団体が行う自主規制に則した募集活動を行っているか。		行っている	特になし	AO 入試のエントリー時期を前倒しに変更	
	志願者等からの入学相談に適切に対応しているか。		行っている	出願希望者に対しての個別対応を 100%クリアーできていない	事前に把握している方に対しては、広報部のスケジュールに落とし込んで対応	
	学校案内等において、特徴ある教育活動、学修成果等について正確に分かりやすく紹介しているか。		行っている	内規的な部分は活字に落としていない	学校独自の対応策については、オープンキャンパス時に説明を心がけている	
	広報活動・学生募集活動において、情報管理等のチェック体制を整備しているか。		行っている	特になし	特になし	
	体験入学、オープンキャンパスなどの実施において、多くの参加機		行っている	特になし	資料請求者やガイダンス参加者に対して行っている DM 発送	

	会の提供や実施内容の工夫などを行っているか。				を漏れが無いように徹底して行う	
	志願者の状況に応じて多様な試験・選考方法を取り入れているか。		行っている	昨年度変更	新規推薦入試システムをもっと広めていくこと	
				記載責任者　職・氏名	広報部長　　村　方　浩　典	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
一昨年の振り返りを基に広報活動のやり方を見直して取り組んだ。予算達成には届かなかったものの過去最高の学生獲得を達成することが出来た。	昨年度からスタートさせた新入試制度（学力特待生入試）初年度は成功の形で終えることができたので、この入試制度を各高校に十分に認知していただき、学生獲得に努めていく。この入試制度は他校にはないので今後本校の強みとして全面的に外部発信をしていく。

記載責任者　職・氏名	広報部長　　村　方　浩　典

７－26　入学選考

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか。	入学選考基準、方法は、規程等で明確に定めているか。	4	学則および入試規程において定めている。	特になし	特になし	学則 入試規程 入試判定会議資料 学生募集要項
	入学選考等は、規程に基づき適切に運用して		規程に基づく運用を行っている。	特になし	特になし	

	いるか。					
	入学選考の公平性を確保するための合否判定体制を整備しているか。		入試判定会議において公平に合否判定を行っている。	特になし	特になし	
				記載責任者　職・氏名	教務部長　　味　村　吉　浩	

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか。	学科ごとの合格率・辞退率などの現況を示すデータを蓄積し、適切に管理しているか。	4	学科単位の合格および辞退についてデータ化している。	特になし。	特になし。	入学願書 入試判定会議資料 学生募集要項
	学科ごとの入学者の傾向について把握し、授業方法の検討など適切に対応しているか。		学科単位において、入学者に応じた授業方法の実施を協議している。	入学者の傾向にばらつきがあって、授業方法が統一しづらい。	個別指導を行って補う。	
	学科別応募者・入学者数の予測数値を算出しているか。		算出している。	学科によっては予測数値と実際の数値との間でかい離が見られる。	定期的な予測数値の見直し。	
	財務等の計画数値と応募者数の予測値との整合性を図っているか。		図っている。	特になし	特になし	
				記載責任者　職・氏名	教務部長　　味　村　吉　浩	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
入学選考は選考基準に基づいて適切に行っているが、学科ごとの合格率および辞退率をデータ化して、それを授業方法の検討などに反映させる必要がある。	特になし

記載責任者　職・氏名	教務部長　　味　村　吉　浩

7－27　学納金

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか。	学納金の算定内容、決定の過程を明確にしているか。	4	明確にしている。	特になし	特になし	学生募集要項
	学納金の水準を把握しているか。		把握している。	特になし	特になし	
	学納金等徴収する金額はすべて明示しているか。		学生募集要項において明示している。	特になし	特になし	
				記載責任者　職・氏名	事務局長　　西　田　真　紀	

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
7-27-2 入学辞退者に対し授業料等について適切な取	文部科学省通知の趣旨に基づき、入学辞退者に対する授業料の返還	4	入学辞退者に対する取扱いは学生募集要項に明示するととも	特になし	特になし	学生募集要項 入学許可辞退 返金依頼書

扱いを行っているか。	の取扱いに対して、募集要項等に明示し、適切に取り扱っているか。		に、辞退者には入学金以外の学納金を全額返還している。			
				記載責任者　職・氏名	学生部長　　大　森　廣　喜	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学納金は適切に算定し、文部科学省の通知の趣旨に基づいた取扱を行っている。	特になし。

記載責任者　職・氏名	学生部長　　大　森　廣　喜

基準８　財務【平均評価：３．０】

８－28　財務基盤

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
8-28-1 学校および法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか。	応募者数・入学者数および定員充足率の推移を把握しているか。	3	把握している。	特になし。	特になし。	
	収入と支出のバランスがとれているか。		バランスが取れている。	入学生獲得。	募集の方法を工夫し、学生獲得につなげる。	
	貸借対照表の翌年度繰越消費収入超過額がマ		立てている。	特になし。	特になし。	

	イナスになっている場合、それを解消する計画を立てているか。					
	消費収支計算書の当年度消費収入超過額がマイナスになっている場合、その原因を正確に把握しているか。		把握している。	特になし。	特になし。	
	設備投資が過大になっていないか。		なっていない。	特になし。	特になし。	
	負債は返還可能の範囲で妥当な数値となっているか。		なっている。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	事務局長　　西　田　真　紀	

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
8-28-2 学校および法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか。	最近 3 年間の収支状況（消費収支･資金収支）による財務分析を行っているか。	3	行っている。	特になし。	特になし。	
	最近 3 年間の財産目録・貸借対照表の数値による財務分析を行っているか。		行っている。	特になし。	特になし。	
	最近 3 年間の設置基準		策定している。	特になし。	特になし。	

	等に定める負債関係の割合推移データによる償還計画を策定しているか。					
	キャッシュフローの状況を示すデータはあるか。		ある。	特になし。	特になし。	
	教育研究比率、人件費比率は適切な数値になっているか。		なっている。	特になし。	特になし。	
	コスト管理を適切に行っているか。		行っている。	特になし。	特になし。	
	収支の状況について自己評価しているか。		している。	特になし。	特になし。	
	改善が必要な場合において、今後の財務改善計画を策定しているか。		策定している。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	事務局長　　西　田　真　紀	

中項目総括	**特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）**
各施設団体等に提出する必要があるものが多く、収支計算書や償還計画など、一年中扱っていることが多い。財政基盤として、学生の確保が最重要課題だと認識している。	

記載責任者　職・氏名	事務局長　　西　田　真　紀

８－29　予算・収支計画

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか。	予算編成に際して、教育目標、中期計画、事業計画等と整合性を図っているか。	3	整合性を図っている。	特になし。	特になし。	
	予算の編成過程および決算過程は明確になっているか。		明確になっている。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	事務局長　　西　田　真　紀	

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
8-29-2 予算および計画に基づき適正に執行管理を行っているか。	予算の執行計画を策定しているか。	3	策定している。	特になし。	特になし。	
	予算と決算に大きなかい離を生じていないか。		生じていない。	特になし。	特になし。	
	予算過程が見込まれる場合、適切に補正措置を行っているか。		行っている。	特になし。	特になし。	
	予算規程、経理規程を		整備している。	特になし。	特になし。	

	整備しているか。					
	予算執行にあたってチェック体制を整備するなど適切な会計処理を行っているか。		行っている。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	事務局長　　西　田　真　紀	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
理事会を通して予算案の策定発表、また補正予算案等も発表し確認を試みている。	

記載責任者　職・氏名	事務局長　　西　田　真　紀

８－30　監査

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
8-30-1 私立学校法および寄附行為に基づき適切に監査を実施しているか。	私立学校法および寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか。	3	実施している。	特になし。	特になし。	
	監査報告書を作成し理事会等に報告しているか。		報告している。	特になし。	特になし。	
	監事の監査に加えて、		実施している。	特になし。	特になし。	

	監査法人による外部監査を実施しているか。					
	監査時における改善意見について記録し、適切に対応しているか。		対応している。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	事務局長　　西　田　真　紀	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
監事のほかに会計士も足を運び、定期的に状況報告と確認を行っている。	

記載責任者　職・氏名	事務局長　　西　田　真　紀

８－31　財務情報の公開

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
8-31-1 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか。	財務公開規程を整備し、適切に運用しているか。	3	運用している。	特になし。	特になし。	
	公開が義務づけられている財務帳票、事業報告書を作成しているか。		作成している。	特になし。	特になし。	
	財務公開の実績を記録しているか。		記録している。	特になし。	特になし。	

	公開方法についてホームページに掲載するなど積極的な公開に取り組んでいるか。		取り組んでいる。	特になし。	特になし。	
				記載責任者　職・氏名	事務局長　　西　田　真　紀	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
今後も、情報公開について積極的な公開を心がけるとともに、適正な情報を公開することを前提に作成していく。	

記載責任者　職・氏名	事務局長　　西　田　真　紀

基準９　法令等の遵守【平均評価：３．９】

９－32　関係法令、設置基準等の遵守

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか。	関係法令および設置基準等に基づき、学校運営を行うとともに、必要な諸届等を行っているか。	4	関係法令に基づいて、必要な諸届等を行っている。	特になし	特になし	ハラスメントマニュアル
	学校運営に必要な規則・規程等を整備し、		適宜必要となる規則・規程を策定整備し、こ	特になし	特になし	

	適切に運用しているか。		れに基づいた運用を行っている。			
	セクシャルハラスメント等の防止のための方針を明確化し、対応マニュアルを策定して適切に運用しているか。		ハラスメントマニュアルを策定し、これに基づいた運用を行っている。	特になし	特なし	
	教職員、学生に対し、コンプライアンスに関する相談窓口を設置しているか。		教務部に窓口を設置し、適宜対応に当たっている。	特になし	特になし	
	教職員、学生に対し、法令遵守に関する研修・教育を行っているか。		教員に対しては教職員会議の場で、学生に対しては学科にて適宜研修・教育を行っている。	特になし	特になし	
				記載責任者　職・氏名	事務局長　　西　田　真　紀	

中項目総括	**特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）**
法令遵守を第一義に、規則・規程についても必要に応じて順次、整備を図っている。規則・規程についてはさらに整備を図る必要がある。	

記載責任者　職・氏名	事務局長　　西　田　真　紀

９－33　個人情報保護

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか。	個人情報保護に関する取扱方針･規程を定め、適切に運用しているか。	4	規程に基づく運用を行っている。	特になし	特になし	個人情報保護方針 研修会資料
	大量の個人データを蓄積した電磁気録の取扱いに関し､規程を定め、適切に運用しているか。		規程に基づく運用を行っている。	学校サーバーに対する不正アクセスの危険。	不正アクセス防止のさらなる強化。	
	学校が開設したサイトの運用にあたって、情報漏洩等の防止策を講じているか。		サイト管理者において情報漏洩防止策を講じている。	特になし	特になし	
	教職員・学生に個人情報管理に関する啓発および教育を実施しているか。		教職員には研修の機会を設けるとともに、学生には都度、啓発および教育を行っている。	教職員および学生の個人情報管理にかかる意識の希薄。	個人情報管理に関する啓発および教育の徹底。	
				記載責任者　職・氏名	教務部長　　味　村　吉　浩	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）

個人情報の保護については規定に基づいて徹底した管理を行っているが、複数サーバーの存在が不正アクセスの侵入口を増やしている原因となっている。不正アクセス防止のためのセキュリティは講じているが、進化する不正アクセスに対するさらなるセキュリティ強化を構築している。	経年劣化したサーバーの交換を必要とする。	
	記載責任者　職・氏名	教務部長　　味　村　吉　浩

９－34　学校評価

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか。	実施に関し、学則および規程等を整備し実施しているか。	3	自己評価の実施にかかる規程等が整備されていない。	自己評価実施にかかる規程等の整備が不十分である。	自己評価実施にかかる規程等の整備。	自己評価規程 評価スケジュール 自己評価報告書 結果公表資料
	実施にかかる組織体制を整備し、毎年度定期的に全学で取り組んでいるか。		教務部主導のもと、毎年度定期的に全学で取り組んでいる。	各部署における自己評価基準に若干の温度差が見受けられる。	各部署において自己評価実施担当者の選任および研修等の実施による評価基準の統一化。	
	評価結果に基づき、学校改善に取り組んでいるか。		評価結果をもとに改善に取り組んでいる。	評価結果の全てに改善策が講じられていない。	評価結果に対する改善への取組み。	
				記載責任者　職・氏名	教務部長　　味　村　吉　浩	

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
9-34-2	評価結果を報告書に取	4	報告書を作成してい	特になし	特になし	自己点検・自己評価報

自己評価結果を公表しているか。	りまとめているか。		る。			告書
	評価結果をホームページに掲載するなど広く社会に公表しているか。		ホームページ上に公表している。	特になし	特になし	
				記載責任者　職・氏名	教務部長　　味　村　吉　浩	

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し、評価を行っているか。	実施に関し、学則および規程等を整備し実施しているか。	4	学校関係者評価委員会に関する規程を整備している。	特になし。	特になし。	学校関係者評価委員会に関する規程 学校関係者評価委員会議事録 結果公表資料
	実施のための組織体制を整備しているか。		学校関係者評価委員会を組織している。	特になし	特になし	
	設置課程・学科の関連業界等から委員を適切に選任しているか。		選任している。	委員会開催日程の調整等の問題からすべての学科関連業界等から委員を選任することが難しく、学識経験者等で組織している。	各設置学科に関連した業界等からの委員選任。	
	評価結果に基づく学校改善に取り組んでいるか。		評価結果をもとに改善に取り組んでいる。	評価結果の全てに改善が見出せていない。	評価結果に対する改善担当委員会の設置。	
				記載責任者　職・氏名	教務部長　　味　村　吉　浩	

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか。	評価結果を報告書に取りまとめているか。	4	報告書を作成している。	特になし	特になし	学校関係者評価委員会議事録 学校関係者評価報告書
	評価結果をホームページに掲載するなど広く社会に公表しているか。		ホームページ上に公表している。	特になし	特になし	
				記載責任者　職・氏名	教務部長　　味　村　吉　浩	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
自己評価および学校関係者評価はともに実施している。また、各評価に対する改善策を策定し、それを有効に実行するための体制づくりを強化する必要がある。	特になし

記載責任者　職・氏名	教務部長　　味　村　吉　浩

９－35　教育情報の公開

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか。	学校の概要、教育内容、教職員等の教育情報を積極的に公開しているか。	4	学校ホームページや学校案内を用いて公開している。	特になし	特になし	学校ホームページ 学校案内
	学生、保護者、関連業		学校ホームページや	特になし	特になし	

	界等広く社会に公開しているか。		学校案内を用いて公開している。			
				記載責任者　職・氏名	教務部長　　味　村　吉　浩	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校の概要、教育内容、教職員の教育情報については学校ホームページ等を用いて広く公開できている。今後、学校ホームページ等の閲覧者の側に立って、教育情報についてより理解しやすいものへと改良することを心がけている。	特になし

記載責任者　職・氏名	教務部長　　味　村　吉　浩

基準 10　社会貢献・地域貢献【平均評価：３．３】

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	産・学・行政・地域等との連携に関する方針・規程等を整備しているか。	2	当該規程は整備されていない。	当該規程の整備を図る必要がある。	当該規程の整備。	学校施設貸与規程
	企業や行政と連携した教育プログラムの開発、共同研究の実績はあるか。		実績がない。	教育プログラムの開発や共同研究にかかる連携要請がない。	該当しない。	
	国の機関からの委託研		受託していない。	雇用促進事業につい	引き続き同様の取扱	

	究および雇用促進事業について積極的に受託しているか。			ては本校の事情に合わせて受託している。	いとする。	
	学校施設・設備等を地域・関連業界・卒業生等に開放しているか。		関連業界から施設使用にかかる申出を受けて貸与している。	特になし	特になし	
	高等学校等が行うキャリア教育の実施に教員を派遣するなど積極的に協力・支援しているか。		高等学校からの要請に基づき教員を派遣している。	特になし	特になし	
	学校の実習施設を活用するなど高等学校の職業教育の実施に協力・支援しているか。		高等学校からの申出を受託するかたちで職業教育の実施に協力・支援している。	特になし	特になし	
	地域の受講者等を対象とした「生涯学習講座」を開講しているか。		地域の受講者等を対象とした講座は開講していない。	特になし	特になし	
	環境問題など重要な社会問題の解決に貢献するための活動を行っているか。		市の清掃活動等に参加するなどして環境問題の解決にかかわっている。	特になし	特になし	
	教職員・学生に対し、重要な社会問題に対する問題意識の醸成のた		特に取り組んでいない。	教職員や学生が、重要な社会問題に対する問題意識の醸成のた	今後の検討課題とする。	

	めの研修・教育に取り組んでいるか。			めの研修や教育に取り組む必要がある。		
				記載責任者　職・氏名	教務部長　　味　村　吉　浩	

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
10-36-2 国際交流に取り組んでいるか。	海外の教育機関との国際交流の推進に関する方針を定めているか。	4	定めている。	特になし	特になし	
	海外の教育機関と教職員の人事交流・共同研究等を行っているか。		今後、人事交流を図る予定である。	特になし	特になし	
	海外の教育機関と留学生の受入れ、派遣、研修の実施など交流を行っているか。		海外教育機関学生の研修受入れにより交流を図っている。	特になし	特になし	
	留学生の受入れのため、学修成果、教育目標を明確化し、体系的な教育課程の編成に取り組んでいるか。		留学生を対象とした学修成果、教育目標の明確化、体系的な教育課程の編成に取り組んでいる。	特になし	特になし	
	留学生の受入れを促進するために学校が行う教育課程、教育内容・方法等について国内外に積極的に情報発信を		学校ホームページによる公開、海外事業部による広報活動によって情報発信に努めている。	特になし	特になし	

	行っているか。					
				記載責任者　職・氏名	教務部長　　味　村　吉　浩	

小項目	チェック項目	評定	現状の取組状況	課　　題	今後の改善方策	参考資料
10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか。	ボランティア活動など社会活動について、学校として積極的に奨励しているか。	4	奨励している。	活動日が授業日や授業時間帯と重なり、就学に支障を来しかねないこと。	検討中	
	活動の窓口の設置など、組織的な支援体制を整備しているか。		窓口を設置しているが、組織的な支援体制とはなっていない。	ボランティア支援体制の組織化。	検討中	
	ボランティア活動実績を把握しているか。		把握している。	特になし	特になし	
	ボランティアの活動実績を評価しているか。		卒業年次に評価して、表彰を行うなどの措置を講じている。	特になし	特になし	
	ボランティアの活動結果を学内で共有しているか。		教職員レベルの情報共有にとどまっている。	結果報告の機会を設ける必要がある。	検討中	
				記載責任者　職・氏名	教務部長　　味　村　吉　浩	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校施設･設備等の開放については学校安全の観点からこれに至っていないが、申請を経て審査の上、随時貸与のかたちを取っている。留学生数の増加に伴って、受入れ体制も整備されてきている。ボランティア活動については	

学生のみならず教職員も参加するようにしているが、授業日や授業時間帯と重なることによって公認欠席扱いとはするものの、学生の学修成果に不安を残す。	

記載責任者　職・氏名	教務部長　　味　村　吉　浩